

**Sterling B2B Integrator**



## **EBICS Client ユーザー・ガイド**

バージョン 5.2.5



**Sterling B2B Integrator**



## **EBICS Client ユーザー・ガイド**

バージョン 5.2.5

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 169 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

著作権

本書は、Sterling B2B Integrator のバージョン 5 リリース 2 モディフィケーション 5、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Sterling B2B Integrator  
EBICS Client User Guide  
Version 5.2.5

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2000, 2015.

# 目次

<b>EBICS Client ユーザー (V5.2.5 以降)</b>	<b>1</b>
EBICS の概要	1
EBICS Client モジュールの手動によるインストール	2
前提条件の構成	4
ID レコードの作成	5
ユーザー・アカウントの作成	6
ファイル・システム・アダプターの構成	9
メールボックスの作成および許可の割り当て	19
スケジュールの有効化	20
自己署名証明書を作成	21
CA 証明書のチェックイン	22
トラステッド・システム証明書のチェックイン	24
鍵システム証明書のチェックイン	25
EBICS Client の構成	25
EBICS Client のプロファイル管理	26
既存ユーザーの EBICS Client ユーザーとしての構成	27
ユーザー・プロファイルの検索	32
ユーザー・プロファイルの編集	32
ユーザー・プロファイルの削除	37
銀行プロファイルの作成	37
銀行プロファイルの検索	39
銀行プロファイルの編集	40
銀行プロファイルの削除	42
銀行鍵の検証	42
オファ어의作成	43
オファ어의検索	44
オファ어의編集	44
オファ어의削除	45
ファイル形式の作成	45
ファイル形式の検索	46
ファイル形式の編集	46
ファイル形式の削除	47
ユーザー許可の構成	47
ユーザー許可の作成	48
ユーザー許可の検索	49
ユーザー許可の編集	50
ユーザー許可の削除	51
ユーザーの初期化	52
オーダーの送信	53
特有ユーザーとしてオーダーを送信	58
特有ユーザーの構成	60
ビューアー	65
イベントの検索	65
オーダーの検索	68
保留中タスク	72
保留 VEU タスクの検索	73
保留 VEU タスクの表示	74
保留 VEU オーダーの詳細の取得	75

保留 VEU オーダーの署名	78
保留 VEU オーダーのキャンセル	80
システム・プロパティ値の更新	82
自分のプロファイル	85
EBICS Client リソースのインポートおよびエクスポート	87
EBICS Client リソースのエクスポート	87
EBICS Client リソースのインポート	89
EBICS Client ユーザー・インターフェースへのアクセスの許可	91
アップロード・トランザクションおよびダウンロード・トランザクションのリカバリー	93
FUL オーダー・タイプの送信および署名	94
オーダー・タイプ	97
FUL オーダー・タイプ	97
FDL オーダー・タイプ	100
INI オーダー・タイプ	102
HIA オーダー・タイプ	104
H3K オーダー・タイプ	105
HPB オーダー・タイプ	106
HKD オーダー・タイプ	108
HTD オーダー・タイプ	109
HEV オーダー・タイプ	111
PUB オーダー・タイプ	112
HCS オーダー・タイプ	114
HCA オーダー・タイプ	117
HPD オーダー・タイプ	119
SPR オーダー・タイプ	121
HVD オーダー・タイプ	122
HVE オーダー・タイプ	123
HVS オーダー・タイプ	126
HVT オーダー・タイプ	128
HVV オーダー・タイプ	130
HVZ オーダー・タイプ	132
保留タスク・アクション	133
HAC 処理	135
HAC スケジューリング	137
HAC スケジュールの作成	138
HAC スケジュールの検索	140
HAC スケジュールの表示	141
HAC スケジュールの編集	141
HAC スケジュールの削除	143
戻りコード	144

## 索引

## 特記事項

商標	171
製品資料に関するご使用条件	172



---

## EBICS Client ユーザー (V5.2.5 以降)

EBICS Client を使用すると、パートナーおよびパートナー・ユーザーは複数の銀行、パートナー、およびユーザーを構成して管理できます。複数のユーザーは、HTTP または HTTPS を介して複数の銀行 (EBICS Banking Servers) と対話を行い、EBICS に準拠したトランザクション・メッセージを交換できます。

Sterling B2B Integrator EBICS Client は、クライアント・サーバー・アプリケーションです。銀行との取引を行う組織にエンドツーエンドの EBICS ソリューションを提供します。

パートナーは、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースで以下のタスクを実行できます。

- ユーザーの構成
- 銀行の構成
- ユーザーのセキュリティー設定の構成
- 銀行のセキュリティー設定の構成
- ファイル形式の作成と管理
- ユーザーの許可の作成と管理
- オファーの作成と管理
- オーダーの構成
- オーダー送信
- オーダー関連イベントおよびレポートの表示
- サーバー内の VEU 管理ストアにある保留中のオーダーの検索
- 保留中のタスクの表示およびモニター

Sterling B2B Integrator EBICS Client は、フランス語実装とドイツ語実装の両方について EBICS 仕様 V2.5 をサポートしています。

---

## EBICS の概要

Electronic Banking Internet Communication Standard (EBICS) とは、インターネットをベースにした通信およびセキュリティーの規格です。EBICS はヨーロッパの銀行業務用の規格です。EBICS は、主として組織と銀行間で企業の支払取引などのリモート・データ転送に使用されます。

EBICS を使用すると、メッセージの規格や形式に関係なく、データ・ファイルを交換することができます。EBICS では、確立されたデジタル署名と暗号化手順が使用されます。EBICS は、XML、HTTPS、TLS、SSL など、インターネット通信およびセキュリティー強化の国際規格に基づいています。また、EBICS はマルチバンク機能も備えており、EBICS を採用している国の企業クライアントは、同じソフトウェアを使用してそれらの国のどの銀行とも取引を行うことができます。

EBICS Client のトランザクションには、以下のエンティティーが関係します。

組織 EBICS Client を使用して銀行との取引を行う組織または会社。

銀行 組織が取引を行う金融機関。銀行には EBICS Banking Server がインストールされています。

パートナー

銀行との対話を行う組織内の部門または単位。

ユーザーまたはサブスクライバー

EBICS 取引を実行する部門内の要員。

組織が特定の銀行と銀行特有の EBICS 取引を実施するには、一連の前提条件を満たしている必要があります。EBICS 取引を実施するための基本的な前提条件は、パートナーと銀行間の契約の締結です。EBICS プロトコルは、銀行取引 (オーダー・タイプ) の通信に関して定義します。この契約で合意する詳細は次のとおりです。

- 業務取引のタイプ。
- ユーザーの銀行口座に関する情報。
- 銀行のシステムとの処理を行うパートナーに関する情報。
- ユーザーの権限および許可。

契約への署名が完了すると、パートナーは銀行のアクセス・データ (銀行パラメーター) を受け取ります。銀行は、契約上の合意事項に従って、銀行システムでパートナーおよびユーザーのマスター・データを構成します。その他の前提条件として、サブスクライバーの初期化、ユーザーによる銀行のパブリック証明書のダウンロード、銀行によるユーザーのパブリック証明書の検証、および取引パートナーによる銀行の証明書の検証があります。

IBM® Sterling B2B Integrator は、取引を実施する銀行および組織に、機密保護機能があり、柔軟で効率的なプラットフォームが完備された EBICS ソリューションを提供します。このソリューションの実装は、EBICS Banking Server と EBICS Client の 2 つの主要コンポーネントに分かれています。EBICS Banking Server は銀行に、EBICS Client は組織に対応します。サーバーとクライアントはいずれも、Sterling B2B Integrator 上にデプロイされます。

---

## EBICS Client モジュールの手動によるインストール

Sterling B2B Integrator 5.2.5 のインストール時、または前のバージョンの Sterling B2B Integrator から Sterling B2B Integrator 5.2.5 へのアップグレード時、インストール・マネージャーで「**Financial Services** モジュール」オプションを選択した場合、EBICS Client モジュールが自動的にインストールされます。

### 始める前に

Sterling B2B Integrator がインストールされている必要があります。Sterling B2B Integrator のインストールおよびアップグレードについては、Sterling B2B Integrator 5.2 インフォメーション・センターの『インストールおよびアップグレードのガイド (Installation and Upgrade guides)』を参照してください。



## このタスクについて

以下のいずれかの条件に該当する場合、EBICS Client モジュールを手動でインストールする必要があります。

- Sterling B2B Integrator 5.2.5 のインストール時に、インストール・マネージャーで「**Financial Services** モジュール」オプションを選択しなかった場合。
- 前のバージョンの Sterling B2B Integrator から Sterling B2B Integrator 5.2.5 へのアップグレード時に、インストール・マネージャーで「**Financial Services** モジュール」オプションを選択しなかった場合。
- 前のバージョンの Sterling B2B Integrator 5.2.x のパッチとして Sterling B2B Integrator 5.2.5 を適用する場合。

EBICS Client モジュールを手動でインストールするには、Sterling B2B Integrator 5.2.5 のインストール後、またはこのバージョンへのアップグレード後に、以下のステップを実行します。

注: EBICS Client モジュールをクラスター環境にインストールする場合、インストール・インスタンスの各ノードで、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator を停止します。
2. すべてのコマンド・プロンプト・ウィンドウを閉じます。
3. データベース・パスワードが暗号化されている場合は、暗号化を解除します。
4. すべてのコマンド・プロンプト・ウィンドウを閉じます。
5. EBICS Client のライセンスが含まれるように、以下の手順でライセンス・ファイルを更新します。
  - a. コマンド・プロンプト・ウィンドウを開きます。
  - b. 次のコマンドを入力します。
    - Microsoft Windows の場合: `install_dir%bin%AddLicenseSet.cmd install_dir%properties%licensefiles%Fin_Serv_License.xml`
    - UNIX の場合: `install_dir%bin%AddLicenseSet.sh install_dir%properties%licensefiles%Fin_Serv_License.xml`
6. 以下の手順で、EBICS Client JAR ファイルをインストールします。
  - a. コマンド・プロンプト・ウィンドウを開きます。
  - b. 次のコマンドを入力します。
    - Microsoft Windows の場合: `install_dir%bin%InstallService.cmd install_dir%packages%v_ebics_client_version_number_build number.jar`
    - UNIX の場合: `install_dir%bin%InstallService.sh install_dir%packages%v_ebics_client_version_number_build number.jar`
7. データベース・パスワードの暗号化を解除した場合は、再度パスワードを暗号化します。
8. Sterling B2B Integrator を始動します。

---

## 前提条件の構成

### このタスクについて

EBICS Client を使用する前に、Sterling B2B Integrator にアクセスするための以下の前提条件を構成しておく必要があります。

### 手順

1. 証明書のパブリック部分とプライベート部分を Sterling B2B Integrator のシステムおよびトラステッド・ストアにチェックインします。必要な認証局 (CA) 証明書を Sterling B2B Integrator の CA ストアにチェックインするか、自己署名証明書を作成します。ユーザーの構成には、次のタイプの証明書が使用されます。
  - 識別と認証
  - 暗号化 (Encryption)
  - 署名
2. Sterling B2B Integrator の「ID」メニューから、基本 ID として組織を指定して組織の ID レコードを作成します。この ID 名は EBICS パートナー名に対応している必要があります。
3. Sterling B2B Integrator の「ユーザー・アカウント」メニューから、ユーザー・アカウントを作成し、ユーザーに許可を割り当てます。ユーザー名は EBICS ユーザー名に対応している必要があります。
4. Sterling B2B Integrator でアダプター (ファイル・システム・アダプター、HTTP(S) アダプター、SFTP アダプター、FTP(S) アダプターなど) を構成します。アダプターにより、ファイルの送受信、および EBClientOrderPreProcess ビジネス・プロセスの呼び出しを行うことができます。例えば、EBClientOrderPreProcess ビジネス・プロセスを起動する、ファイル・システム・アダプターを構成します。
5. 以下のメールボックスを構成して、各ユーザーに関連付けます。
  - EBClientOrderMetadata (事前構成済み)
  - ダウンロード (受信ボックス)
  - アップロード (送信ボックス)
6. EBClientMailboxArrivedMessage ビジネス・プロセスが EBClientOrderMetadata メールボックスに関連付けられていることを確認します。自動ルーティング・ルールによってビジネス・プロセスがトリガーされ、メールボックスの着信メッセージに関する関係者への通知などの自動化された機能が実行されます。

注: EBICS Client ルーティング・ルールの既存の構成は変更しないことをお勧めします。ルーティング・ルール構成を変更すると、オーダー送信で重複したサブセットおよび重複したオーダーが作成される場合があるためです。
7. MailboxEvaluateAllAutomaticRulesSubMin スケジュールが有効であることを確認します。

## ID レコードの作成

### このタスクについて

取引パートナーは、ID レコードによって示されます。ID レコードは取引パートナーを記述し、取引パートナーに関係するビジネス・プロセスの実行時に参照される情報が保管されます。ID レコード、および取引パートナーの詳細については、「Sterling B2B Integrator 取引パートナー管理 (Trading Partner Management)」ドキュメンテーションを参照してください。ID レコードを作成するには、以下のようにします。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「拡張」 > 「ID」を選択します。
3. 「作成」の「新規 ID (New Identity)」の横にある「実行 (Go)」をクリックします。
4. 「ID」ページで、以下のいずれかを行います。
  - 既存の取引プロファイルのすべてのコンポーネントを継承する ID レコードを作成するには、「基本 ID の選択 (Select Base Identity)」から ID を選択し、「次へ」をクリックします。
  - プロパティを指定するには、「基本 ID の選択 (Select Base Identity)」を空白のままにして、「次へ」をクリックします。
5. 情報設定を指定します。「情報 (Information)」ページで以下のフィールドに入力して、「次へ」をクリックします。

情報フィールド	説明
名前	必須。取引プロファイルに作成する ID レコードの名前。
参照 URL	オプション。Uniform Resource Locator (URL) は、取引パートナーのインターネット・アドレスです。
DUNS	オプション。Data Universal Numbering System (DUNS) は、Dun & Bradstreet Corporation によって発行される 9 文字の固有会社 ID 番号です。
ID	必須。ID レコードのプライマリー ID。DUNS 番号、EDI 交換 ID、E メール・アドレス、またはその他の固有ストリングを使用できます。
住所行 1 (Address Line 1)	必須。取引パートナー組織の従来型の郵送に使用される住所。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。取引パートナー組織の追加郵送住所情報。
市区町村 (City)	必須。取引パートナーが所在する市区町村。
都道府県 (State or Province)	オプション。ID で示される取引パートナーの組織が所在する都道府県。

情報フィールド	説明
郵便番号 (Zip or Postal Code)	必須。取引パートナーの所在地の郵便番号。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。取引パートナーの E メール・アドレス。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。取引パートナーの電話番号。
時間帯	オプション。取引パートナーの所在地の時間帯。
国 (Country)	オプション。取引パートナーが所在する国。

6. 「終了」をクリックして、ID を追加します。
7. 「戻る」をクリックして、処理を続行します。

## ユーザー・アカウントの作成

### このタスクについて

開始前に、ローカルと外部のいずれの認証を使用しているかを認識しておく必要があります。

- ローカル – アプリケーションのデータベースに対する認証が実行されます (デフォルト)。
- 外部 – LDAP サーバーに対する認証が実行されます。外部認証は LDAP アダプターを必要としません。LDAP アダプターは、ビジネス・プロセスとともに使用され、システムが Java Naming and Directory Interface (JNDI) を使用してローカル、またはリモートの LDAP サーバーと通信できるようにします。

このアカウントに 1 つ以上の許可ユーザー・キーを割り当てる場合は、ユーザー・アカウントの作成前に取引パートナーからキーを入手してチェックインする必要があります。

また、以下の情報も認識しておく必要があります。

表 1. ユーザー・アカウントの作成

フィールド	説明
ユーザー ID	必須。作成するユーザー・アカウントのユーザー ID。ユーザー ID は、5 文字以上の長さが必要です。  MySQL データベースに限っては、ログインで大文字と小文字が区別されません。常に、固有スペルの ID を使用して、ユーザーが偶発的に別のユーザーの ID を使用することがないようにします。
パスワード (ローカル認証のみ)	ローカル・ユーザーの場合は必須。作成するユーザー・アカウントのパスワード。パスワードの長さは 6 文字以上である必要があります。外部ユーザーにはこのフィールドは表示されません。
パスワードの確認 (ローカル認証のみ)	ローカル・ユーザーの場合は必須。2 回目のパスワード入力です。外部ユーザーにはこのフィールドは表示されません。

表 1. ユーザー・アカウントの作成 (続き)

フィールド	説明
ポリシー (ローカル認証のみ)	<p>オプション。ユーザー・アカウントに関連付けられるパスワード・ポリシー。関連付けるポリシーをリストから選択します。外部ユーザーにはこのフィールドは表示されません。</p> <p>有効期限は、システムによってユーザーが初めてこのパスワードを使用してログインした日付から計算されます。</p>
認証ホスト (Authentication Host) (外部認証のみ)	<p>ユーザーの認証が実行される Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバー。このフィールドにリストされるサーバー (複数の場合もあり) は authentication_policy.properties.ini ファイルで指定されます。</p>
セッション・タイムアウト	<p>必須。非アクティブな状態で保持できる期間 (分)。この期間を経過すると再ログインが必要になります。分単位の時間です。</p>
アクセシビリティ (Accessibility)	<p>オプション。ユーザー・アカウントがアクセスできるダッシュボード・ユーザー・インターフェースの部分。</p> <p>アクセシビリティには以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理 UI - ダッシュボードの管理コンソール・ペインのみにアクセスします。</li> <li>• AS2 UI - AS2 Edition インターフェースのみにアクセスします。</li> <li>• UCCNET UI - UCCnet Edition インターフェースのみにアクセスします。</li> <li>• ダッシュボード UI - ダッシュボード・インターフェースにアクセスします。ダッシュボード・テーマの選択によって絞られます。</li> </ul>
ダッシュボード・テーマ	<p>アクセシビリティがダッシュボード UI に設定されている場合は必須。ユーザー・アカウントにアクセスが許可される事前定義のダッシュボード。</p> <p>以下は、ダッシュボード・テーマのオプションです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デフォルト</li> <li>• オペレーター</li> <li>• 参加者</li> <li>• 参加者スポンサー (Participant Sponsor)</li> <li>• スポンサー</li> <li>• AFT</li> </ul>
名 (Given Name)	<p>必須。ユーザーを識別するための名前。</p>
姓 (Surname)	<p>必須。ユーザーの姓。</p>
E メール	<p>ユーザーの E メール・アドレス。</p>
ポケットベル (Pager)	<p>ユーザーのポケットベルの番号。</p>
優先言語	<p>ユーザーの優先言語。英語、フランス語、日本語、スペイン語から選択します。</p>
マネージャー ID (Manager ID)	<p>ユーザーのマネージャーのユーザー ID。</p>

表 1. ユーザー・アカウントの作成 (続き)

フィールド	説明
ID	<p>ユーザー・アカウントに関連付ける取引パートナーの ID。1 つのユーザー・アカウントに関連付けることができる取引パートナーは 1 つのみです。ユーザー・アカウントは、それぞれが独自の取引パートナー ID の関連付けを持つ多数のグループに関連付けることができます。これにより、ユーザー・アカウントを複数の取引パートナーに関連付けることができます。「ID」フィールドは、メールボックス内のメッセージのルーティングに使用されます。取引パートナーの ID をリストから選択します。</p> <p>デフォルト値は、ハブ組織です。</p>

ユーザーの作成、およびユーザーへの許可の割り当ての詳細は、「*Sterling B2B Integrator* セキュリティー」ドキュメンテーションを参照してください。

ユーザー・アカウントを作成するには以下のようにします。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「アカウント」 > 「ユーザー・アカウント」を選択します。
3. 「新規アカウントの作成 (**Create a new Account**)」の横にある「実行 (**Go!**)」をクリックします。
4. 「新規アカウント」ページで、「認証タイプ」を選択します。
5. 「ユーザー ID」と「パスワード」を入力します。
6. パスワードを確認します。
7. 「ポリシー」を選択します。
8. 「セッション・タイムアウト」を入力します。
9. 「アクセシビリティ (**Accessibility**)」を選択します。
10. 「ダッシュボード・テーマ (**Dashboard Theme**)」を選択します。
11. 「次へ (**Next**)」をクリックします。
12. 「SSH 許可ユーザー・キー (SSH Authorized User Key)」ページで、1 つ以上の公開鍵を割り当てます。キーを「選択可能 (**Available**)」ペインから「割り当て済み (**Assigned**)」ペインに移動して、「次へ」をクリックします。
13. 「グループ」ページで、権限のグループを割り当てます。グループ名を「選択可能 (**Available**)」ペインから「割り当て済み (**Assigned**)」ペインに移動して、「次へ (**Next**)」をクリックします。
14. 「許可 (Permissions)」ページで個別の許可を割り当てます。権限を「選択可能 (**Available**)」ペインから「割り当て済み (**Assigned**)」ペインに移動して、「次へ (**Next**)」をクリックします。デフォルトでは、ユーザーに割り当てられたグループに関連付けられた許可が既に選択されています。
15. 「ユーザー情報」ページで、「名 (**Given Name**)」を入力します。
16. 「姓 (**Surname**)」を入力します。
17. 「E メール・アドレス」を入力します。

18. 「ポケットベル番号 (Pager number)」を入力します。
19. 「優先言語」を選択します。
20. 「マネージャー ID (Manager ID)」を入力します。
21. 「ID」を選択します。
22. 「次へ (Next)」をクリックします。
23. ユーザー・アカウントの設定を確認します。
24. 「終了」をクリックします。ユーザー・アカウントが作成され、次のメッセージが表示されます。

The system update completed successfully.

外部ユーザーを作成した場合は、システムからログアウトしてから、外部ユーザー ID またはアカウントを使用してログインしなします。外部ユーザー ID は、外部 LDAP サーバー上でシステムによって認証されます。

## ファイル・システム・アダプターの構成

ファイル・システム・アダプターは、ファイル・システムからビジネス・プロセスへのファイルの収集 (インポート)、およびビジネス・プロセスからファイル・システムへのファイルの抽出 (エクスポート) に使用されます。ファイルがファイル・システムから収集された後にビジネス・プロセスが開始されるように、またはファイル・システム・アダプターがビジネス・プロセス・フローに組み込まれるように、ファイル・システム・アダプターを構成できます。また、特定の時間間隔でファイル・システム・アダプターが実行されるようにスケジュールすることもできます。

複数のコレクション・フォルダーのそれぞれに 1 つずつ、合計で複数のファイル・システム・アダプター構成を作成できます。また、単一のファイル・システム・アダプター構成を使用し、ビジネス・プロセスのファイル収集と抽出に使用するディレクトリーを指定することによって、異なる複数のディレクトリーを指示することもできます。ファイル・システム・アダプターの構成の詳細は、「ファイル・システム・アダプター (File System Adapter)」のドキュメンテーションを参照してください。

**EBClientOrderPreProcess** ビジネス・プロセスが起動するように、ファイル・システム・アダプターを構成します。

ファイル・システム・アダプターの構成を作成するには、Sterling B2B Integrator およびグラフィカル・プロセス・モデラー (GPM) でフィールド設定を指定します。

次の表は、Sterling B2B Integrator におけるファイル・システム・アダプターの構成に使用されるフィールドを説明しています。

注: 角括弧で囲まれたフィールド名は、GPM の対応フィールドを示しています。この情報は参考用としてのみ提供されます。

フィールド	説明
名前	必須。サービス構成に関する固有で意味のある名前。

フィールド	説明
説明	必須。サービス構成に関する意味のある説明。参照用。
グループの選択	<p>アダプターに関連付けるグループ。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし: グループは選択されません。</li> <li>• 新規グループの作成 (Create New Group): 新規グループを作成できます。</li> <li>• グループの選択 (Select Group): 使用可能なグループのリストから選択します。</li> </ul>
コレクション・フォルダー (Collection folder) [collectionFolder]	<p>必須。 Sterling B2B Integrator がインストールされ、ビジネス・プロセスの一環としてファイルを収集 (または採集) する同じコンピューター上のフォルダーまたはサブフォルダーの名前。フォルダーへのパスが名前の一部として含まれない場合、フォルダーは Sterling B2B Integrator 作業ディレクトリー内にあると想定されます。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• GPM の deleteAfterCollect パラメーターは Yes をデフォルトとして取得します。デフォルト値を No に変更しない場合、収集されたファイルがコレクション・フォルダーから削除されます。ファイル・システム・アダプターでは、収集したファイルを処理のためにコピーすることはありません。deleteAfterCollect パラメーターの詳細については、「グラフィカル・プロセス・モデラーの構成 (Graphical Process Modeler Configuration)」を参照してください。</li> <li>• collectionFolder パラメーターは、GPM では読み取り専用です。ただし、ビジネス・プロセス・モデリング言語 (BPML) を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</li> </ul>



フィールド	説明
ファイル名フィルター (Filename filter) [filter]	<p>オプション。コレクション・フォルダー内で指定されたフィルターに一致するファイルのみが収集されます。例えば、以下のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• *.txt (.txt ファイルのみ収集されます)。</li> <li>• *.dat (.dat ファイルのみ収集されます)。</li> <li>• EDI.* (EDI と命名された、すべてのファイル拡張子のファイルが収集されます)。</li> <li>• EDI.txt (EDI と命名され、ファイル拡張子が .txt のファイルのみが収集されます)。</li> </ul> <p>注: コレクション・フォルダーに複数のファイルが存在し、このフィールドを空白にした場合は、以下のいずれかのように処理されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アダプターがビジネス・プロセスを開始するように構成されている場合は、コレクション・フォルダーに置かれた全ファイルが処理されます。</li> <li>• アダプターがビジネス・プロセス内にある場合は、コレクション・フォルダーの最初のファイルのみが収集されます。</li> </ul> <p>注: ファイル・システム・アダプターの構成を使用してこのオプションを指定した場合は、GPM フィルター・パラメーターを使用してこの値をオーバーライドできなくなります。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>
コレクション・フォルダー内のサブフォルダーおよびコレクション・フォルダーからファイルを集めますか。(Collect files from subfolders within and including the collection folder?) [useSubFolders]	<p>必須。コレクション・フォルダーのサブフォルダー内のファイルをスキャンするかどうかは判別されます。有効な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• はい: 指定されたフォルダーと全サブフォルダーのファイルが収集されます。</li> <li>• いいえ: 指定されたフォルダーのみからファイルが収集されます。</li> </ul> <p>注: このパラメーターは、GPM では読み取り専用です。</p>

フィールド	説明
<p>ドキュメント名に絶対ファイル・パス名を使用しますか。(Use the absolute file path name for the document name?) [keepPath]</p>	<p>必須。ドキュメント名の割り当て時に収集されたファイルの絶対パス名を保持するかどうかを判別します。有効な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• はい: 絶対ファイル・パス名はビジネス・プロセス内でドキュメントとともに保持されます。ビジネス・プロセスでファイル名に先行するパス情報が必要な場合は、この値を選択します。</li> <li>• いいえ: ファイル名のみがビジネス・プロセス内でドキュメントとともに保持されます。</li> </ul> <p>注: 絶対パスは、作業ディレクトリーまたは結合パスにかかわらず、同じ場所を指すパスです。ルート・ディレクトリーを基準にして表記されます。例えば、  <code>c:%dir1%subdir1%somefile.txt</code>  (Windows)、および <code>/home/dir1/subdir1/somefile.txt</code> (UNIX) は、<code>somefile.txt</code> ファイルへの絶対パスの例です。  注: このパラメーターは、GPM では読み取り専用です。</p>
<p>ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。(Start a business process once files are collected?) [bootstrap]</p>	<p>必須。ファイルの収集後、ファイル・システム・アダプターを使用してビジネス・プロセスを開始するかどうかを判別します。有効な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• はい: フィルター基準に一致するすべてのファイルについて、ビジネス・プロセス・ドロップダウン・リストから指定されたビジネス・プロセスを開始します。ビジネス・プロセスのインスタンスは、<code>maxThreads</code> パラメーターで指定されたスレッド数に達するまで、ファイル・コレクションに指定されたフィルター基準と一致するすべてのファイルに対して開始されます。</li> <li>• いいえ: ビジネス・プロセスは開始されません。このパラメーターは、GPM では読み取り専用です。</li> </ul>

フィールド	説明
ビジネス・プロセス [initialWorkflowId]	<p>「ビジネス・プロセスの開始 (<b>Start a business process</b>)」が「はい」に設定されている場合は必須です。ファイルの収集後に開始されるビジネス・プロセスです。「ビジネス・プロセス」ドロップダウン・リストから <code>EBCClientOrderPreProcess</code> を選択します。</p> <p>注: このフィールドは、「ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。 (<b>Start a business process once files are collected</b>)」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してビジネス・プロセスを指定する場合は、 <code>GPM initialWorkflowId</code> オプションを使用してこの値をオーバーライドすることはできません。「適用しない」を選択した場合は、 <code>GPM</code> でビジネス・プロセスを選択できます。いずれの場合も、 <code>BPML</code> を使用すればこのパラメーターをオーバーライドできます。</p>
ドキュメント・ストレージ・タイプ (Document storage type) [docStorageType]	<p>必須。システム内でドキュメントを保管する方法を定義します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• システム・デフォルト</li> <li>• データベース</li> <li>• ファイル・システム</li> </ul> <p>注: このフィールドは、「ファイルを収集したらビジネス・プロセスを開始しますか?」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、 <code>GPM DocStorageType</code> オプションを使用してこの値をオーバーライドできません。ただし、 <code>BPML</code> を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>

フィールド	説明
ファイル内容を隠しますか。(Obscure File Contents?) [obscure]	<p>収集時にファイル内容を隠すかどうかを指定します。 <i>attachFile</i>、または <i>importFile</i> では機能しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• はい: ファイル内容が隠されます。</li> <li>• いいえ: ファイル内容は隠されません。</li> </ul> <p>注: このフィールドは、「ファイルを集集したらビジネス・プロセスを開始しますか?」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、GPM <b>Obscure</b> オプションを使用してこの値をオーバーライドできません。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>
ユーザー・パラメーター 1 [userParm1]	<p>ブートストラップされるワークフローに渡され、プロセス・データに <i>UserParm1</i> としてプロセスに配置されるユーザー・パラメーター。</p> <p>注: このフィールドは、「ファイルが集集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。(Start a business process once files are collected)」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、GPM <b>userParm1</b> オプションを使用してこの値をオーバーライドできません。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>
ユーザー・パラメーター 2 [userParm2]	<p>ブートストラップされるワークフローに渡され、プロセス・データに <i>UserParm2</i> としてプロセスに配置されるユーザー・パラメーター。</p> <p>注: このフィールドは、「ファイルが集集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。(Start a business process once files are collected)」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、GPM <b>userParm2</b> オプションを使用してこの値をオーバーライドできません。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>

フィールド	説明
ユーザー・パラメーター 3 [userParm3]	<p>ブートストラップされるワークフローに渡され、プロセス・データに UserParm3 としてプロセスに配置されるユーザー・パラメーター。</p> <p>注: このフィールドは、「ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。<b>(Start a business process once files are collected)</b>」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、GPM userParm3 オプションを使用してこの値をオーバーライドできません。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>
ユーザー・パラメーター 4 [userParm4]	<p>ブートストラップされるワークフローに渡され、プロセス・データに UserParm4 としてプロセスに配置されるユーザー・パラメーター。</p> <p>注: このフィールドは、「ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。<b>(Start a business process once files are collected)</b>」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、GPM userParm4 オプションを使用してこの値をオーバーライドできません。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>
ユーザー・パラメーター 5 [userParm5]	<p>ブートストラップされるワークフローに渡され、プロセス・データに UserParm5 としてプロセスに配置されるユーザー・パラメーター。</p> <p>注: このフィールドは、「ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。<b>(Start a business process once files are collected)</b>」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。構成を使用してこのパラメーターを指定した場合は、GPM userParm5 オプションを使用して、この値をオーバーライドできません。ただし、BPML を使用すると、このパラメーターをオーバーライドできます。</p>

フィールド	説明
Run As ユーザー	<p>ビジネス・プロセスのスケジューリングに適用されます。「Run As ユーザー」フィールドは、「ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか (<b>Start a business process once files are collected</b>)」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。スケジュールに関連付けるユーザー ID を入力するか、リスト・アイコンをクリックしてリストからユーザー ID を選択します。有効な値は、任意の認証 Sterling B2B Integrator ユーザー ID です。</p> <p>注: このパラメーターを使用すると、特定のビジネス・プロセスに対する権限がないユーザーも、そのプロセスを実行できます。ユーザー ID として <b>Admin</b> を選択すると、管理権限 (ビジネス・プロセスのこの種類の実行のみ) を継承し、スケジュールされた実行を使用可能にできます。</p>
24 時間クロック表示の使用 (Use 24 Hour Clock Display)	<p>選択すると、アダプターではデフォルトの 12 時間クロックではなく、24 時間クロックが使用されます。</p>

フィールド	説明
スケジュール	<p>ファイル・システム・アダプターによるファイルの収集後のビジネス・プロセスのスケジュールに関する情報。「スケジュール」フィールドは、「ファイルが収集されたらビジネス・プロセスを開始しますか。(<b>Start a business process once files are collected</b>)」が「はい」に設定されている場合のみ、オプションとして表示されます。有効な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スケジュールを使用しない (Do not use schedule)。 <p>このフィールドを選択すると、アダプターはビジネス・プロセスを開始せず、スケジュールによる実行を行いません。</p> </li> <li>• タイマー指定で実行。 <p>有効な値はアダプターの実行時点を指定する時分です。時間間隔を選択することにした場合、有効な値はその間隔の時分です。必要に応じて選択を追加または削除してください。除外する日付を任意に指定します。アダプターを開始時に実行するかどうかを指定してください。</p> </li> <li>• 毎日実行 (Run daily)。 <p>有効な値は、毎日のアダプター実行時点を指定する時分です。時間間隔を選択することにした場合、有効な値はその間隔の時分です。必要に応じて選択を追加または削除してください。除外する日付を任意に指定します。アダプターを開始時に実行するかどうかを指定してください。</p> </li> <li>• 曜日に基づいて実行 (Run based on days of the week)。 <p>有効な値はアダプターの実行時点を指定する曜日、時間、および分です。時間間隔を選択することにした場合、有効な値はその間隔の時分です。必要に応じて選択を追加または削除してください。除外する日付を任意に指定します。</p> </li> <li>• 日付に基づいて毎月実行 (Run based on days of the month)。 <p>有効な値は、アダプターの実行時点を指定する日 (月内)、時間、および分です。時間間隔を選択することにした場合、有効な値はその間隔の時分です。必要に応じて選択を追加または削除してください。除外する日付を任意に指定します。</p> </li> </ul>

フィールド	説明
抽出フォルダー (Extraction folder) [extractionFolder]	<p>必須。 Sterling B2B Integrator がインストールされ、ビジネス・プロセスの一環として 1 次ドキュメントからデータを抽出する (または書き込む)、同じコンピューター上のフォルダーおよびサブフォルダーの名前。名前の一部としてフォルダーへのパスが組み込まれていない場合、フォルダーは、 Sterling B2B Integrator 作業ディレクトリーであると想定されます。</p> <p>注: このパラメーターは、GPM では読み取り専用です。</p>
ファイル内容を隠さないでおきますか。 (Unobscure File Contents?) [unobscure]	<p>抽出時にファイル内容を隠さないでおくかどうかを指定します。 <i>exportFile</i> では機能しません。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• はい: ファイル内容は隠されません。</li> <li>• いいえ: ファイル内容は隠されます。</li> </ul> <p>注: このパラメーターは、GPM では読み取り専用です。</p>
ファイル命名規則 (Filenaming convention) [assignFilename]	<p>必須。ドキュメント・ファイル名をオーバーライドするかどうか、割り当てられたファイル名を使用するかどうかを判別します。有効な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 抽出されたファイルの名前に元のファイル名を使用する (Use the original file name as the extracted file name): ファイルの名前を保持します。</li> </ul> <p>注: 1 次ドキュメントにドキュメント名がない場合、アダプターでは、 <i>nodename_yyyyMMddHHmmssSSS.dat</i> の形式のデフォルトのファイル名を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 固有名を割り当てる (Assign a specific name): 画面にナビゲートするオプションが示され、ファイル・システムに抽出されたファイルに別のファイル名を指定します。</li> </ul> <p>注: このパラメーターは、GPM では読み取り専用です。</p>



フィールド	説明
ファイル名 [assignedFilename]	<p>必須。割り当てるファイル名で、ファイル名拡張子も含まれます。「ファイル名」フィールドは、「ファイル命名規則」が「固有名を割り当てる (assign a specific name)」に設定されている場合のみ表示されます。このフィールドを空白にすることはできません。形式 <code>nodename_yyyyMMddHHmmssSSS</code> で固有のファイル名を割り当てるには、「%^」を使用できます。</p> <p>例えば、ファイル名として <code>%^.dat</code> を指定すると、「ファイル名」では名前 <code>nodename_20040203114020982.dat</code> がファイルに割り当てられます。</p> <p>注: このフィールドは、GPM でも割り当てることができます。ファイル・システム・アダプター構成を使用してファイル名を選択した場合は、GPM の assignedFilename パラメーターを使用してこの値をオーバーライドすることはできません。ただし、BPML を使用すると、オーバーライドできます。</p>
ビジネス・プロセスのサービスを使用可能にする (Enable Service for Business Processes)	<p>ビジネス・プロセスでのサービスの使用を使用可能にするかどうかを判別します。選択しない場合、サービスは使用不可になります。サービスの使用可能化の詳細は、「サービスとアダプターの管理 (Managing Services and Adapters)」を参照してください。</p>

## メールボックスの作成および許可の割り当て

EBICS Client ユーザーのそれぞれに、事前構成された EBClientOrderMetadata メールボックスを関連付ける必要があります。

### このタスクについて

ダウンロード (受信ボックス) とアップロード (送信ボックス) のメールボックスを作成して、各ユーザーとメールボックスを関連付ける必要があります。

メールボックスの構成、およびグループとユーザーへの許可の割り当ての詳細は、「Sterling B2B Integratorメールボックスのヘルプ (Mailbox Help)」ドキュメンテーションを参照してください。

メールボックスを作成して、グループおよびユーザーにこのメールボックスを操作する許可を割り当てるには、以下のようにします。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「展開」 > 「メールボックス (Mailboxes)」 > 「構成」を選択します。

3. 「新規メールボックスの作成 (**Create a new Mailbox**)」の横にある「実行 (**Go!**)」をクリックします。
4. 「メールボックス: 名前 (**Mailbox: Name**)」ページで、作成するメールボックスが埋め込まれる親メールボックスを選択します。「フィルターに使用する名前 (**Filter by Name**)」フィールドに名前の一部を入力して、フィルター・ボタンをクリックするとリストがフィルタリングされます。ルート・メールボックスは、スラッシュ (/) によって示されます。
5. 「名前」フィールドに、作成するメールボックスの名前を入力します。この名前は、EBClientOrderMetadata など、アプリケーションでのメールボックスの識別に使用されます。
6. 必須。「説明」フィールドに、メールボックスの簡単な説明を入力して、「次へ」をクリックします。このフィールドは、メールボックスの説明に使用されます。このフィールドは、システムの他のリソースには使用されません。
7. 「グループの割り当て (**Assign Groups**)」ページで、矢印を使用してグループを「選択したグループ (**Selected Groups**)」リストに追加し、「次へ」をクリックします。「選択したグループ (**Selected Groups**)」リストのすべてのグループにこのメールボックスへの権限が設定されます。最初の二重矢印をクリックすると、選択可能なすべてのグループが、「選択したグループ (**Selected Groups**)」リストに追加されます。
8. 「フィルターに使用する名前 (**Filter by Name**)」フィールドで、グループ名の一部をフィールドに入力して、フィルター・ボタンをクリックすると、リストがフィルタリングされます。
9. 「アカウント」メニューでは、複数のグループを追加できます。必須のグループはありません。
10. 矢印を使用して、ユーザーを「選択したユーザー (**Selected Users**)」リストに追加し、「次へ」をクリックします。「選択したユーザー (**Selected Users**)」リストのすべてのユーザーにこのメールボックスへの許可が設定されます。二重矢印をクリックすると、選択可能なすべてのユーザーが「選択したユーザー (**Selected Users**)」リストに追加されます。
11. 「フィルターに使用する ID (**Filter by ID**)」フィールドで、名前の一部をフィールドに入力して、フィルター・ボタンをクリックすると、リストがフィルタリングされます。

## スケジュールの有効化

### このタスクについて

スケジュールを有効化すると、スケジュールがアクティブになり、関連付けられたアクティビティーがスケジュール設定に従って実行されます。スケジュールを実行するには、有効化する必要があります。手作業を自動化するスケジュールのセットアップの詳細については、「*Sterling B2B Integrator* スケジューリング (*Scheduling*)」ドキュメンテーションを参照してください。

MailboxEvaluateAllAutomaticRulesSubMin スケジュールは自動的に有効化されません。

スケジュールを有効化する手順は以下のとおりです。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「展開」 > 「スケジュール (Schedules)」を選択します。
3. 「検索」または「リスト」を使用して、MailboxEvaluateAllAutomaticRulesSubMin スケジュールを探し、「実行 (Go!)」をクリックします。
4. 「スケジュール (Schedules)」ページで、MailboxEvaluateAllAutomaticRulesSubMin スケジュールを探し、「使用可能」列のチェック・ボックスが選択されていることを確認します。

## 自己署名証明書の作成

### このタスクについて

自己署名証明書のパブリック部分を Sterling B2B Integrator のトラステッド・ストアにチェックインします。自己署名証明書を作成するには、以下のようになります。

## 手順

1. 次のオプションのいずれかを選択してください。
  - Sterling B2B Integrator を使用している場合は、「管理」メニューから、「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「システム (System)」を選択します。
  - AS2 Edition を使用している場合は、「AS2 管理 (AS2 Administration)」メニューから、「証明書」を選択します。
2. 自己署名証明書の作成 (Create Self-signed Certificate) の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
3. 自己署名証明書の「名前」を入力します。
4. 「組織」の名前を入力します。
5. 自己署名証明書の「国」、または作成元を選択します。
6. 組織における証明書の責任者の連絡先「E メール」アドレスを入力して、「次へ (Next)」をクリックします。
7. 証明書の「シリアル番号」を入力します。シリアル番号は、自己署名証明書に割り当てる番号です。
8. 自己署名証明書が有効である「期間」(日数)を入力します。
9. SubjectAltName フィールドとして、証明書と関連付けるネットワーク・インターフェースの「IP アドレス (IP addresses)」を入力します。
10. SubjectAltName フィールドとして、証明書と関連付けるネットワーク・インターフェースの「DNS 名 (DNS Names)」を入力します。
11. 「鍵の長さ (Key Length)」を選択します。鍵の長さは次のいずれかから選択します。
  - 512
  - 1024
  - 2048

注: セキュリティー、相互運用性、および効率のバランスの面から見ると、鍵の長さは 1024 が適しています。鍵の長さが 2048 の場合は、セキュリティーの面では最も優れていますが、低速になり、一部のアプリケーションで機能しない場合があります。電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.5 を参照してください。

注: 鍵の長さに 512 を選択した場合、JDK の java.security ファイルで、鍵の長さについての JDK の制限を確認する必要があります。

12. 「署名アルゴリズム」を選択します。

注: EBICS トランザクションで使用する証明書には、SHA256withRSA 署名アルゴリズムを使用する必要があります。

13. オプション「使用時に検証 (**Validate When Used**)」を選択します。検証オプションは以下のとおりです。

- 有効期間 (**Validity**) – 証明書の有効期間の日付がまだ有効であるかを検証します。日付が有効でない場合、証明書は使用されません。

注: 証明書の有効期間に値を設定する前に、「Microsoft PKI Quick Guide」に記載されているベスト・プラクティスの推奨事項を参照し、適用する必要があります。証明書を使用する際のベスト・プラクティスの推奨事項については、<http://www.windowsecurity.com/articles/Microsoft-PKI-Quick-Guide-Part3.html> を参照してください。

- 認証チェーン (**Auth Chain**) – 自己署名されていない証明書の信頼チェーンを構成します。有効な証明書を使用して信頼チェーンを構成できない場合、証明書は使用されません。証明書が自己署名されている場合、このオプションでは、証明書の署名のみが検証されます。

14. チェック・ボックスを選択して、「証明書署名ビット (**Certificate Signing Bit**)」を設定します。
15. 「次へ (**Next**)」をクリックします。
16. 自己署名証明書の情報を確認します。
17. 「終了」をクリックします。

## CA 証明書のチェックイン

サイトのセキュリティー・ポリシーに基づいて、Java Key Store (JKS) 内の認証局 (CA) 証明書をコンソールを介してチェックインすることもできます。

### このタスクについて

開始前に、外部で取得したすべての CA 証明書をローカル・ファイルに保存します。

EBIC Client ユーザーが銀行との取引に必要とするすべての証明書 (ID と認証、署名、および暗号化) をチェックインします。ユーザーの構成に CA 署名済み証明書を使用する場合は、ルート CA 証明書をチェックインします。署名に 3SKey が使用される場合は、ルート 3SKey 証明書をチェックインします。サーバーの HTTPS 証明書のパブリック部分を Sterling B2B Integrator の CA ストアにチェックインします。デジタル証明書の管理の詳細については、「Sterling B2B Integrator セキュリティー (Security)」ドキュメンテーションを参照してください。

CA 証明書をチェックインするには、以下を実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「CA」を選択します。
3. 「新規証明書」の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
4. 証明書をインポートする方法を以下から選択します。

インポート方法	次のステップ
JVM からのインポート - JKS 鍵ストアからのインポート	<ol style="list-style-type: none"><li>1. JVM からインポート (Import from JVM)」をクリックします。</li><li>2. パスワード・フィールドに表示されるデフォルトのパスワードを受け入れ、「次へ (Next)」をクリックします。</li></ol> <p>パスワード・フィールドが空の場合も、システムではデフォルトのパスワードが使用されます。</p>
ファイルからのインポート - ローカル・ドライブにファイル として保存された証明書の インポート	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「ファイル」から「インポート」をクリックします。</li><li>2. ファイル名を入力するか、「参照」をクリックして、CA 証明書ファイルを選択します。「次へ (Next)」をクリックします。</li></ol> <p>パスワード・フィールドに表示されたパスワードは無視してかまいません。エントリーを削除する必要はありません。</p>

選択可能な証明書が識別情報の要約とともにリスト表示されます。デフォルトではすべての証明書が選択されています。

5. 各エントリーの左にあるチェック・ボックスを選択して、証明書をインポートします。
6. 選択した証明書のそれぞれについて、提案された証明書名を受け入れるか、使用するファイル命名規則に基づいて編集します。
7. 「使用時に検証」オプションを選択して、「次へ (Next)」をクリックします。検証オプションは以下のとおりです。
  - 有効期間 (Validity) - 証明書の有効期間の日付がまだ有効であるかを検証します。日付が有効でない場合、証明書は使用されません。
  - 認証チェーン (Auth Chain) - 自己署名のない証明書の信頼チェーンの構成を試行します。有効な証明書を使用して信頼チェーンを構成できない場合、証明書は使用されません。証明書が自己署名されている場合、このオプションでは、証明書の署名のみが検証されます。
8. 証明書が、既にデータベースに存在する証明書と重複するというメッセージが出力された場合、Y または N を入力して、複製をインポートするかどうかを指示します。

このチェックは、単一の証明書でのみ実行されます。1 つのファイルから 1 つ以上の証明書をチェックインする場合はこのチェックが実行されません。

証明書は、複製を判別するため SHA1 または SHA256 ハッシュで識別されます。証明書のそれぞれが異なる行を取り込み、個別のオブジェクト ID が設定されるため、データベース内に1 件の証明書の複数のコピーが存在する場合があります。既存の証明書が上書きされることはありません。

9. CA 証明書情報を確認します。
10. 「終了」をクリックします。

## トラステッド・システム証明書のチェックイン

### このタスクについて

ユーザーの証明書のパブリック部分を Sterling B2B Integrator のトラステッド・ストアにチェックインします。

開始前にトラステッド・システム証明書を、ローカル・コンピューターのファイルに保存します。

トラステッド・システム証明書をチェックインするには、以下を実行します。

### 手順

1. 次のオプションのいずれかを選択してください。
  - Sterling B2B Integrator を使用している場合は、「管理」メニューから、「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「トラステッド (Trusted)」を選択します。
  - AS2 Edition を使用している場合は、「AS2 管理 (AS2 Administration)」メニューから、「証明書」を選択します。
2. 「新規証明書」の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
3. 「ファイル名」に入力するか、「参照」をクリックして、トラステッド証明書のファイル名を選択し、「次へ」をクリックします。
4. 「証明書名 (Certificate Name)」に入力します。
5. チェックインするトラステッド証明書の名前を検証します。選択した証明書のそれぞれに対して「証明書名 (Certificate Name)」フィールドに提案名が表示され、その後ろに証明書の識別情報の要約が続きます。名前は、使用するファイル命名規則に基づいて変更できます。
6. 選択したファイルにトラステッド証明書が複数存在する場合は、各証明書の左にあるチェック・ボックスを選択して証明書をチェックインします。
7. 「使用時に検証」オプションを選択して、「次へ (Next)」をクリックします。検証オプションは以下のとおりです。
  - 有効期間 (Validity) – 証明書の有効期間の日付がまだ有効であるかを検証します。日付が有効でない場合、証明書は使用されません。
  - 認証チェーン (Auth Chain) – 自己署名のない証明書の信頼チェーンの構成を試行します。有効な証明書を使用して信頼チェーンを構成できない場合、証明書は使用されません。証明書が自己署名されている場合、このオプションでは、証明書の署名のみが検証されます。
  - CRL キャッシュ (CRL cache) – システム証明書を使用するたびに、証明書失効リストを調べるかどうかを制御します。
8. トラステッド証明書情報を確認します。

9. 「終了」をクリックします。

## 鍵システム証明書のチェックイン

### このタスクについて

開始前に、鍵システム証明書をローカル・コンピューターのファイルに保存します。CA 署名済み証明書のプライベート部分を Sterling B2B Integrator の鍵システム証明書にチェックインします。

鍵システム証明書をチェックインするには、以下を実行します。

### 手順

1. 次のオプションのいずれかを選択してください。
  - Sterling B2B Integrator を使用している場合は、「管理」メニューから、「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「システム (System)」を選択します。
  - AS2 Edition を使用している場合は、「AS2 管理 (AS2 Administration)」メニューから、「証明書」を選択します。
2. 「鍵証明書」の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
3. 「証明書名 (Certificate Name)」に入力します。
4. 「秘密鍵パスワード (Private Key Password)」を入力します。このパスワードは秘密鍵の暗号化に使用されます。
5. 「ファイル名」に入力するか、「参照」をクリックして鍵証明書のファイル名を選択して、「次へ」をクリックします。
6. 「使用時に検証」オプションを選択して、「次へ (Next)」をクリックします。検証オプションは以下のとおりです。
  - 有効期間 (Validity) – 証明書の有効期間の日付がまだ有効であるかを検証します。日付が有効でない場合、証明書は使用されません。
  - 認証チェーン (Auth Chain) – 自己署名されていない証明書の信頼チェーンを構成します。有効な証明書を使用して信頼チェーンを構成できない場合、証明書は使用されません。証明書が自己署名されている場合、このオプションでは、証明書の署名のみが検証されます。
7. 鍵証明書情報を確認します。
8. 「終了」をクリックします。

---

## EBICS Client の構成

Sterling B2B Integrator で EBICS Client を構成する必要があります。

### 始める前に

「前提条件の構成」トピックにリストされている取引パートナー、ユーザー・アカウント、メールボックス、および証明書の構成を Sterling B2B Integrator で実行します。

## このタスクについて

以下の順番で EBICS Client を構成できます。

### 手順

1. 既存の Sterling B2B Integrator ユーザーを EBICS Client ユーザーとして構成します。
2. 銀行プロファイルを作成して EBICS ホスト情報を含めます。
3. オファーを作成し、それを銀行に関連付けます。
4. ファイル・フォーマットをオファーに関連付けます。
5. ユーザーに対して、オーダーに署名し送信するためのユーザー許可を割り当てます。
6. 以下のいずれかの方法を使用してユーザーを初期化します。
  - H3K オーダーを送信する。
  - INI と HIA を一緒に使用する。  
INI オーダーと HIA オーダーを送信します。  
INI および HIA の初期化レターを生成し、それらのレターに署名します。署名済みレターを銀行にメールで送信します。  
詳しくは、52 ページの『ユーザーの初期化』を参照してください。
7. HPB システム・オーダー・タイプを使用して、銀行のパブリック証明書をダウンロードします。
8. 銀行から受信した証明書のハッシュ値を検証します。
9. オーダーを送信します。
10. イベント、オーダー、および保留タスクのステータスを表示します。

---

## EBICS Client のプロファイル管理

EBICS Client のプロファイル管理では、以下のプロファイルを作成することができます。プロファイルの構成は、スーパー管理者、または EBICS Client 管理者が実行できます。

- 銀行
- ユーザー
- オファー
- ファイル形式

注: スーパー管理者は、EBICS Client のインストール時に作成されるデフォルトの管理者の役割です。許可されたユーザーは、スーパー管理者ログインの資格情報を使用して、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースにログインして、EBICS Client 管理者、EBICS Client オペレーター、および EBICS Client ユーザーとその他のプロファイルを作成できます。EBICS Client 管理者も、EBICS Client 管理者、EBICS Client オペレーター、EBICS Client ユーザー、およびその他のプロファイルを作成できます。



## 既存ユーザーの EBICS Client ユーザーとしての構成 始める前に

Sterling B2B Integrator で以下を構成します。

- 取引パートナー・エンティティの作成
- 取引パートナー・エンティティを使用したユーザー・アカウントの作成、許可およびパスワード・ポリシーの定義
- 各ユーザーのアップロードおよびダウンロードのメールボックスの構成

### このタスクについて

ユーザーは、1 つまたは複数のパートナーに属することができます。EBICS メッセージを交換できるように、ユーザーは常にパートナーと関連付けられています。既存の Sterling B2B Integrator ユーザーを EBICS Client ユーザーとして構成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「ユーザー」を選択します。
3. 「ユーザー構成 (User Configuration)」 ページで、「既存ユーザーを EBICS ユーザーとして構成 (**Configure existing user as EBICS user**)」の横にある「GO」をクリックします。
4. 「ユーザー構成 (User Configuration)」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
ユーザー ID	必須。銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。「ユーザー ID」ドロップダウン・リストから、ユーザー ID を選択します。
ユーザー・タイプ	必須。「ユーザー・タイプ」ドロップダウン・リストから、ユーザーの役割を選択します。有効な値は、EBICS client admin、EBICS client operator、および EBICS client user です。
時間帯	オプション。ユーザーの時間帯を指定します。
特有ユーザー (Technical user)	オプション。特有ユーザーとは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代わりにオーダーを送信するように構成されたシステムです。このオプションは、ユーザー・タイプとして「EBICS Client ユーザー」を選択した場合に有効です。特有ユーザーを構成するには、このチェック・ボックスを選択します。

フィールド	説明
証明書タイプ	<p>ユーザー・タイプとして EBICS Client ユーザーを選択した場合は必須です。X.509 公開鍵証明書を使用して証明書を認可する場合は、「X509 (X509)」を選択します。RSA 鍵を使用して証明書を認可する場合は「キー」を選択します。</p> <p>注: EBICS Client は、暗号化されていない鍵のみをサポートします。</p>

5. 証明書タイプとして「X509」を選択した場合は、「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
認証プライベート証明書 (Authentication private certificate)	<p>必須。EBICS Client が使用する秘密鍵を選択して、銀行に送信される要求におけるユーザーのデジタル署名を作成します。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。ドロップダウンには、Sterling B2B Integrator システム証明書ストアに構成されている証明書のリストが表示されます。</p>
認証パブリック証明書 (Authentication public certificate)	<p>必須。ユーザーが銀行に提供する公開鍵を選択します。これは EBICS Client からの要求におけるユーザーの権限の検証に使用されます。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。この鍵は、認証プライベート証明書として選択された Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。</p>
認証鍵バージョン (Authentication key version)	<p>認証証明書の鍵バージョンが表示されます。有効な値は X002 です。</p>
暗号化プライベート証明書	<p>必須。EBICS Client が EBICS Banking Server から受信した応答の暗号化解除に使用する秘密鍵を選択します。ドロップダウンには、Sterling B2B Integrator システム証明書ストアに構成されている証明書のリストが表示されます。</p>
暗号化パブリック証明書	<p>必須。暗号化プライベート証明書として選択された Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分を選択します。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。</p>
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	<p>暗号化証明書の鍵バージョンが表示されます。有効な値は E002 です。</p>
電子署名にハードウェア鍵ストアを使用 (Use hardware key-store for Electronic signature)	<p>オプション。アクティブな 3S キー・トークンがある場合は、このオプションを選択します。</p>

フィールド	説明
ハードウェア鍵タイプ (Hardware key type)	3S キーがハードウェア鍵タイプとして表示されます。3SKey は、デジタル ID に使用される SWIFT セキュア・シグニチャー・キーです。3SKey トークンをアクティブにして、このキーを銀行に登録し、署名および銀行へのメッセージ送信を使用可能にする必要があります。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	オプション。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合は、電子署名 (ES) 証明書の秘密鍵を選択します。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。オーダー・データの署名の検証に使用される電子署名 (ES) 証明書の公開鍵を選択します。電子署名証明書の公開鍵値は、認証または暗号化証明書と同じにはできません。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	電子署名にハードウェア鍵ストアを使用しない場合は必須です。電子署名証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は A005 および A006 です。  電子署名にハードウェア鍵ストアを使用している場合は、鍵バージョンが A005 に設定され、変更はできません。

6. 証明書タイプとして「キー」を選択した場合は、「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
認証秘密鍵 (Authentication private key)	必須。「参照」をクリックして、ご使用のコンピューターから、認証鍵の秘密部分が含まれるファイルを選択します。
認証公開鍵 (Authentication public key)	必須。「参照」をクリックして、認証鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	必須。認証証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は X002 です。
暗号化秘密鍵 (Encryption private key)	必須。「参照」をクリックして、暗号鍵の秘密部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
暗号化公開鍵 (Encryption public key)	必須。「参照」をクリックして、暗号鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	必須。暗号化証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は E002 です。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	必須。「参照」をクリックして、使用しているコンピューターから、電子署名鍵の秘密部分が含まれるファイルを選択します。

フィールド	説明
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。「参照」をクリックして、電子署名鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	必須。電子署名証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は A005 および A006 です。

7. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、次のいずれかの操作を実行し、「次へ (Next)」 をクリックします。
  - 追加アイコンをクリックして、新規のパートナーをユーザーに関連付けます。
  - 編集するパートナーの横にある更新アイコンをクリックします。
  - 削除アイコンをクリックして、ユーザーからパートナーとの関連を解除します。
8. このステップは、新しいパートナーの追加または既存のパートナーの編集を選択した場合にのみ適用されます。銀行はオファーに基づいて、許可、オーダーのタイプ、ファイル形式のセットをユーザーに割り当てます。「関連パートナー: ユーザー設定 (Associated partner: User settings)」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「パートナーの追加 (Add partner)」 をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。「パートナー名 (Partner name)」 ドロップダウン・リストから、ユーザーが関連付けられているパートナーを選択します。ユーザーは複数のパートナーに関連付けることができます。 注: Sterling B2B Integrator ダッシュボードを使用して、取引パートナー・エンティティを作成します。
アップロード・メールボックス・パス (Upload mailbox path)	必須。アップロード・メールボックスを構成して、 Sterling B2B Integrator のメールボックスを操作するユーザーを割り当てます。アップロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 要求からアンパックされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。  メールボックス (ユーザー ID、パートナー名、受信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。 注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。

フィールド	説明
ダウンロード・メールボックス・パス (Download mailbox path)	<p>必須。ダウンロード・メールボックスを構成して、Sterling B2B Integrator のメールボックスを操作するユーザーを割り当てます。ダウンロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 応答の一部としてパッケージ化されるメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー名、送信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。</p> <p>注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

9. このステップは、特有ユーザーのユーザー委任設定の構成を選択した場合のみ適用されます。「関連パートナー (Associated Partners)」ページで、次のいずれかの操作を実行し、「次へ (Next)」をクリックします。
  - 追加アイコンをクリックして、新規のパートナーを特有ユーザーに関連付けます。
  - 編集するパートナーの横にある更新アイコンをクリックします。
  - 削除アイコンをクリックして、特有ユーザーからパートナーとの関連を解除します。
10. このステップは、特有ユーザーのユーザー委任設定を構成している場合のみ適用されます。「関連パートナー: ユーザー設定 (Associated partner: User settings)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「パートナーの追加 (Add partner)」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	<p>必須。「パートナー名 (Partner name)」ドロップダウン・リストから、ユーザーが関連付けられているパートナーを選択します。ユーザーは複数のパートナーに関連付けることができます。</p> <p>注: Sterling B2B Integrator ダッシュボードを使用して、取引パートナー・エンティティを作成します。</p>
委任者 (Delegate of)	<p>必須。タスクを特有ユーザーに委任するユーザーを選択します。</p>

11. 「関連パートナー (Associated Partners)」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
12. 「確認 (Confirm)」ページで、ユーザーの構成設定を確認し、「完了 (Finish)」をクリックします。また、「関連パートナー (Associate Partners)」

の横にある「すべてを表示」リンクをクリックすると、ユーザーに関連付けられたパートナーのリストを表示することもできます。

## ユーザー・プロフィールの検索

### このタスクについて

ユーザー・プロフィールを検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロフィール管理 (**Profile management**)」メニューから、「ユーザー」を選択します。
3. 「ユーザー構成 (User Configuration)」ページで、以下のいずれかの操作を行い、「GO」をクリックします。
  - 「検索」の「ユーザー ID」フィールドで、検索するユーザー・プロフィールのユーザー ID の一部またはユーザー ID 全体を入力します。
  - 「アルファベット順 (**Alphabetically**)」ドロップダウン・リストから、検索するユーザーの ID の先頭文字を選択します。

## ユーザー・プロフィールの編集

### このタスクについて

ユーザー・プロフィールを更新あるいは削除したり、ユーザーの要約を表示したりするには、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースに管理者としてログインする必要があります。ユーザー・プロフィールを編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロフィール管理 (**Profile management**)」メニューから、「ユーザー」を選択します。
3. 「ユーザー構成 (User Configuration)」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、編集するユーザー ID を探して選択し、「GO」をクリックします。ユーザー ID をクリックすると、ユーザー・プロフィールの設定を表示できます。
4. 編集するユーザー ID の横にある更新アイコンをクリックします。
5. 「更新: ユーザー構成 (Update: User Configuration)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
時間帯	オプション。ユーザーの時間帯を選択します。

フィールド	説明
特有ユーザー (Technical user)	オプション。特有ユーザーとは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代わりにオーダーを送信するように構成されたシステムです。このオプションは、ユーザー・タイプとして「EBICS Client ユーザー」を選択した場合に有効です。特有ユーザーを構成するには、このチェック・ボックスを選択します。
証明書タイプ	ユーザー・タイプとして EBICS Client ユーザーを選択した場合は必須です。X.509 公開鍵証明書を使用して証明書を認可する場合は、「X509 (X509)」を選択します。RSA 鍵を使用して証明書を認可する場合は「キー」を選択します。 注: EBICS Client は、暗号化されていない鍵のみをサポートします。

6. 証明書タイプとして「X509」を選択した場合は、「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
認証プライベート証明書 (Authentication private certificate)	必須。EBICS Client が使用する秘密鍵を選択して、銀行に送信される要求におけるユーザーのデジタル署名を作成します。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。ドロップダウンには、Sterling B2B Integrator システム証明書ストアに構成されている証明書のリストが表示されます。
認証パブリック証明書 (Authentication public certificate)	必須。ユーザーが銀行に提供する公開鍵を選択します。これは、EBICS Client から受信する要求におけるユーザーの権限の検証に使用されます。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。この鍵は、認証プライベート証明書として選択された Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	認証証明書の鍵バージョンが表示されます。有効な値は X002 です。
暗号化プライベート証明書	必須。EBICS Client が EBICS Banking Server から受信した応答の暗号化解除に使用する秘密鍵を選択します。ドロップダウンには、Sterling B2B Integrator システム証明書ストアに構成されている証明書のリストが表示されます。

フィールド	説明
暗号化パブリック証明書	必須。暗号化プライベート証明書として選択された Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分を選択します。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	暗号化証明書の鍵バージョンが表示されず。有効な値は E002 です。
電子署名にハードウェア鍵ストアを使用 (Use hardware key-store for Electronic signature)	オプション。銀行に登録され、アクティブな 3S キー・トークンがある場合は、このオプションを選択します。
ハードウェア鍵タイプ (Hardware key type)	3S キーがハードウェア鍵タイプとして表示されます。3SKey は、デジタル ID に使用される SWIFT セキュア・シグニチャー・キーです。3SKey トークンをアクティブにして、このキーを銀行に登録し、署名および銀行へのメッセージ送信を使用可能にする必要があります。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	オプション。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合は、電子署名 (ES) 証明書の秘密鍵を選択します。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。オーダー・データの署名の検証に使用される電子署名 (ES) 証明書の公開鍵を選択します。電子署名証明書の公開鍵値は、認証または暗号化証明書と同じにはできません。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	電子署名にハードウェア鍵ストアを使用しない場合は必須です。電子署名証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は A005 および A006 です。  電子署名にハードウェア鍵ストアを使用している場合は、鍵バージョンが A005 に設定され、変更はできません。

7. 証明書タイプとして「キー」を選択した場合は、「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
認証秘密鍵 (Authentication private key)	必須。「参照」をクリックして、ご使用のコンピューターから、認証鍵の秘密部分が含まれるファイルを選択します。
認証公開鍵 (Authentication public key)	必須。「参照」をクリックして、認証鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	必須。認証証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は X002 です。



フィールド	説明
暗号化秘密鍵 (Encryption private key)	必須。「参照」をクリックして、暗号鍵の秘密部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
暗号化公開鍵 (Encryption public key)	必須。「参照」をクリックして、暗号鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	必須。暗号化証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は E002 です。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	必須。「参照」をクリックして、使用しているコンピューターから、電子署名鍵の秘密部分が含まれるファイルを選択します。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。「参照」をクリックして、電子署名鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	必須。電子署名証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は A005 および A006 です。

8. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、次のいずれかの操作を実行し、「次へ (Next)」 をクリックします。
- 追加アイコンをクリックして、新規のパートナーをユーザーに関連付けます。
  - 編集するパートナーの横にある更新アイコンをクリックします。
  - 削除アイコンをクリックして、ユーザーからパートナーとの関連を解除します。
9. このステップは、新しいパートナーの追加または既存のパートナーの編集を選択した場合にのみ適用されます。銀行はオファーに基づいて、許可、オーダーのタイプ、ファイル形式のセットをユーザーに割り当てます。「関連パートナー: ユーザー設定 (Associated partners: User settings)」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「パートナーの追加 (Add partner)」 をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。「パートナー名 (Partner name)」 ドロップダウン・リストから、ユーザーが関連付けられているパートナーを選択します。ユーザーは複数のパートナーに関連付けることができます。 注: Sterling B2B Integrator ダッシュボードを使用して、取引パートナー・エンティティを作成します。

フィールド	説明
アップロード・メールボックス・パス (Upload mailbox path)	<p>必須。アップロード・メールボックスを構成して、Sterling B2B Integrator のメールボックスを操作するユーザーを割り当てます。アップロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 要求からアンパックされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー名、受信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。 注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>
ダウンロード・メールボックス・パス (Download mailbox path)	<p>必須。ダウンロード・メールボックスを構成して、Sterling B2B Integrator のメールボックスを操作するユーザーを割り当てます。ダウンロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 応答の一部としてパッケージ化されるメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー名、送信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。 注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

10. このステップは、特有ユーザーのユーザー委任設定の構成を選択した場合のみ適用されます。「関連パートナー (Associated Partners)」ページで、次のいずれかの操作を実行し、「次へ (Next)」をクリックします。
  - 追加アイコンをクリックして、新規のパートナーを特有ユーザーに関連付けます。
  - 編集するパートナーの横にある更新アイコンをクリックします。
  - 削除アイコンをクリックして、特有ユーザーからパートナーとの関連を解除します。
11. このステップは、特有ユーザーのユーザー委任設定を構成している場合のみ適用されます。「関連パートナー: ユーザー設定 (Associated partner: User settings)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「パートナーの追加 (Add partner)」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。「パートナー名 ( <b>Partner name</b> )」ドロップダウン・リストから、ユーザーが関連付けられているパートナーを選択します。ユーザーは複数のパートナーに関連付けることができます。 注: Sterling B2B Integrator ダッシュボードを使用して、取引パートナー・エンティティを作成します。
委任者 (Delegate of)	必須。タスクを特有ユーザーに委任するユーザーを選択します。

- 「関連パートナー (Associated Partners)」ページで、「次へ (**Next**)」をクリックします。
- 「確認 (**Confirm**)」ページで、ユーザーの構成設定を確認し、「完了 (**Finish**)」をクリックします。また、関連パートナー (**Associate Partners**)」の横にある「すべてを表示」リンクをクリックすると、ユーザーに関連付けられたパートナーのリストを表示することもできます。

## ユーザー・プロフィールの削除

### このタスクについて

ユーザー・プロフィールを更新あるいは削除したり、ユーザーの要約を表示したりするには、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースに管理者としてログインする必要があります。ユーザー・プロフィールを削除するには、以下のステップを実行します。

### 手順

- Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
- 「プロフィール管理 (**Profile management**)」メニューから、「ユーザー」を選択します。
- 「検索」または「リスト」を使用して、削除するユーザー ID を探し、「**GO**」をクリックします。
- 削除するユーザー ID の横にある削除アイコンをクリックします。

注: ユーザー・プロフィールを削除しても、既に作成済みの対応するメールボックスは削除されません。

## 銀行プロフィールの作成

銀行プロフィールを作成して、銀行の EBICS ホスト情報を提供できます。

### このタスクについて

銀行プロフィールを作成するには、以下のようになります。

### 手順

- Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。

2. 「プロフィール管理 (Profile Management)」メニューから、「銀行 (Bank)」> 「プロフィール」を選択します。
3. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、「銀行の作成 (Create Bank)」の横にある「GO」をクリックします。
4. 「銀行情報 (Bank Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID)	必須。銀行 ID、または銀行から提供されたホスト ID を入力します。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
銀行名	必須。銀行の名前を指定します。
ステータス	銀行鍵の検証前は、銀行のステータスが新規に設定されます。検証が正常完了すると、このステータスがアクティブに変更されます。ステータスは編集できません。
RSA 優先 (Is RSA preferred)	オプション。EBICS Client で電子署名、認証、および暗号化に RSA 鍵を使用する場合は、このチェック・ボックスを選択します。アップロード・キー・タイプにかかわらず、EBICS Client で電子署名、認証、および暗号化に RSA 関連値のみが使用されるようになります。
ESIG 名前空間を使用	オプション。EBICS Client で ESIG 名前空間を使用する場合、このチェック・ボックスを選択します。
KeyManagement 要求 xml にオプション要素を挿入	オプション。EBICS Client で KeyManagement 要求 xml ファイルのオプション要素を使用する場合、このチェック・ボックスを選択します。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。銀行の住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。銀行の住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。銀行が所在する市区町村名を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号	オプション。郵便番号を指定します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。銀行の E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。電話番号を指定します。国コードも入力してください。

5. 「URL の関連付け (Associate URL)」ページで、「URL の関連付け (Associate Url)」の横にある追加アイコンをクリックし、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定して、「URL の追加 (Add Url)」をクリックします。

URL 別名	必須。銀行 URL に短い名前を指定します。ブラウザのアドレス・フィールドに短い名前か別名を入力することによって、銀行の Web サイトにナビゲートできます。例えば、URL <a href="http://www.banksystem.com">http://www.banksystem.com</a> の URL 別名として <i>bs</i> を指定した場合、ブラウザのアドレス・フィールドに <i>bs</i> を入力すると Web サイトが表示されます。
デフォルトである	オプション。URL フィールドに指定された URL がデフォルト URL であることを示すには、このチェック・ボックスを選択します。オーダー送信時に「オーダー情報」ページの「銀行 URL」フィールドで URL が指定されていない場合、EBICS Client では、「銀行 URL」フィールドにデフォルト URL が取り込まれます。  銀行 URL の別名 が指定されていない場合は、特有ユーザーがオーダーを送信する際にデフォルト URL がオーダーの送信に使用されます。
銀行 URL (Bank URL)	必須。銀行がホストする HTTP URL を指定します。1 つの銀行に複数の URL を指定することができ、少なくとも 1 つは URL が必要です。Uniform Resource Locator (URL) は、ポートで listen し、EBICS 要求があればそれを受信するように、HTTP Server アダプターで構成されます。 注: 銀行 ID ごとに固有のポート番号または URL が必要です。
銀行 HTTPS 証明書 (Bank https certificate)	オプション。ドロップダウン・リストから、銀行に適切な HTTPS 証明書を選択します。HTTPS 証明書によって、銀行とのすべての取引が暗号化され、保護されることが保証されます。

追加が正常に完了すると、「URL の関連付け (Associate URL)」ページに銀行 URL の詳細が表形式で表示されます。

6. 「次へ (Next)」をクリックします。
7. 「プロトコル・バージョンの選択」ページで、「サポートされているプロトコル・バージョンを銀行から取得します」をクリックします。ドロップダウン・リストから適切なプロトコル・バージョンを選択し、「次へ」をクリックします。
8. 「確認 (Confirm)」ページで、銀行の構成設定を確認し、「完了 (Finish)」をクリックします。

## 銀行プロファイルの検索

### このタスクについて

銀行プロファイルを検索するには、以下のステップを実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (Profile management)」メニューから、「銀行 (Bank)」> 「プロファイル」を選択します。
3. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、次のいずれかの操作を行い、「GO」をクリックします。
  - 「検索」の「銀行 ID (ホスト ID) (Bank ID(HostID))」フィールドに検索する銀行プロファイルの銀行 ID の一部または銀行 ID 全体を入力します。
  - 「リスト」の「アルファベット順 (Alphabetically)」ドロップダウン・リストから、検索する銀行の ID の先頭文字を選択します。

## 銀行プロファイルの編集

銀行プロファイルを編集して、銀行の EBICS ホスト情報を改訂できます。

### このタスクについて

銀行プロファイルを編集するには、以下のステップを実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (Profile management)」メニューから、「銀行 (Bank)」> 「プロファイル」を選択します。
3. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、「検索」、または「リスト」を使用して編集する銀行 ID を探して選択し、「GO」をクリックします。
4. 編集する銀行 ID の横にある更新アイコンをクリックします。
5. 「銀行情報 (Bank Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID)	必須。銀行 ID、または銀行から提供されたホスト ID を入力します。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
銀行名	必須。銀行の名前を指定します。
ステータス	銀行鍵の検証前は、銀行のステータスが新規に設定されます。検証が正常完了すると、このステータスがアクティブに変更されます。ステータスは編集できません。
RSA 優先 (Is RSA preferred)	オプション。EBICS Client で電子署名、認証、および暗号化に RSA 鍵を使用する場合は、このチェック・ボックスを選択します。アップロード・キー・タイプにかかわらず、EBICS Client で電子署名、認証、および暗号化に RSA 関連値のみが使用されるようになります。
ESIG 名前空間を使用	オプション。EBICS Client で ESIG 名前空間を使用する場合、このチェック・ボックスを選択します。

フィールド	説明
KeyManagement 要求 xml にオプション要素を挿入	オプション。EBICS Client で KeyManagement 要求 xml ファイルのオプション要素を使用する場合、このチェック・ボックスを選択します。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。銀行の住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。銀行の住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。銀行が所在する市区町村名を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号	オプション。郵便番号を指定します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。銀行の E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。電話番号を指定します。国コードも入力してください。

6. 「URL の関連付け (Associate URL)」ページで、編集する銀行 ID の横にある更新アイコンをクリックし、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定して、「URL の追加 (Add Url)」をクリックします。

URL 別名	必須。銀行 URL に短い名前を指定します。ブラウザのアドレス・フィールドに短い名前か別名を入力することによって、銀行の Web サイトにナビゲートできます。例えば、URL <a href="http://www.banksystem.com">http://www.banksystem.com</a> の URL 別名として <i>bs</i> を指定した場合、ブラウザのアドレス・フィールドに <i>bs</i> を入力すると Web サイトが表示されます。
デフォルトである	オプション。URL フィールドに指定された URL がデフォルト URL であることを示すには、このチェック・ボックスを選択します。オーダー送信時に「オーダー情報」ページの「銀行 URL」フィールドで URL が指定されていない場合、EBICS Client では、「銀行 URL」フィールドにデフォルト URL が取り込まれます。  銀行 URL の別名 が指定されていない場合は、特有ユーザーがオーダーを送信する際にデフォルト URL がオーダーの送信に使用されます。

銀行 URL (Bank URL)	必須。銀行がホストする HTTP URL を指定します。1 つの銀行に複数の URL を指定することができ、少なくとも 1 つは URL が必要です。Uniform Resource Locator (URL) は、ポートで listen し、EBICS 要求があればそれを受信するように、HTTP Server アダプターで構成されます。 注: 銀行 ID ごとに固有のポート番号または URL が必要です。
銀行 HTTPS 証明書 (Bank https certificate)	オプション。ドロップダウン・リストから、銀行に適切な HTTPS 証明書を選択します。HTTPS 証明書によって、銀行とのすべての取引が暗号化され、保護されることが保証されます。

追加が正常に完了すると、「URL の関連付け (Associate URL)」ページに銀行 URL の詳細が表形式で表示されます。

- 「次へ (Next)」をクリックします。
- 「プロトコル・バージョンの選択」ページで「次へ」をクリックします。オフライン構成および署名者への依存関係があるため、プロトコルのバージョンは更新できません。
- 「確認 (Confirm)」ページで、銀行の構成設定を確認し、「完了 (Finish)」をクリックします。

## 銀行プロファイルの削除

### このタスクについて

銀行プロファイルを削除するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

- Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
- 「プロファイル管理 (Profile management)」メニューから、「銀行 (Bank)」> 「プロファイル」を選択します。
- 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、「検索」、または「リスト」を使用して、削除する銀行 ID (ホスト ID) を選択し、「GO」をクリックします。
- 削除する銀行 ID の横にある削除アイコンをクリックします。

## 銀行鍵の検証

### 始める前に

銀行鍵を検証する前に HPB オーダーを送信します。

### このタスクについて

銀行の ID および認証、および暗号鍵の認証性を確認するため、EBICS Client では、銀行から受信した証明書のハッシュ値を検証することができます。銀行鍵の検証が正常に完了すると、銀行のステータスが、アクティブに変更されます。銀行鍵



を検証するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「銀行 (**Bank**)」 > 「銀行鍵の検証 (**Bank key validation**)」を選択します。
3. 「銀行鍵の検証 (**Bank Key Validation**)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定します。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID) (BankID(Host ID))	必須。ドロップダウン・リストから銀行 ID を選択します。
ID および認証鍵のハッシュ値 (16 進形式)	必須。ID および認証鍵のハッシュ値は銀行から提供されます。
ハッシュ・アルゴリズム (Hash Algorithm)	必須。識別および認証鍵のハッシュ値のハッシュ・アルゴリズムを選択します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SHA1 (デフォルト)</li><li>• SHA256</li></ul>
暗号鍵ハッシュ値 (16 進形式) (Encryption key hash value(In hex format))	必須。銀行から提供される暗号鍵ハッシュ値を指定します。
ハッシュ・アルゴリズム (Hash Algorithm)	必須。暗号鍵のハッシュ値のハッシュ・アルゴリズムを選択します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SHA1 (デフォルト)</li><li>• SHA256</li></ul>

4. 既存の値をクリアし、新しい値を入力するには、「リセット (**Reset**)」をクリックします。
5. 「検証 (**Validate**)」をクリックします。

## オファ어의作成

### このタスクについて

オファーを使用すると、パートナーではオーダーのタイプとファイル形式のセットをグループ化して、まとめて処理することができます。オファーは、特定の銀行 ID と関連付ける必要があります。1 つの銀行に使用可能なオファーは 1 つに限られません。オファーを作成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「銀行 (**Bank**)」 > 「オファー構成 (**Offer configurations**)」を選択します。
3. 「オファー構成 (**Offer Configuration**)」ページで、「新規オファ어의作成 (**Create new offer**)」の横にある「GO」をクリックします。

4. 「作成: オファー (Create : Offer)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「終了」をクリックします。

フィールド	説明
オファー名 (Offer Name)	必須。オファーの名前を指定します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから銀行 ID を選択します。
ファイル形式構成へのオーダーのタイプの関連付け/関連解除 (Associate/Disassociate order type to file formats configuration)	オプション。オーダーのタイプの横にあるチェック・ボックスを選択します。選択したオーダーのタイプと対応するファイル形式がグループとしてオーダーの構成に使用されます。

## オファーの検索

### このタスクについて

オファーを検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (Profile management)」メニューから、「銀行 (Bank)」 > 「オファー構成 (Offer configurations)」を選択します。
3. 「オファー構成 (Offer Configuration)」ページで、以下のいずれかの操作を行い、「GO」をクリックします。
  - 「検索」の銀行 ID (Bank ID (HostID)) フィールドで、検索するオファーと関連付けられている銀行 ID の一部または銀行 ID 全体を入力します。
  - 「リスト」の「アルファベット順 (Alphabetically)」ドロップダウン・リストから、検索するオファー名の先頭文字を選択します。

## オファーの編集

### このタスクについて

オファーを編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (Profile management)」メニューから、「銀行 (Bank)」 > 「オファー構成 (Offer configurations)」を選択します。
3. 「オファー構成 (Offer Configuration)」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、編集するオファーを探して選択し、「GO」をクリックします。
4. 編集するオファーの横にある更新アイコンをクリックします。
5. 「更新: オファー (Update : Offer)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「終了」をクリックします。

フィールド	説明
ファイル形式構成へのオーダーのタイプの関連付け/関連解除 (Associate/Disassociate order type to file formats configuration)	オプション。オーダーのタイプの横にあるチェック・ボックスを選択します。選択したオーダーのタイプと対応するファイル形式がグループとしてオーダーの構成に使用されます。

## オファ어의削除

### このタスクについて

オファ어를削除するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「銀行 (**Bank**)」 > 「オファ어構成 (**Offer configurations**)」を選択します。
3. 「オファ어構成 (Offer Configuration)」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、削除するオファ어를探して選択し、「**GO**」をクリックします。
4. 削除するオファ어의横にある削除アイコンをクリックします。

## ファイル形式の作成

### このタスクについて

EBICS Client では、ファイル形式を追加して、銀行特有のアップロード (FUL) およびダウンロード (FDL) オーダー・タイプに関連付けることができます。1つのオーダーのタイプに複数のファイル形式を指定することもできますが、ファイル形式を指定しなくてもかまいません。FUL および FDL オーダー・タイプのファイル形式は、SWIFTNet 要求タイプをベースとします。SWIFTNet の詳細は、<http://www.swift.com/> を参照してください。ファイル形式を作成するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「ファイル形式 (**File formats**)」を選択します。
3. 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページで、「ファイル形式の作成 (**Create File Format**)」の横にある「**GO**」をクリックします。
4. 「作成: ファイル形式 (Create : File Format)」ページで、次の表に示されたフィールドの値を入力し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
ファイル形式	<p>必須。ファイル形式の名前を指定します。ファイル形式名の最初の部分は、以下のエレメントのいずれかにする必要があります。例えば、pain.xxx.vcom.dda。エレメントは取引のタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• pain.- 支払開始</li> <li>• camt.- 資金管理</li> <li>• tsrv.- 取引サービス</li> <li>• tsmt.- 取引サービス管理</li> </ul>
国/地域	<p>必須。ドロップダウン・リストから国または地域を選択します。</p>
サポートされるオーダー・タイプ (Supported order types)	<p>必須。ファイル形式がサポートされるオーダー・タイプを選択します。例えば、FUL、FDL。</p>

5. 「確認」 ページで、ファイル形式の設定を検証し、「終了」 をクリックします。

## ファイル形式の検索

### このタスクについて

ファイル形式を検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「ファイル形式 (**File formats**)」を選択します。
3. 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページで、以下のいずれかの操作を行い、「GO」をクリックします。
  - 「検索」の「ファイル形式 (**File format**)」フィールドで、検索するファイル形式名の一部、またはファイル形式名全体を入力します。
  - 「リスト」の「アルファベット順 (**Alphabetically**)」ドロップダウン・リストから、検索するファイル形式の先頭文字を選択します。
4. ファイル形式のリンクをクリックして、ファイル形式の設定を表示します。

## ファイル形式の編集

### このタスクについて

ファイル形式を編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「ファイル形式 (**File formats**)」を選択します。

- 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、編集するファイル形式を探して選択し、「GO」をクリックします。
- 編集するファイル形式の横にある更新アイコンをクリックします。
- 「更新: ファイル形式 (Update: File Format)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
国/地域	必須。ドロップダウン・リストから国または地域を選択します。
サポートされるオーダー・タイプ (Supported order types)	必須。ファイル形式がサポートされるオーダー・タイプを選択します。

- 「確認」ページで値を検証して、「終了」をクリックします。

## ファイル形式の削除

### このタスクについて

ファイル形式を削除するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

- Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
- 「プロファイル管理 (Profile management)」メニューから、「ファイル形式 (File formats)」を選択します。
- 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、削除するオファアを探して選択し、「GO」をクリックします。
- 削除するファイル形式の横にある削除アイコンをクリックします。

## ユーザー許可の構成

ユーザー許可は、特定の EBICS Client ユーザーが EBICS Client 上で処理可能なオファア、オーダーのタイプ、およびファイル形式を定義します。ユーザー許可は、銀行用に作成されるオファアから取得されます。1 件のユーザーに対して、次の権限タイプのいずれか 1 つを割り当てることができます。

- 署名者: 署名者はオーダーに署名するかオーダーを拒否します。送信者は、必要な署名の取得後に限り、オーダーを送信できます。署名者 (signer) が署名者 (signatory) であるオーダーを署名者 (signer) は送信できません。
- 送信者: 送信者は、指定された署名者がオーダーに署名した後に、オーダーを送信することができます。

表 2. 権限レベル

権限レベル (Authorization level)	許可タイプ	説明
E	署名者	単一の署名。E は最強の権限レベルです。

表 2. 権限レベル (続き)

権限レベル (Authorization level)	許可タイプ	説明
A	署名者	1 次署名
B	署名者	2 次署名
T	送信者	トランスポート署名。トランスポート署名は銀行特有オーダーの許可に使用されるのではなく、銀行のシステムへの許可された送信に使用されます。

電子署名 (ES) の値が 1 に設定されている場合、オーダーの処理には、E または A の権限レベルの単一署名で十分です。ES の値が 2 に設定されている場合、オーダーの処理には E または A と B の組み合わせが要求されます。ただし、フランスの銀行では、権限レベル T および E のみがサポートされます。鍵管理オーダーの場合は、ES 値が 0 に設定されます。

注: EBICS の仕様では、オーダーの処理で、2 つの 2 次 ES 権限レベル (つまり権限レベル B) の組み合わせは許可されません。

## ユーザー許可の作成

### このタスクについて

ユーザー許可を作成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「許可」メニューから「ユーザー許可」を選択します。
3. 「ユーザー許可の構成 (User Permission Configurations)」ページで、新規許可の作成 **Create new permission**)」の横にある「**GO**」をクリックします。
4. 「作成: 許可情報 (Create : Permission Information)」ページで、「オファー名 (**Offer name**)」ドロップダウン・リストからユーザー許可を構成するオファーの名前を選択します。オファーに関連付けられた銀行 ID が表示されます。許可を追加する追加アイコンも表示されます。
5. 追加アイコンをクリックします。「許可の追加 (Add permission)」ページが表示されます。
6. 「許可の追加 (Add permission)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「署名の追加 (Add signatories)」の横にある追加アイコンをクリックします。

フィールド	説明
オーダーのタイプとファイル形式 (Order type and File format)	必須。オファーに関連付けられたオーダー・タイプとファイル形式がデフォルトで選択されています。一部のオーダー・タイプおよびファイル形式の処理について、ユーザーに制限を適用するには、そのオーダー・タイプおよび関連付けられているファイル形式の横にあるチェック・ボックスをクリアします。
必要な署名の最小数	必須。オーダーの処理に必要な署名の数を指定します。

7. 「署名の追加 (Add signatory)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「署名の追加 (Add signatory)」をクリックします。

フィールド	説明
ユーザー ID	必須。ドロップダウン・リストから許可を割り当てるユーザーの ID を選択します。
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストから、ユーザーに関連付けられたパートナーの名前を選択します。
許可タイプ	必須。以下の許可タイプのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>署名者</li> <li>送信者</li> </ul>
権限レベル (Authorization level)	必須。許可タイプとして「送信者」を選択した場合、権限レベル T がユーザーに割り当てられます。ドロップダウン・リストからすべての権限レベルを選択する必要はありません。 <p>許可タイプとして署名者を選択した場合は、ドロップダウン・リストから以下のいずれかの権限レベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>E: 単一署名</li> <li>A: 1 次署名</li> <li>B: 2 次署名</li> </ul>

8. 「保存」をクリックして、「終了」をクリックします。

## ユーザー許可の検索

### このタスクについて

ユーザー許可を検索するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「許可」メニューから「ユーザー許可」を選択します。

3. 「ユーザー許可の構成 (User Permission Configuration)」 ページで、次の操作のいずれかを実行し、「GO」をクリックします。
  - 「検索S」の「オファー名 (Offer name)」フィールド、または「銀行 (ホスト ID) (Bank(Host ID))」フィールドで、ユーザー許可を構成するオファー名か銀行 ID の一部、または全部を入力します。
  - 「リスト」の「アルファベット順 (Alphabetically)」ドロップダウン・リストから、ユーザー許可を構成するオファー名、または銀行 ID の先頭文字を選択します。

## ユーザー許可の編集

### このタスクについて

ユーザー許可を編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「許可」メニューから「ユーザー許可」を選択します。
3. 「ユーザー許可の構成 (User Permission Configuration)」 ページで、「検索」または「リスト」を使用して、ユーザー許可を編集するオファーを探して選択し、「GO」をクリックします。
4. 編集するユーザー許可の横にある更新アイコンをクリックします。
5. 「更新: 許可情報 (Update: Permission Information)」 ページで、以下のいずれかを行います。
  - 「許可の追加 (Add permission)」の横にある追加アイコンをクリックして、ユーザー許可にファイル形式を追加します。
  - ファイル形式の横にある更新アイコンをクリックします。
  - ファイル形式の横にある削除アイコンをクリックします。
6. このステップは、許可の追加を選択した場合にのみ適用されます。「許可の追加 (Add permission)」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「署名の追加 (Add signatories)」の横にある追加アイコンをクリックします。

フィールド	説明
オーダーのタイプとファイル形式 (Order type and File format)	必須。オファーに関連付けられたオーダー・タイプとファイル形式がデフォルトで選択されています。一部のオーダー・タイプおよびファイル形式の処理について、ユーザーに制限を適用するには、そのオーダー・タイプおよび関連付けられているファイル形式の横にあるチェック・ボックスをクリアします。
必要な署名の最小数	必須。オーダーの処理に必要な署名の数を指定します。

「署名の追加 (Add signatory)」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「署名の追加 (Add signatory)」をクリックします。:



フィールド	説明
ユーザー ID	必須。ドロップダウン・リストから許可を割り当てるユーザーの ID を選択します。
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストから、ユーザーに関連付けられたパートナーの名前を選択します。
許可タイプ	必須。以下の許可タイプのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>署名者</li> <li>送信者</li> </ul>
権限レベル (Authorization level)	必須。許可タイプとして「送信者」を選択した場合、権限レベル T がユーザーに割り当てられます。ドロップダウン・リストからすべての権限レベルを選択する必要はありません。 <p>許可タイプとして署名者を選択した場合は、ドロップダウン・リストから以下のいずれかの権限レベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>E - 単一署名</li> <li>A - 1 次署名</li> <li>B - 2 次署名</li> </ul>

7. このステップは、許可の編集を選択した場合にのみ適用されます。「許可の編集 (Edit permission)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「保存」をクリックします。

フィールド	説明
必要な署名の最小数	オプション。オーダーの処理に必要な署名の数を指定します。
「署名の追加 (Add signatories)」の横にある追加アイコン	オプション。「署名の追加 (Add signatories)」の横にある追加アイコンをクリックしてユーザー許可に署名を追加します。
更新アイコン	オプション。署名の横にある更新アイコンをクリックして、署名の設定を変更します。
削除アイコン	オプション。署名の横にある削除アイコンをクリックして、署名を削除します。

8. 「終了」をクリックします。

## ユーザー許可の削除

### このタスクについて

ユーザー許可を削除するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「許可」メニューから「ユーザー許可」を選択します。

3. 「ユーザー許可の構成 (User Permission Configuration)」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、ユーザー許可を削除するオファーを探して選択し、「GO」をクリックします。
4. 削除するユーザー許可の横にある削除アイコンをクリックします。

## ユーザーの初期化

銀行は取引パートナーと契約を結びます。契約では、銀行と取引パートナーの間で合意した商取引の条件が定義されます。

銀行には、ユーザーのパブリック証明書がまだありません。ユーザーを初期化するには、ユーザーのパブリック証明書を銀行のシステムに送信する必要があります。

サブスライバーの初期化に使用されるオーダー・タイプとしては、H3K、INI、および HIA の 3 つがあります。H3K は最もシンプルで、3 つすべてのパブリック証明書を同時に送信します。ただし、H3K はすべてのケースでは使用できません。例えば、トラステッド鍵が使用されている場合やプロトコル・バージョンが H003 の場合などです。H3K を使用できない場合や使用したくない場合は、INI と HIA を一緒に使用してパブリック証明書を送信することができます。

表 3. サブスライバーの初期化のためのオーダー・タイプ

オーダー・タイプ	プロトコル	鍵/証明書
H3K	H004	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電子署名 (ES) 用の銀行特有署名鍵証明書</li> <li>• 識別および認証証明書</li> <li>• 暗号化証明書</li> </ul>
INI	H003, H004	銀行規定キー
HIA	H003, H004	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 識別および認証鍵</li> <li>• 暗号鍵</li> </ul>

### H3K

プロトコル・バージョン H004 では、オーダー・タイプ H3K を使用できます。これにより、基本的に INI と HIA が単一ステップに結合されて、手順が単純化および自動化されます。トラステッド鍵は H3K に対してサポートされていません。少なくとも ES に使用される銀行特有鍵は、認証局 (CA) が発行する証明書である必要があります。残りの 2 つの証明書 (識別および許可用の証明書と暗号化用の証明書) は、自己署名証明書にすることができます。H3K には、初期化レターは必要ありません。

CA によって発行されていない証明書またはトラステッド鍵、あるいはプロトコル・バージョン H003 を使用した初期化には、INI および HIA を使用します。

### INI および HIA

電子署名 (ES)、暗号署名、識別および認証署名のサポートされているバージョンは、銀行パラメーターに含まれます。ユーザーが適切な銀行規定キーを持っていない

い場合、または既存の銀行規定キーを新規の銀行接続に使用したくない場合は、ユーザーの銀行規定キーを新しく生成する必要があります。暗号鍵と識別および認証鍵についても同様です。

ユーザーは、次の 2 つの独立した通信パスを使用して、パブリック証明書を金融機関に送信します。

- INI - 銀行特有の公開鍵を送信
- HIA - パブリック識別および認証鍵とパブリック暗号鍵を送信

ユーザーが最初にパートナーに割り当てられたとき、ユーザーのステータスは「New (新規)」です。ユーザーが INI 要求のみを銀行に送信した場合、ステータスは「一部初期化済み (INI) (Partly Initialized (INI))」に変わります。ユーザーが HIA 要求のみを銀行に送信した場合、ステータスは「一部初期化済み (HIA) (Partly Initialized (HIA))」に変わります。ユーザーが INI 要求と HIA 要求の両方を銀行に送信すると、銀行のシステムではステータスが初期化済みに変わります。

ユーザーは、Sterling B2B Integrator EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用してキーのハッシュ値を含む INI レターと HIA レターを生成し、手動で署名して、レターを銀行に郵送します。銀行が INI と HIA の初期化レターを受け取ると、レターのハッシュ値をデータベースと照合して検証します。検証が正常に完了すると、銀行のシステムでユーザーのステータスが有効に設定され、ユーザーが銀行との取引を実行できることが示されます。その後、ユーザーは HPB システム・オーダー・タイプを使用して銀行のパブリック証明書をダウンロードし、Sterling B2B Integrator EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用してこの証明書を検証します。検証が正常に完了すると、銀行のステータスがアクティブに設定され、銀行との取引が可能になったことが示されます。

サブスクライバーは、ユーザー・ステータスが「有効」に設定された後、HKD および HTD のオーダー・タイプを使用して、銀行によって保管された情報を取り出すことができます。

---

## オーダーの送信

Sterling B2B Integrator EBICS Client ユーザーは、「ユーザー」メニューの「オーダー送信」機能を使用してオーダーを送信できます。

### このタスクについて

送信するオーダーに、そのオーダーに署名する署名者が必要な場合、署名のための保留中タスクが作成されます。オーダーに対して必要な数の署名が取得されると、そのオーダーは銀行に送信されます。「オーダー送信」ページは、オーダー設定の構成、およびオーダーの送信に利用できます。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ユーザー」メニューから、「オーダー送信 (Order submission)」を選択します。次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストからパートナー名を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから、パートナーに関連付けられた銀行 ID を選択します。
銀行 URL (Bank URL)	必須。ドロップダウン・リストから必要な銀行 URL を選択します。選択した URL は、EBICS Banking Server との HTTP または HTTPS セッションの確立に使用されます。
オーダー・タイプ・フィルター (Order type filter)	必須。ドロップダウン・リストで、以下から適切なオーダーを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 鍵管理オーダー (Key management orders)</li> <li>• 銀行特有オーダー (Bank technical orders)</li> <li>• VEU 管理オーダー (VEU management orders)</li> <li>• 他のオーダータイプ (Other order types).</li> </ul>
オーダーのタイプ	必須。ドロップダウン・リストから、必要なオーダーのタイプを選択します。  オーダーのタイプはオファーに割り当てられ、オーダーの種類を示す 3 桁の英数字コードで示されます。

オーダーのタイプは、EBICS Client ユーザーに構成されたユーザー許可に基づいて表示されます。

注: 「オーダー・タイプの構成 (Order Type Configuration)」ページに表示されるフィールドは、「オーダーのタイプ」ドロップダウンで選択したオーダーのタイプに応じて異なります。このため、適切なオーダーのタイプを選択することが重要です。例えば、オーダーのタイプとして INI を選択した場合、オーダーの構成では INI に固有のフィールドが表示されます。

3. 「鍵管理 (Key management)」オーダー・タイプを選択した場合は、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「送信」をクリックします。

フィールド	説明
オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	オプション。ドロップダウン・リストから、オーダー ID 接頭部を選択します。EBICS Client は、銀行、ユーザー ID およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このフィールドは、すべての鍵管理オーダー・タイプに適用されます。
セキュリティ・メディア (Security medium)	4 桁のセキュリティ番号がデフォルトで表示されます。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。
商品 ID	EBICS Client アプリケーションの商品 ID を入力します。
ユーザー・インターフェースの言語	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定を入力します。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と入力します。

フィールド	説明
認証プライベート証明書 (Authentication private certificate)	必須。ドロップダウン・リストから、適切な認証プライベート証明書を選択します。
認証パブリック証明書 (Authentication public certificate)	必須。ドロップダウン・リストから、適切な認証パブリック証明書を選択します。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	認証証明書の鍵バージョンが表示されます。有効な値は X002 です。
暗号化プライベート証明書	必須。ドロップダウン・リストから、適切な暗号化プライベート証明書を選択します。
暗号化パブリック証明書	必須。ドロップダウン・リストから、適切な暗号化パブリック証明書を選択します。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	暗号化証明書の鍵バージョンが表示されます。有効な値は E002 です。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	必須。ドロップダウン・リストから、適切な電子署名秘密鍵を選択します。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。ドロップダウン・リストから、適切な電子署名公開鍵を選択します。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	必須。ドロップダウン・リストから、適切な電子署名鍵バージョンを選択します。

4. 銀行特有オーダー・タイプ・フィルターを選択した場合は、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「送信」をクリックします。

オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	オプション。ドロップダウン・リストから、オーダー ID 接頭部を選択します。EBICS Client は、銀行、ユーザー ID およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。
セキュリティ・メディア (Security medium)	必須。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号を入力します。
商品 ID	EBICS Client アプリケーションの商品 ID を入力します。
ユーザー・インターフェースの言語	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定を入力します。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と入力します。

自動送信 (Autosubmit)	<p>オプション。このチェック・ボックスは FUL オーダー・タイプにのみ適用可能で、デフォルトで選択されています。</p> <p>自動送信オプションが選択されていると、必要な数の署名が収集された後にオーダーが自動的に送信されます。</p> <p>自動送信オプションが選択されていない場合、EBICS Client ユーザーは EBICS Client ダッシュボード・インターフェースにログインして、保留中タスクの画面にナビゲートし、必要な数の署名の取得後にオーダーを送信する必要があります。</p>
メールボックスのファイルを読み取る (Read file from mailbox)	<p>必須。このオプションは FUL オーダー・タイプにのみ適用可能です。</p> <p>メールボックスからペイロード・ファイルをアップロードするには、「はい」を選択します。「ファイルのアップロード」の横にある「ファイルの選択 (Select file)」をクリックします。「メールボックスにアップロードするファイルの選択 (Select file to upload to mailbox)」リストから、必要なファイルを選択し、「終了」をクリックします。</p> <p>特定のファイルの場所からペイロード・ファイルをアップロードするには、「いいえ」を選択します。「ファイルのアップロード」の横にある「参照」をクリックして、そのファイルの場所にナビゲートして必要なファイルを選択します。</p>
ファイル形式	<p>オーダー・タイプが FUL あるいは FDL の場合のみ必須。ドロップダウン・リストから、適切なファイル形式を選択します。</p>
開始日	<p>オプション。フィールドをクリックして、カレンダーから開始日を選択します。このオプションは、FDL オーダー・タイプにのみ適用されます。</p>
終了日	<p>オプション。フィールドをクリックして、カレンダーから終了日を選択します。このオプションは、FDL オーダー・タイプにのみ適用されます。</p>
オーダー・パラメーター・リスト	<p>オプション。「パラメーターの追加」をクリックし、オーダーの変数を定義します。以下のオーダー・パラメーター・フィールドに関する情報を入力し、「パラメーターの追加」をクリックします。このオプションは、FDL オーダー・タイプにのみ適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名前: 必須。パラメーターの固有名を入力します。パラメーター名には、スペースや特殊文字を使用しないでください。</li> <li>• 値: 必須。パラメーターの値を入力します。</li> <li>• タイプ: オプション。パラメーター・タイプを選択します。使用可能な選択項目は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- スtring</li> <li>- 数値</li> <li>- ブール値</li> </ul> </li> </ul>

5. VEU 管理オーダー・タイプ・フィルターを選択した場合は、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「送信」をクリックします。

オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	オプション。ドロップダウン・リストから、オーダー ID 接頭部を選択します。EBICS Client は、銀行、ユーザー ID およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3、および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。
セキュリティー・メディア (Security medium)	必須。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。
商品 ID	EBICS Client アプリケーションの商品 ID を入力します。
ユーザー・インターフェースの言語	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定を入力します。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と入力します。
VEU オーダー・タイプ (VEU order types)	必須。「VEU オーダー・タイプ (VEU order types)」リストから適切な VEU オーダー・タイプを選択します。
オーダー ID	必須。HVE または HVS オーダー・タイプが送信されるオーダーの ID を指定します。
パートナー ID	必須。HVE または HVS オーダー・タイプが送信されるオーダーを送信したユーザーに関連付けられるパートナーの ID を指定します。
オーダーのタイプ	必須。HVE または HVS オーダー・タイプが送信されるオーダーのオーダー・タイプを選択します。
MessageDigest	オプション。オーダー・データのハッシュ値を送信するための MessageDigest を選択します。 注: ハッシュ値は、銀行に電話またはメールで要求できます。銀行は、代替通信モードで、オーダー・データのハッシュ値を送信します。例えば、電子メールなどです。
PayloadMsgID	オプション。メールボックスから完全なペイロードを送信するための PayloadMsgID を選択します。以下の操作を実行します。 1. 「選択」をクリックします。 2. リストから必要なペイロードを選択します。 3. 「終了」をクリックします。 注: ペイロードは、銀行に電話またはメールで要求できます。銀行は、EBICS Client メールボックスにペイロードを送信します。

6. 「他のオーダー・タイプ (Other order types)」オーダー・タイプ・フィルターを選択した場合は、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「送信」をクリックします。

オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	オプション。ドロップダウン・リストから、オーダー ID 接頭部を選択します。EBICS Client は、銀行、ユーザー ID およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。
-------------------------------	---

セキュリティー・メディア (Security medium)	必須。 0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。
商品 ID	EBICS Client アプリケーションの商品 ID を入力します。
ユーザー・インターフェースの言語	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定を入力します。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と入力します。

## 特有ユーザーとしてオーダーを送信

特有ユーザーとは、バックエンド・ファイル・システムを使用して、非特有 (ヒューマン・ユーザー) の EBICS Client ユーザーの代理としてオーダーを送信するように構成されたマシンです。特有ユーザーは、非特有ユーザーに関連付けられません。

特有ユーザーを使用してオーダーを送信するには、以下を構成する必要があります。

- 特有サブスクリバードとしてユーザーを構成する。
- ファイル・システム・アダプターまたは同様の特有アダプターを構成する。

このシナリオでは、Sterling B2B Integrator で構成されているファイル・システム・アダプターの使用を示します。

特有ユーザーは、ファイル・システム・アダプター構成時に指定されたコレクション・フォルダーに、XML ファイル `ordermetadata.xml` とペイロード・データ (オプション) を含む圧縮ファイルを配置することで、オーダーを送信します。

以下の図は、特有ユーザーがオーダーを送信する場合のプロセス・フローを表しています。バックエンド・プロセスにより、`ordermetadata.xml` が生成され、ペイロード・メタデータが圧縮フォーマットでパッケージ化され、ディレクトリーに配置されます。これにより、ファイル・システム・アダプターなどの特有アダプターは、データの処理のために、ファイルを取得し、それを EBICS Client に送信できます。EBICS Client ランタイム・コンポーネントには、ユーザー・メールボックス、OrderPreProcessor、EBICS Client メールボックス、および EBICS ランタイムが含まれます。OrderPreProcessor は、圧縮ファイルの内容を解凍し、XML メタデータを EBICS Client メールボックスに転送します。その後、このメタデータは、処理のために EBICS ランタイム・コンポーネントに送信されます。

OrderPreProcessor コンポーネントは、EBICS Client ユーザーのメールボックスにペイロード・データを送信します。XML で指定されている値に基づき、EBICS Client はオーダー要求を銀行サーバーに送信します。



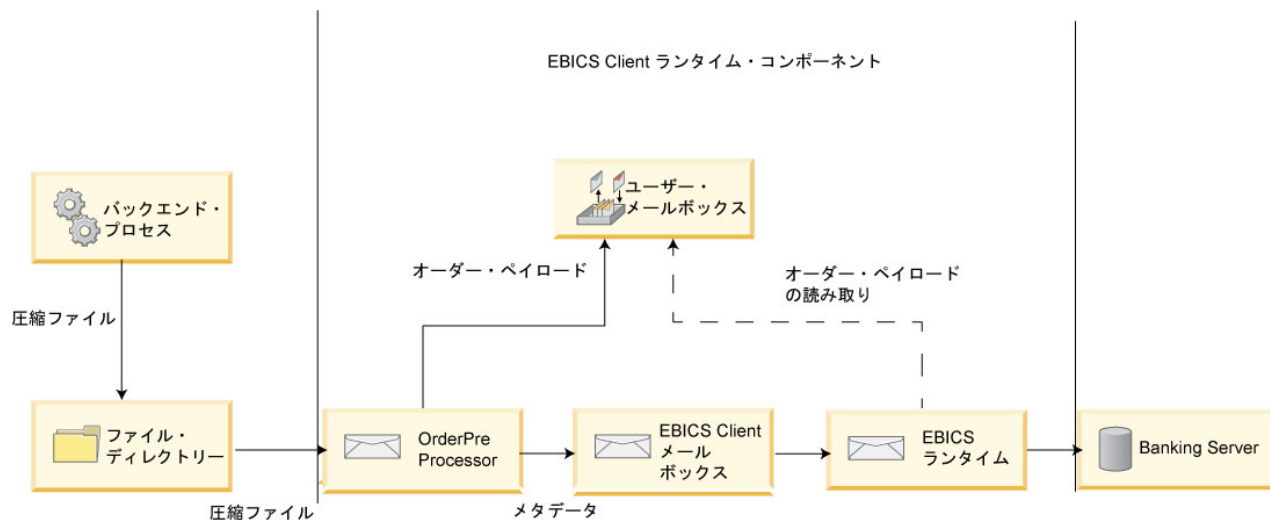


図 1. 特有ユーザーによるオーダー送信のプロセス・フロー

オーダー・タイプが FUL の場合、ordermetadata.xml には以下の詳細が含まれます。

**HostID**

トランザクションに関する銀行の詳細

**UserID**

FUL オーダーを送信する非特有ユーザー

**SystemID**

非特有ユーザーの代行である特有ユーザー

**PartnerID**

ユーザーに関連するパートナーの詳細

**OrderType**

オーダー・タイプおよびファイル・フォーマットの詳細

カスタム属性

Sterling B2B Integrator V5.2.6.1\_2 以降では、ユーザーは EBICS オーダーを送信する前にカスタム属性を追加することができます。これらの属性は ordermetadata.xml ファイルに保存され、その後、オーダーの UI に表示されます。カスタム属性を定義するには、ordermetadata.xml ファイルで <ebicsUserAttribute> タグを使用します。

以下の例は、特有ユーザーとして FUL オーダーを送信する場合の XML のフォーマットの詳細を示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi='http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance'
xsi:nonNamespaceSchemaLocation='new_omd.xsd'>
<HostID>TESTBNKPK12</HostID>
<PartnerID>PARTNERPK12</PartnerID>
<UserID>USERPK12</UserID>
<SystemID>TECHUSER</SystemID>
<orderIdPrefix>D</orderIdPrefix>
<SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
<OrderType>FUL</OrderType>
<FileFormat>pain.001.001.02.ict</FileFormat>
```

```
<autoSubmit>TRUE</autoSubmit>
<ebicsUserAttribute value="123456" name="totalamount"/>
<ebicsUserAttribute value="AAA" name="accountid"/>
</orderMetaData>
```

オーダー・タイプが INI または HIA の場合、ordermetadata.xml ファイル内のシステム ID とユーザー ID は同じ値です。

以下の例は、特有ユーザーとして INI オーダーを送信する場合の XML のフォーマットを示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi='http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance'
xsi:nonNamespaceSchemaLocation='new_omd.xsd'>
<HostID>TESTBNKPK12</HostID>
<PartnerID>PARTNERPK12</PartnerID>
<UserID>TECHUSER</UserID>
<SystemID>TECHUSER</SystemID>
<orderIdPrefix>W</orderIdPrefix>
<SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
<OrderType>INI</OrderType>
</orderMetaData>
```

ペイロードのファイル名に非 ASCII 文字が含まれる場合は、圧縮ファイルの作成に、Sterling B2B Integrator とともにインストールされる Java Development Kit (JDK) に含まれる jar ユーティリティを使用してください。jar ユーティリティは、Windows のコマンド・プロンプトから、または UNIX の端末から以下のパラメーターを指定して実行する必要があります。jar cFM <zip\_ファイル名> ordermetadata.xml <payload\_非 ASCII 文字のファイル名>。

注: JDK に Java ホームを設定しておく必要があります。

ペイロードのファイル名が ASCII 文字のみの場合は、この jar ユーティリティまたは WinZip や WinRAR などのアプリケーションを使用して圧縮ファイルを作成できます。

## 特有ユーザーの構成

### このタスクについて

特有ユーザーを構成して特有ユーザーと非特有ユーザーを関連付けるためには、その前に非特有ユーザーを構成する必要があります。非特有ユーザーを構成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「プロファイル管理 (**Profile management**)」メニューから、「ユーザー」を選択します。
3. 「ユーザー構成 (User Configuration)」 ページで、「既存ユーザーを **EBICS** ユーザーとして構成 (**Configure existing user as EBICS user**)」の横にある「**GO**」をクリックします。
4. 「ユーザー構成 (User Configuration)」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
ユーザー ID	必須。銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。「ユーザー ID」ドロップダウン・リストから、ユーザー ID を選択します。
ユーザー・タイプ	必須。「ユーザー・タイプ」ドロップダウン・リストから、ユーザーの役割として「EBICS Client ユーザー」を選択します。
時間帯	オプション。ユーザーの時間帯を指定します。
特有ユーザー (Technical user)	特有ユーザーを構成するには、このチェック・ボックスを選択します。特有ユーザーとは、オーダーを送信するように構成されたファイル・システムです。
証明書タイプ	ユーザー・タイプとして EBICS Client ユーザーを選択した場合は必須です。X.509 公開鍵証明書を使用して証明書を認可する場合は、「X509 (X509)」を選択します。RSA 鍵を使用して証明書を認可する場合は「キー」を選択します。 注: EBICS Client は、暗号化されていない鍵のみをサポートします。

5. 証明書タイプとして「X509」を選択した場合は、「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
認証プライベート証明書 (Authentication private certificate)	必須。EBICS Client が使用する秘密鍵を選択して、銀行に送信される要求におけるユーザーのデジタル署名を作成します。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。ドロップダウンには、Sterling B2B Integrator システム証明書ストアに構成されている証明書のリストが表示されます。
認証パブリック証明書 (Authentication public certificate)	必須。ユーザーが銀行に提供する公開鍵を選択します。これは EBICS Client からの要求におけるユーザーの権限の検証に使用されます。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。この鍵は、認証プライベート証明書として選択された Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	認証証明書の鍵バージョンが表示されます。有効な値は X002 です。

フィールド	説明
暗号化プライベート証明書	必須。EBICS Client が EBICS Banking Server から受信した応答の暗号化解除に使用する秘密鍵を選択します。ドロップダウンには、Sterling B2B Integrator システム証明書ストアに構成されている証明書のリストが表示されます。
暗号化パブリック証明書	必須。暗号化プライベート証明書として選択された Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分を選択します。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	暗号化証明書の鍵バージョンが表示されず。有効な値は E002 です。
電子署名にハードウェア鍵ストアを使用 (Use hardware key-store for Electronic signature)	オプション。アクティブな 3S キー・トークンがある場合は、このオプションを選択します。
ハードウェア鍵タイプ (Hardware key type)	3S キーがハードウェア鍵タイプとして表示されます。3SKey は、デジタル ID に使用される SWIFT セキュア・シグニチャー・キーです。3SKey トークンをアクティブにして、このキーを銀行に登録し、署名および銀行へのメッセージ送信を使用可能にする必要があります。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	オプション。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合は、電子署名 (ES) 証明書の秘密鍵を選択します。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。オーダー・データの署名の検証に使用される電子署名 (ES) 証明書の公開鍵を選択します。電子署名証明書の公開鍵値は、認証または暗号化証明書と同じにはできません。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	電子署名にハードウェア鍵ストアを使用しない場合は必須です。電子署名証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は A005 および A006 です。  電子署名にハードウェア鍵ストアを使用している場合は、鍵バージョンが A005 に設定され、変更はできません。

6. 証明書タイプとして「キー」を選択した場合は、「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
認証秘密鍵 (Authentication private key)	必須。「参照」をクリックして、ご使用のコンピューターから、認証鍵の秘密部分が含まれるファイルを選択します。

フィールド	説明
認証公開鍵 (Authentication public key)	必須。「参照」をクリックして、認証鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	必須。認証証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は X002 です。
暗号化秘密鍵 (Encryption private key)	必須。「参照」をクリックして、暗号鍵の秘密部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
暗号化公開鍵 (Encryption public key)	必須。「参照」をクリックして、暗号鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	必須。暗号化証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は E002 です。
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	必須。「参照」をクリックして、使用しているコンピューターから、電子署名鍵の秘密部分が含まれるファイルを選択します。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	必須。「参照」をクリックして、電子署名鍵の公開部分が含まれるファイルを使用コンピューターから選択します。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	必須。電子署名証明書の鍵バージョンを選択します。有効な値は A005 および A006 です。

7. このステップは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーに対して、新しいパートナーの追加または既存のパートナーの編集を選択した場合にのみ適用されます。「関連するパートナー: ユーザー設定」ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「パートナーの追加」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。「パートナー名 ( <b>Partner name</b> )」ドロップダウン・リストから、ユーザーが関連付けられているパートナーを選択します。ユーザーは複数のパートナーに関連付けることができます。 注: Sterling B2B Integrator ダッシュボードを使用して、取引パートナー・エンティティを作成します。

フィールド	説明
アップロード・メールボックス・パス (Upload mailbox path)	<p>必須。アップロード・メールボックスを構成して、Sterling B2B Integrator のメールボックスを操作するユーザーを割り当てます。アップロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 要求からアンパックされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー名、受信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。</p> <p>注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>
ダウンロード・メールボックス・パス (Download mailbox path)	<p>必須。ダウンロード・メールボックスを構成して、Sterling B2B Integrator のメールボックスを操作するユーザーを割り当てます。ダウンロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 応答の一部としてパッケージ化されるメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー名、送信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。</p> <p>注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

8. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、次のいずれかの操作を実行し、「次へ (Next)」 をクリックします。
  - 追加アイコンをクリックして、新規のパートナーを特有ユーザーに関連付けます。
  - 編集するパートナーの横にある更新アイコンをクリックします。
  - 削除アイコンをクリックして、特有ユーザーからパートナーとの関連を解除します。
9. 非特有ユーザーは、トランザクションを実行するための特有ユーザーを代行として指定します。「関連するパートナー: ユーザー設定」 ページで、次の表の説明に従ってフィールドの値を指定し、「パートナーの追加」 をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。「パートナー名 ( <b>Partner name</b> )」ドロップダウン・リストから、ユーザーが関連付けられているパートナーを選択します。ユーザーは複数のパートナーに関連付けることができます。特有ユーザーと非特有ユーザーは同じパートナーに属している必要があります。特有ユーザーは、関連付けられた非特有ユーザーのすべての許可を継承します。 注: Sterling B2B Integrator ダッシュボードを使用して、取引パートナー・エンティティを作成します。
委任者 (Delegate of)	必須。タスクを特有ユーザーに委任するユーザーを選択します。

10. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、「次へ (**Next**)」をクリックします。
11. 「確認 (**Confirm**)」 ページで、ユーザーの構成設定を確認し、「完了 (**Finish**)」をクリックします。「パートナーの関連付け」の横の「すべてを表示」リンクをクリックして、以下の詳細を表示することもできます。
  - ユーザーに関連するパートナーのリスト。
  - 非特有ユーザーのアップロードまたはダウンロードそれぞれのメールボックス・パスなど、対応する構成詳細。
  - 非特有ユーザーの代行である特有ユーザー。

---

## ビューアー

次のトピックでは、イベント (トランザクション) の表示および検索、オーダーの検索、保留中のタスクの完了の実行方法について説明します。

注: EBICS Client アプリケーションでは、イベントおよびオーダーのトランザクション時間は、GMT で保管されます。例えば、EBICS Client ユーザーが中央ヨーロッパ標準時間 (GMT+1) のタイム・ゾーンで構成されており、オーダーが 2011 年 2 月 3 日 午前 9:00 (GMT) に送信された場合、そのオーダーを検索するには、「オーダー検索」画面で開始日時として 2011 年 2 月 3 日 午前 10:00 を指定します。

### イベントの検索

ユーザーは、イベント・ビューアーで簡単な検索オプションおよび拡張検索オプションを使用して、イベントまたはトランザクションを検索し、イベント要約詳細を取得できます。

#### このタスクについて

シンプル検索、または複数のパラメーターを使用して検索を絞り込む拡張検索を実行できます。検索の要件に応じて、以下を実行できます。

- ライブ・テーブルと履歴 (アーカイブ済み) テーブルのいずれかでイベント・レコードを検索するかの指定

- 日付範囲と時刻範囲の選択
- 検索結果を絞り込む追加パラメーターの指定

以下の手順は、検索基準に適合するイベント・レコードの検索、およびイベントの要約の取得に役立ちます。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ビューアー」メニューから、「イベント・ビューアー」を選択します。
3. 次の表のイベントの検索に関する情報を入力します。

フィールド	説明
検索場所 (Search location)	<p>必須。適切な検索場所を選択します。オプションは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ライブ・テーブル (Live tables):</b> このオプションはデフォルトで選択されています。このオプションを選択すると、ライブ・テーブル (現行) データベースでイベントが検索されます。</li> <li>• <b>復元テーブル (Restore tables):</b> このオプションを選択すると、復元データベースでイベントが検索されます。</li> </ul>
開始日	<p>必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいて現在日付がデフォルトで入力されています。「開始日」フィールドをクリックすると、カレンダーが表示され、そのカレンダーから開始日を選択します。</p>
終了日	<p>必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいて現在日付がデフォルトで入力されています。「終了日」フィールドをクリックすると、カレンダーが表示され、そのカレンダーから終了日を選択します。</p>
イベント・タイプ	<p>オプション。ドロップダウン・リストから、適切なイベント・タイプを選択します。選択可能なイベント・タイプは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべて (デフォルト)</li> <li>• 情報</li> <li>• 警告</li> <li>• エラー</li> <li>• クリティカル</li> </ul>
ユーザー ID	<p>オプション。ドロップダウン・リストから、検索するイベントに関連するオーダーを開始した EBICS Client ユーザーのユーザー ID を選択します。EBICS Client ユーザーの役割および許可を持つユーザーは、このオプションを使用できません。</p>
開始時刻	<p>必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいてデフォルトのシステム時刻が表示されます。「開始時刻」フィールドをクリックして開始時刻を選択します。</p>
終了時刻	<p>必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいてデフォルトのシステム時刻が表示されます。「終了時刻」フィールドをクリックして、終了時刻を選択します。</p>



フィールド	説明
ソート順	<p>オプション。以下のオプションを基準にして検索結果をソートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日時 (デフォルト)</li> <li>• イベント・タイプ</li> <li>• イベント・コード (Event code)</li> <li>• オーダーのタイプ</li> <li>• オーダー ID</li> </ul> <p>また、検索結果は昇順または降順でソートすることもできます。ドロップダウン・リストから、「昇順 (ASC)」または「降順 (DESC)」オプションを選択します。「降順 (DESC)」がデフォルトのオプションです。</p>
最新表示速度	<p>オプション。上矢印または下矢印を使用して、検索結果の最新表示頻度を指定します。</p>
最新表示アイコン	<p>オプション。デフォルトでは、検索結果の最新表示が使用不可 (OFF) になっています。最新表示アイコンをクリックすると、検索結果の最新表示が使用可能化 (ON) されます。</p>

4. 「検索」をクリックします。イベントの要約が以下のように表形式で表示されず。

フィールド	説明
イベント・コード (Event Code)	<p>イベント・コードのリンクをクリックすると、イベントの詳細が表示されます。</p>
イベント・タイプ	<p>生成されたイベントのタイプが表示されます。選択可能なイベント・タイプは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すべて</li> <li>• 情報</li> <li>• 警告</li> <li>• エラー</li> <li>• クリティカル</li> </ul>
イベント名	<p>イベント名が表示されます。</p>
タイム・スタンプ	<p>イベントが生成された日時が表示されます。</p>
オーダーのタイプ	<p>イベントが生成されたオーダーのタイプが表示されます。</p>
オーダー・シーケンス ID	<p>イベントが生成されたオーダーのオーダー・シーケンス ID が表示されます。オーダー・シーケンス ID のリンクをクリックすると、オーダーの詳細が表示されます。</p> <p>注: 「オーダー詳細」ページでは、EBICS Client 管理者と EBICS Client オペレーターはオーダー・ドキュメント・リンクを表示できません。ドキュメント・リンクは EBICS Client ユーザーのみに表示されます。</p>

フィールド	説明
オーダー ID	イベントが生成されたオーダーのオーダー ID が表示されます。オーダー ID のリンクをクリックすると、オーダーの詳細が表示されます。 注: 「オーダー詳細」ページでは、EBICS Client 管理者と EBICS Client オペレーターはオーダー・ドキュメント・リンクを表示できません。ドキュメント・リンクは EBICS Client ユーザーのみに表示されます。
ユーザー ID	EBICS Client 管理者がイベント検索を開始すると、オーダーの送信、オーダー構成の変更など、イベントのトリガーの責任者である EBICS Client ユーザーのユーザー ID が表示されます。EBICS Client ユーザーがイベント検索を開始すると、検索を開始したユーザーのユーザー ID が表示されます。

5. イベント検索のパラメーターをクリアするには、「リセット」をクリックします。検索パラメーターをリセットしても、前の検索結果はクリアされません。

## オーダーの検索

Sterling B2B Integrator EBICS Client では、シンプル検索オプションまたは拡張検索オプションを使用してオーダー検索し、オーダー要約を取得できます。

### このタスクについて

シンプル検索、または複数のパラメーターを使用して検索を絞り込む拡張検索を実行できます。検索の要件に応じて、以下を実行できます。

- ライブ・テーブルとリストア (アーカイブ済み) テーブルのどちらでオーダー・レコードを検索するかの指定
- 日付範囲と時刻範囲の選択
- 検索結果を絞り込む追加パラメーターの指定

オーダー・レコードを検索し、検索条件を満たすオーダー要約を取得するには、以下を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ビューアー」メニューから、「オーダー検索 (Order search)」を選択します。
3. 次の表に従って、検索条件を入力します。

表 4. オーダーの検索

フィールド	説明
検索場所 (Search location)	必須。適切な検索場所を選択します。オプションは、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ライブ・テーブル (<b>Live tables</b>): このオプションはデフォルトで選択されています。このオプションを選択すると、ライブ・テーブル (現行) データベースでオーダーが検索されます。</li> <li>• 復元テーブル (<b>Restore tables</b>): このオプションを選択すると、復元データベースでオーダーが検索されます。</li> </ul>

表 4. オーダーの検索 (続き)

フィールド	説明
開始日	必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいて現在日付がデフォルトで入力されています。「開始日」フィールドをクリックすると、カレンダーが表示され、そのカレンダーから開始日を選択します。
終了日	必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいて現在日付がデフォルトで入力されています。「終了日」フィールドをクリックすると、カレンダーが表示され、そのカレンダーから終了日を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	オプション。必要な銀行 ID を選択します。
オーダー ID	オプション。「オーダー ID」フィールドにオーダー ID を入力します。
オーダーのタイプ	オプション。「オーダーのタイプ」ドロップダウン・リストから適切なオーダー・タイプを選択します。
ステータス	オプション。適切なオーダー・ステータスを「ステータス」ドロップダウン・リストから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>すべて (デフォルト)</li> <li>すべて完了</li> <li>すべて未完了</li> <li>「成功 (Success)」</li> <li>失敗</li> <li>進行中</li> <li>クライアント側で保留中 (Pending at Client)</li> <li>サーバー側で保留中 (Pending at Server)</li> </ul>
ユーザー ID	オプション。検索するオーダーを開始した EBICS Client ユーザーのユーザー ID をドロップダウン・リストから選択します。EBICS Client ユーザーは、このオプションを使用できません。
許可タイプ	オプション。適切な許可タイプを選択します。オプションは、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>送信者: このオプションはデフォルトで選択されています。オーダーの送信者を基準にしてオーダーの検索が実行されます。</li> <li>署名者 (Signer): オーダーの署名者を基準にしてオーダーを検索するには、このオプションを選択します。オーダー ID のリンクをクリックすると、オーダーの詳細が表示されます。署名者を基準にオーダーを検索した場合は、「オーダー・イベント (Order events)」、「アクティビティ」、および「保留中の署名 (Pending signatures)」の各タブは表示されません。</li> </ul>
開始時刻	必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいてデフォルトのシステム時刻が表示されます。「開始時刻」フィールドをクリックして開始時刻を選択します。
終了時刻	必須。このフィールドには、ユーザーの構成時に指定された時間帯に基づいてデフォルトのシステム時刻が表示されます。「終了時刻」フィールドをクリックして、終了時刻を選択します。
パートナー名 (Partner name)	オプション。必要なパートナー名を選択します。

表 4. オーダーの検索 (続き)

フィールド	説明
オーダー・シーケンス ID	オプション。「オーダー・シーケンス ID」フィールドにオーダー・シーケンス ID を入力します。
ファイル形式	オプション。ファイル形式 ( <b>File format</b> ) ドロップダウン・リストから適切なファイル形式を選択します。
FUL Ack ステータス	オプション。「FUL Ack ステータス」フィールドに FUL 確認応答ステータスを入力します。
ソート順	<p>オプション。以下のオプションのいずれかを基準にして、検索結果をソートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時 (デフォルト)</li> <li>最終アクティビティの日時</li> <li>オーダー ID</li> <li>オーダーのタイプ</li> <li>パートナー名 (Partner name)</li> <li>銀行 ID (ホスト ID)</li> <li>ユーザー ID</li> </ul> <p>また、検索結果は昇順または降順でソートすることもできます。ドロップダウン・リストから、「昇順 (<b>ASC</b>)」または「降順 (<b>DSC</b>)」オプションを選択します。「降順 (DSC)」がデフォルトのオプションです。</p>
最新表示速度	オプション。上矢印または下矢印を使用して、検索結果の最新表示頻度を指定します。
最新表示アイコン	オプション。デフォルトでは、検索結果の最新表示が使用不可 (OFF) になっています。最新表示アイコンをクリックすると、検索結果の最新表示が使用可能化 (ON) されます。

4. 「検索」をクリックします。オーダー要約に以下の情報が表形式で表示されます。

表 5. オーダー情報のフィールド

フィールド	説明
<p>オーダー・シーケンス ID</p> <p>オーダー ID</p>	<p>「オーダー ID」または「オーダー・シーケンス ID」のリンクをクリックすると、オーダー詳細が表示されます。「オーダー要約」の詳細ページは、「オーダー・データ (Order data)」と「オーダー詳細」の 2 セクションに分かれています。「オーダー・データ (Order data)」セクションには、選択したオーダーに関する以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オーダー・シーケンス ID</li> <li>• オーダーのタイプ</li> <li>• ファイル形式</li> <li>• 署名数 (オーダーの送信に必要な署名)</li> <li>• 開始日時</li> <li>• 最終アクティビティの日時</li> <li>• オーダー ID</li> <li>• パートナー名 (Partner name)</li> <li>• ユーザー ID</li> <li>• 銀行 ID (ホスト ID)</li> <li>• オーダーのステータス</li> <li>• 完了日時</li> <li>• ワークフロー ID</li> <li>• ドキュメント (オーダー・ペイロード)。オーダー・ドキュメント・リンクは、EBICS Client ユーザーのみに表示されます。リンクをクリックすると、ペイロード (特有オーダーのアップロードおよびダウンロードの場合)、またはオーダー要求 XML (他のオーダー・タイプの場合) が表示されます。</li> </ul> <p>「オーダー詳細」セクションには以下の 3 つのタブがあります。</p> <p>オーダー・イベント データの圧縮、データのエンコード、EBICS パッケージ化の成功など、オーダーに関係するイベントについての情報が表示されます。</p> <p>アクティビティ クライアントでの署名の保留、送信者による送信アクションなど、オーダーに関係するアクティビティについての情報が表示されます。アクティビティは以下のいずれかのステータスになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 進行中</li> <li>• 完了</li> <li>• 失敗</li> </ul> <p>INI、HIA、および HPB オーダー・タイプにはアクティビティが生成されません。</p> <p>保留中のタスク 選択したオーダーで署名が保留になっているユーザーがリストされます。</p> <p><b>HAC 状態</b> すべての送信済みオーダーの処理ステータスおよび詳細が表示されます。</p>
ユーザー ID	オーダーを送信した EBICS Client ユーザーのユーザー ID。
パートナー名 (Partner name)	ユーザーに関連付けられたパートナーの名前が表示されます。
銀行 ID (ホスト ID)	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行システムにおける銀行の固有 ID です。

表 5. オーダー情報のフィールド (続き)

フィールド	説明
オーダーのタイプ	オーダー・タイプが表示されます。
ステータス	オーダーのステータスが表示されます。例: 成功、失敗、進行中、クライアント側で保留。
FUL Ack ステータス	オーダーの FUL 確認応答ステータスが表示されます。
HAC アクション	HAC アクションが表示されます。 詳細については、135 ページの『HAC 処理』を参照してください。
HAC 理由	HAC 理由コードが表示されます。 詳細については、135 ページの『HAC 処理』を参照してください。
開始日時	開始日時が表示されます。
完了日時	完了日時が表示されます。

5. オーダー検索パラメーターをクリアするには、「リセット」をクリックします。検索パラメーターをリセットしても、前の検索結果はクリアされません。

## 保留中タスク

オファーに定義されている構成設定によっては、オーダー・データを処理するために、複数の署名者がオーダーに署名する必要がある場合があります。必要な署名を取得せずにオーダーを処理のために送信した場合、EBICS Client ではそのオーダーは処理されません。関係する署名者のメールボックスに保留中の署名についての通知が送信され、オーダーに署名するよう求められます。オーダーが保留中で、署名が必要な場合、署名者であるユーザーには「署名」リンクが表示されます。必要なすべての署名が取得され、オーダーを送信する準備ができると、送信者であるユーザーには「送信」リンクが表示されます。

「保留中タスク (Pending Tasks)」ページは、Sterling B2B Integrator EBICS Client ユーザーの・ランディング・ページです。このページは、保留中のオーダーの表示、および署名または送信に使用します。保留中のオーダーの署名または送信を行うには、以下のステップを実行します。

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ビューアー」メニュー から、「保留中タスク (Pending tasks)」を選択します。保留中タスクが表形式で表示されます。

列名	説明
オーダー ID	オーダー ID を表示します。オーダーの要約を表示してオーダーに署名するには、オーダー ID をクリックします。ペイロードを表示するには、オーダー詳細ページのオーダー・ドキュメント・リンクをクリックします。
実行依頼者 ID	実行依頼者 ID を表示します。
銀行 ID (ホスト ID)	銀行 ID を表示します。
オーダーのタイプ	オーダーのタイプを表示します。
日時	日時形式でタイム・スタンプを表示します。

列名	説明
ステータス	<p>オーダーのステータスを表示します。例えば、「成功」、「クライアントで保留」、「サーバーで保留」などです。</p> <p>必要なアクションに応じて、ステータスの横に「署名」、または「送信」リンクが表示されます。</p>

- 保留中のオーダーに署名するには、「署名」をクリックします。保留中のオーダーを送信するには、「送信」をクリックします。
- EBICS Client ユーザーに対して電子署名のハードウェア・セキュリティが構成されている場合は、「署名」をクリックすると、「電子署名 (Electronics Signatures)」ページが表示されます。次の表に記載されているフィールドに値を入力して、「署名」をクリックします。

フィールド	説明
プロバイダー名	PKCS11 ハードウェア署名モジュール (HSM) プロバイダーの名前が表示されます。
DLL の選択 (Select DLL)	「参照」をクリックして、適切な場所にナビゲートし、HSM の DLL ファイルを選択します。
PKCS11 プロバイダーの選択	「プロバイダーのロード (Load providers)」をクリックして、適切な場所にナビゲートし、PKCS11 サービス・プロバイダー・ファイルを選択します。プロバイダーをロードしたら、ドロップダウン・リストから適切なファイルを選択します。
暗証番号の入力	「暗証番号の入力 (Enter pin)」フィールドにセキュリティ暗証番号を入力します。
秘密鍵の選択 (Select private key)	「キーのロード (Load keys)」をクリックして、適切な場所にナビゲートし、鍵を選択します。鍵をロードしたら、ドロップダウン・リストから適切なファイルを選択します。

## 保留 VEU タスクの検索

分散電子署名 (VEU) によって、複数のサブスクライバーに、リモートでデータを送信できます。複数のサブスクライバーは、時間と場所に関係なく、オーダーをリモートで認可できます。

### 始める前に

保留 VEU タスクを検索するために、EBICS Client ユーザーは、HVU (ダウンロードされた VEU 概要) または HVZ (ハッシュ値などの追加情報を付加した、ダウンロードされた VEU 概要) オーダー・タイプを送信する必要があります。

### このタスクについて

以下のステップを行い、保留 VEU タスクを検索します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ユーザー」メニューから、「ビューアー」 > 「保留 VEU タスク」を選択します。
3. 「保留 VEU タスク」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「検索」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストからパートナー名を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから、パートナーに関連付けられた銀行 ID を選択します。
銀行 URL (Bank URL)	必須。ドロップダウン・リストから必要な銀行 URL を選択します。選択した URL は、EBICS Banking Server との HTTP または HTTPS セッションの確立に使用されます。

要求が銀行に送信され、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。

4. 「オーダー送信」ページで「拡張検索」をクリックして、VEU 管理オーダーに追加検索条件を指定できます。
5. 銀行からの応答が表示される場合は、「キャンセル」をクリックします。
6. 検索条件を再入力するには、「リセット」をクリックします。

## 保留 VEU タスクの表示

### このタスクについて

以下のステップを行い、保留 VEU タスクを表示します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ユーザー」メニューから、「ビューアー」 > 「保留 VEU タスク」を選択します。
3. 「保留 VEU タスク」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「検索」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストからパートナー名を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから、パートナーに関連付けられた銀行 ID を選択します。
銀行 URL (Bank URL)	必須。ドロップダウン・リストから必要な銀行 URL を選択します。選択した URL は、EBICS Banking Server との HTTP または HTTPS セッションの確立に使用されます。

要求が銀行に送信され、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。



4. 「保留 VEU タスク」ページの「検索結果」セクションで、検索結果で以下の情報を表示できます。

フィールド	説明
オーダーのタイプ	保留 VEU オーダーのオーダー・タイプ。例えば、FUL などです。
オーダー ID	保留 VEU オーダーのオーダー ID。オーダー ID のリンクをクリックすると、オーダー・データの情報が表示されます。
オーダー・データ・サイズ	解凍されたオーダー・データのサイズ (キロバイト)。
必要な署名	サーバーでのアクティブ化に必要な電子署名の総数。
完了した署名	オーダーの検証用に提供済みの署名の数。
ステータス	オーダーのステータスが表示されます。有効な値は「保留」と「完了」です。例えば、ユーザーがオーダーに署名済みだが、オーダーを検証するために追加の署名がオーダーに必要な場合、オーダーのステータスは、VEU ストアで「保留中」になります。オーダーに既に署名済みのユーザーは、保留ステータスのオーダーに署名することも、オーダーをキャンセルすることもできません。ただし、このユーザーは HVT または HVD オーダー・タイプを送信することができます。
日時	タイム・スタンプは日時形式で表示されます。

## 保留 VEU オーダーの詳細の取得

### このタスクについて

以下のステップを行い、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ユーザー」メニューから、「ビューアー」 > 「保留 VEU タスク」を選択します。
3. 「保留 VEU タスク」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「検索」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストからパートナー名を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから、パートナーに関連付けられた銀行 ID を選択します。

フィールド	説明
銀行 URL (Bank URL)	必須。ドロップダウン・リストから必要な銀行 URL を選択します。選択した URL は、EBICS Banking Server との HTTP または HTTPS セッションの確立に使用されます。

要求が銀行に送信され、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。

- 「保留 VEU タスク」ページの「検索結果」セクションで、オーダー ID のリンクをクリックします。オーダー・データの詳細が表示されます。

フィールド	説明
オーダー ID	保留 VEU オーダーのオーダー ID。オーダー ID のリンクをクリックすると、オーダー・データの情報が表示されます。
オーダーのタイプ	保留 VEU オーダーのオーダー・タイプ。例えば、FUL などです。
オリジネーター・パートナー ID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーに関連付けられたパートナー ID。
オリジネーター・ユーザー ID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーのサブスクリイバー ID。
オーダー・データが使用可能です	HVZ オーダー・タイプの送信後、オーダー・データを元の形式でダウンロードできるかどうかを示します。
オーダー詳細が使用可能です	HVU オーダー・タイプのオーダー情報。
オーダー・データ・サイズ	解凍されたオーダー・データのサイズ (キロバイト)。
日時	タイム・スタンプは日時形式で表示されます。
署名準備完了	オーダーが既にユーザーによって署名済みかどうかを示します。False は、オーダーが既にユーザーによって署名済みであることを示します。True は、オーダーがユーザーによって署名される準備ができていることを示します。
必要な署名	オーダーを許可するのに必要な署名の最小数を表示します。
完了した署名	オーダーの検証を完了した署名の数。既に提供済みの電子署名の数および前の署名者に関する情報を示します。以下の署名者の詳細を表示するには、「署名者情報」のリンクをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パートナー名: 取引パートナーの名前</li> <li>ユーザー ID</li> <li>名前: 署名者の名前</li> <li>タイム・スタンプ</li> <li>許可レベル: 署名者の許可レベル</li> </ul>

フィールド	説明
「オーダー情報」リンク	<p>以下のオーダー情報の詳細を表示するには、「オーダー情報」リンクをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 口座: 「アカウント情報」リンクをクリックして、口座名義人、通貨コード、口座の説明、口座名義人の役割、口座番号および銀行コードを表示します。</li> <li>• 金額: オーダー・トランザクションの金額を表示します。</li> <li>• 通貨コード: オーダー・トランザクションの通貨コードを表示します。</li> <li>• デビット</li> <li>• 実行日: オーダーの実行日を表示します。</li> <li>• 説明: 「説明」リンクをクリックして、署名者の説明および説明タイプを表示します。</li> </ul>

- 「オーダー・データ」ウィンドウで、以下のいずれかのオプションを選択して、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。
  - 「送信」ドロップダウン・リストから、「HVT - オーダー詳細」を選択すると、オーダー・データのトランザクション詳細を取得します。
  - 「送信」ドロップダウン・リストから、「HVT - オーダー・データの完了」を選択すると、完了したオーダー・データを取得します。
  - 「送信」ドロップダウン・リストから、HVD を選択すると、現在 VEU 処理中のオーダーの状態、およびサブスクライバーが署名者として許可されているオーダーの状態を取得します。サブスクライバーは、電子注記 (DisplayFile)、オーダー・ハッシュ値 (DataDigest)、および前の署名者 (SignerInfo) の形式で、オーダーに関する情報を受け取ります。
- 「VEU オーダー詳細」ウィンドウで、以下のパラメーターに値を指定します。

フィールド	説明
オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	ドロップダウン・リストからアルファベットを選択します。
セキュリティー・メディア (Security medium)	ユーザーの銀行特有鍵のセキュリティー・メディア。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。
銀行 URL (Bank URL)	ドロップダウン・リストから銀行 URL を選択します。
取り出し制限	「HVT - オーダー詳細」を選択した場合に有効です。completeOrderData 属性が false に設定されている場合に、送信されるオーダー詳細の最大数。デフォルト値は 100 です。有効な値は、任意の負ではない整数です。取り出す詳細の数を無制限にするには、0 を指定します。一度に 100 件を超える詳細を取得することはできませんが、これは理想的ではありません。

フィールド	説明
取り出しオフセット	「HVT - オーダー詳細」を選択した場合に有効です。送信するトランザクション詳細の開始ポイントを示す、元のオーダー・ファイル内のオフセット位置。completeOrderData 属性が false に設定されている場合、このオフセット位置は、特定の順序の連続番号に適用されます。デフォルト値は 0 です。有効な値は、任意の負ではない整数です。100 件を超えるレコードを取得するには、最初の 100 件のレコードを取得するために「オフセットの取り出し」を 0 に設定してから、次の 100 件のレコードを取得するために「オフセットの取り出し」を 101 に設定します。必要に応じて続行します。

7. 「送信 (Submit)」をクリックします。

## 保留 VEU オーダーの署名

### 始める前に

保留 VEU オーダーに署名するには、以下の前提条件を満たしている必要があります。

- 「署名準備完了」パラメーターが True を表示
- 以下のいずれかの VEU オーダーが送信済み
  - HVZ
  - HVU および HVD
  - HVU および HVT - オーダー・データの完了

### このタスクについて

以下のステップを行い、保留 VEU オーダーに署名します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ユーザー」メニューから、「ビューアー」 > 「保留 VEU タスク」を選択します。
3. 「保留 VEU タスク」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「検索」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストからパートナー名を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから、パートナーに関連付けられた銀行 ID を選択します。

フィールド	説明
銀行 URL (Bank URL)	必須。ドロップダウン・リストから必要な銀行 URL を選択します。選択した URL は、EBICS Banking Server との HTTP または HTTPS セッションの確立に使用されます。

要求が銀行に送信され、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。

- 「保留 VEU タスク」ページで、オーダー ID のリンクをクリックします。オーダー・データの詳細が表示されます。

フィールド	説明
オーダー ID	保留 VEU オーダーのオーダー ID。オーダー ID のリンクをクリックすると、オーダー・データの情報が表示されます。
オーダーのタイプ	保留 VEU オーダーのオーダー・タイプ。例えば、FUL などです。
オリジネーター・パートナー ID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーに関連付けられたパートナー ID。
オリジネーター・ユーザー ID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーのサブスクリイバー ID。
オーダー・データが使用可能です	HVZ オーダー・タイプの送信後、オーダー・データを元の形式でダウンロードできるかどうかを示します。
オーダー詳細が使用可能です	HVU オーダー・タイプのオーダー情報。
オーダー・データ・サイズ	解凍されたオーダー・データのサイズ (キロバイト)。
日時	タイム・スタンプは日時形式で表示されます。
署名準備完了	オーダーが既にユーザーによって署名済みかどうかを示します。False は、オーダーが既にユーザーによって署名済みであることを示します。True は、オーダーがユーザーによって署名される準備ができていることを示します。
必要な署名	オーダーを許可するのに必要な署名の最小数を表示します。
完了した署名	オーダーの検証を完了した署名の数。既に提供済みの電子署名の数および前の署名者に関する情報を示します。以下の署名者の詳細を表示するには、「署名者情報」のリンクをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パートナー名: 取引パートナーの名前</li> <li>ユーザー ID</li> <li>名前: 署名者の名前</li> <li>タイム・スタンプ</li> <li>許可レベル: 署名者の許可レベル</li> </ul>

フィールド	説明
「オーダー情報」リンク	<p>以下のオーダー情報の詳細を表示するには、「オーダー情報」リンクをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 口座: 「アカウント情報」リンクをクリックして、口座名義人、通貨コード、口座の説明、口座名義人の役割、口座番号および銀行コードを表示します。</li> <li>• 金額: オーダー・トランザクションの金額を表示します。</li> <li>• 通貨コード: オーダー・トランザクションの通貨コードを表示します。</li> <li>• デビット</li> <li>• 実行日: オーダーの実行日を表示します。</li> <li>• 説明: 「説明」リンクをクリックして、署名者の説明および説明タイプを表示します。</li> </ul>

5. 「オーダーに署名」をクリックします。

6. 「VEU オーダー詳細」ウィンドウで、以下のパラメーターに値を指定します。

フィールド	説明
オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	ドロップダウン・リストからアルファベットを選択します。
セキュリティー・メディア (Security medium)	ユーザーの銀行特有鍵のセキュリティー・メディア。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。
銀行 URL (Bank URL)	ドロップダウン・リストから銀行 URL を選択します。

7. 「送信 (Submit)」をクリックします。

## 保留 VEU オーダーのキャンセル

### 始める前に

保留 VEU オーダーをキャンセルするには、以下の前提条件を満たしている必要があります。

- 「署名準備完了」パラメーターが True を表示
- 以下のいずれかの VEU オーダーが送信済み
  - HVZ
  - HVU および HVD
  - HVU および HVT - オーダー・データの完了

### このタスクについて

以下のステップを行い、保留 VEU オーダーをキャンセルします。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「ユーザー」メニューから、「ビューアー」 > 「保留 VEU タスク」を選択します。
3. 「保留 VEU タスク」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「検索」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner name)	必須。ドロップダウン・リストからパートナー名を選択します。
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから、パートナーに関連付けられた銀行 ID を選択します。
銀行 URL (Bank URL)	必須。ドロップダウン・リストから必要な銀行 URL を選択します。選択した URL は、EBICS Banking Server との HTTP または HTTPS セッションの確立に使用されます。

要求が銀行に送信され、保留 VEU オーダーの詳細を取得します。

4. 「保留 VEU タスク」ページの「検索結果」セクションで、オーダー ID のリンクをクリックします。オーダー・データの詳細が表示されます。

フィールド	説明
オーダー ID	保留 VEU オーダーのオーダー ID。オーダー ID のリンクをクリックすると、オーダー・データの情報が表示されます。
オーダーのタイプ	保留 VEU オーダーのオーダー・タイプ。例えば、FUL などです。
オリジネーター・パートナー ID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーに関連付けられたパートナー ID。
オリジネーター・ユーザー ID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーのサブスクリイバー ID。
オーダー・データが使用可能です	HVZ オーダー・タイプの送信後、オーダー・データを元の形式でダウンロードできるかどうかを示します。
オーダー詳細が使用可能です	HVU オーダー・タイプのオーダー情報。
オーダー・データ・サイズ	解凍されたオーダー・データのサイズ (キロバイト)。
日時	タイム・スタンプは日時形式で表示されます。
署名準備完了	オーダーが既にユーザーによって署名済みかどうかを示します。False は、オーダーが既にユーザーによって署名済みであることを示します。True は、オーダーがユーザーによって署名される準備ができていることを示します。

フィールド	説明
必要な署名	オーダーを許可するのに必要な署名の最小数を表示します。
完了した署名	<p>オーダーの検証を完了した署名の数。既に提供済みの電子署名の数および前の署名者に関する情報を示します。以下の署名者の詳細を表示するには、「署名者情報」のリンクをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• パートナー名: 取引パートナーの名前</li> <li>• ユーザー ID</li> <li>• 名前: 署名者の名前</li> <li>• タイム・スタンプ</li> <li>• 許可レベル: 署名者の許可レベル</li> </ul>
「オーダー情報」リンク	<p>以下のオーダー情報の詳細を表示するには、「オーダー情報」リンクをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 口座: 「アカウント情報」リンクをクリックして、口座名義人、通貨コード、口座の説明、口座名義人の役割、口座番号および銀行コードを表示します。</li> <li>• 金額: オーダー・トランザクションの金額を表示します。</li> <li>• 通貨コード: オーダー・トランザクションの通貨コードを表示します。</li> <li>• デビット</li> <li>• 実行日: オーダーの実行日を表示します。</li> <li>• 説明: 「説明」リンクをクリックして、署名者の説明および説明タイプを表示します。</li> </ul>

5. 「オーダーのキャンセル」をクリックします。
6. 「VEU オーダー詳細」ウィンドウで、以下のパラメーターに値を指定します。

フィールド	説明
オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	ドロップダウン・リストからアルファベットを選択します。
セキュリティー・メディア (Security medium)	ユーザーの銀行特有鍵のセキュリティー・メディア。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。
銀行 URL (Bank URL)	ドロップダウン・リストから銀行 URL を選択します。

7. 「送信 (Submit)」をクリックします。

---

## システム・プロパティー値の更新

EBICS Client を構成した後、EBICS Client 管理者はシステム・プロパティー値を更新することができます。



## このタスクについて

システム・プロパティ値を更新するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニューから、「システム・プロパティ (System Property)」を選択します。
3. 「更新」をクリックして、次の表にリストされたシステム・プロパティ値を更新します。

フィールド	説明
応答コードの表示 (Show response code)	すべてのクライアント・サービスは、サーバーから応答コードを返します。このコードがエラー・コードである場合、ビジネス・プロセスで障害が発生します。エラー・コードが予期される場合は、OnFault サービスを使用して、取引パートナーとの対話を続行します。
接続の再試行回数 (Connection retries)	HTTP クライアント・アダプターがサーバーへの接続を試行する回数を指定します。有効値は、0 から 50 の任意の整数です。デフォルト値は 3 です。
再試行の遅延 (Retry delay)	HTTP クライアント・アダプターが再試行を実施するまでの待機秒数を指定します。デフォルト値は 60 です。有効値は、1 から 7200 の任意の整数です。
I/O の待機遅延 (Delay waiting on I/O)	WAITING_ON_IO 状態になるまでの、データ転送の完了を待機する時間を秒数で指定します。-1 を指定すると、サービスがブロッキング・モードで動作します。有効値は、任意の数値です。
各要求について新規 HTTP セッションを初期化 (Initialize new HTTP session for each request)	EBICS Client からサーバーに送信される要求ごとに新規の HTTP セッションを開始する場合、このパラメーターを true に設定します。デフォルト値は false です。  FUL オーダー・タイプを使用して多数のラージ・ペイロード (例えば、200 MB) のデータを EBICS Server にアップロードする場合は、このパラメーターを true に設定します。
パーシスタンス・セグメント・カウント (Persistence segment count)	ランタイムがイベントをログに記録するまでのセグメント数のカウントです。このパラメーターは、アップロード、およびダウンロードのオーダー・タイプのみで有効です。  例えば、「パーシスタンス・セグメント・カウント」を 5 に設定すると、10 個のセグメントがサーバーにアップロードされた後、2 つのトランザクション・データ・ポイント (5 番目と 10 番目) がクライアント・データベースに保持されます。  12 番目のセグメントがサーバーにアップロードされた後、クライアント・インスタンスがダウンすると、クライアントはトランザクション・データの 10 番目のセグメントを再送信します。サーバーがトランザクション・データの 12 個のセグメントを既に受信している場合、サーバーはクライアントに 13 番目のセグメントから再送信するよう通知します。
オーダー ID の生成のキャッシュ・サイズ	オーダー ID 生成のメモリー内キャッシュ・サイズを指定します。デフォルト値は 30 です。

フィールド	説明
オーダー ID キャッシュ・ミスのスレッド待機時間 (ミリ秒)	スレッドでキャッシュ・ミスが発生した場合に、スレッドが待機する時間を指定します。デフォルト値は 1000 ミリ秒です。
オーダー ID キャッシュ・ミスの再試行回数	スレッドがキャッシュ・ミスの間隔を待機しなければならない回数を指定します。デフォルト値は 5 です。
商品 ID	EBICS Client アプリケーションの商品 ID を入力します。
ユーザー・インターフェースの言語	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定を入力します。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と入力します。
保留タスクを持つオーダーの保存期間 (日単位)	保留中のタスクを持つオーダーを、ページせずにシステム内に保存しなければならない日数を指定します。デフォルト値は 1000 です。
証明書の KeyUsage を確認	証明書内の鍵の使用を確認するかどうかを指定します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• true - 鍵の使用を確認する。</li> <li>• false - 鍵の使用を確認しない。</li> </ul>
初期化レターのハッシュ入力にスペース付きの係数および指数を使用	初期化レターのハッシュを、スペース付きの係数および指数としてハッシュ入力を使用して計算する必要がある場合、true を指定します。初期化レターのハッシュを、証明書全体または公開鍵を使用して計算する必要がある場合、false を指定します。デフォルト値は false です。
銀行鍵の検証でのハッシュ入力にスペース付きの係数および指数を使用	銀行鍵の検証でのハッシュを、スペース付きの係数および指数としてハッシュ入力を使用して計算する必要がある場合、true を指定します。銀行鍵の検証でのハッシュを、証明書全体または公開鍵を使用して計算する必要がある場合、false を指定します。デフォルト値は false です。
メールボックス・メタデータ・パス (Mailbox metadata path)	OrderMetadata メッセージを保管するメールボックスを指定します。
HAC ページ間隔 (分)	EBICS が、有効期限切れの HAC レコードがないかデータベースをスキャンし、それらをページする自動ページ操作が行われる間隔 (分数) を指定します。デフォルト値は 720 です。HAC レコードの有効期限については、138 ページの『HAC スケジュールの作成』の「ページ有効期限」設定を参照してください。
暗号の強度 (Cipher strength)	「暗号の強度 (Cipher Strength)」を指定します。有効値は「強い」、「すべて」、および「弱い」です。
クライアント・アダプター (Client adapter)	取引パートナーに要求を送信するためのクライアント・アダプターを指定します。例えば、取引パートナーへの HTTP 要求を送信する HTTP クライアント・アダプターを構成します。
ロー要求 (Raw request)	ビジネス・プロセスにロー要求メッセージ渡されるかどうかを指示するには、「はい」を指定します。指示しない場合は、「いいえ」を指定します。
ロー応答 (Raw response)	ビジネス・プロセスからロー応答が返されるかどうかを指示するには、「はい」を指定します。指示しない場合は「いいえ」を指定します。

フィールド	説明
エラー時に接続をリセット (Reset connection on error)	サーバーへの接続試行時に、クライアントでのエラー発生で接続をリセットするには、「使用可能」を指定します。
応答タイムアウト	サーバーが応答に要する秒数を指定します。デフォルト値は 30 です。有効値は、1 から 999999 の任意の整数です。
KeyOrderData xml で「esig」名前空間を使用	「esig」を KeyOrderData xml でデフォルトの名前空間としてではなく、追加名前空間として使用する場合、true を指定します。デフォルト値は true です。
KeyManagement 要求 xml にオプション要素を挿入	EBICS 鍵管理の要求スキーマで指定されたオプション要素を KeyManagement 要求 xml に挿入する場合、true を指定します。デフォルト値は true です。

4. 「終了」をクリックして、更新した変更内容を保存します。

## 自分のプロフィール

### このタスクについて

「自分のプロフィール」ページは、ユーザー設定の表示に利用できます。設定は、ユーザー・タイプに応じて異なります。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニュー、「オペレーター」メニュー、または「ユーザー」メニューから、「自分のプロフィール」を選択します。次の表は、表示されるユーザー・タイプ別の設定のリストです。

表 6. EBICS Client User

ユーザー設定	説明
ユーザー ID	ユーザー ID が表示されます。
ユーザー名 (User name)	ユーザー名が表示されます。
ユーザー・タイプ	ユーザー・タイプが表示されます。
時間帯	ユーザーの時間帯が表示されます。
特有ユーザー (Technical user)	ユーザーが特有ユーザーであるかどうかを示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• True</li> <li>• False</li> </ul>
証明書タイプ	ユーザーが ID、認証、暗号化、電子署名証明書の認可を得るために、使用する証明書のタイプが表示されます。
認証プライベート証明書 (Authentication private certificate)	ユーザーの認証プライベート証明書が表示されます。

表 6. EBICS Client User (続き)

ユーザー設定	説明
認証パブリック証明書 (Authentication public certificate)	ユーザーの認証パブリック証明書が表示されます。
認証鍵バージョン (Authentication key version)	認証鍵バージョンが表示されます。
暗号化プライベート証明書	ユーザーの暗号化プライベート証明書が表示されます。
暗号化パブリック証明書	ユーザーの暗号化パブリック証明書が表示されます。
暗号鍵バージョン (Encryption key version)	暗号鍵バージョンが表示されます。
電子署名にハードウェア鍵ストアを使用 (Use hardware key-store for ES)	電子署名 (ES) にハードウェア鍵ストアが使用されるかどうかを示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• はい</li> <li>• いいえ</li> </ul>
電子署名秘密鍵 (Electronic signature private key)	ユーザーの電子署名プライベート証明書が表示されます。
電子署名公開鍵 (Electronic signature public key)	ユーザーの電子署名パブリック証明書が表示されます。
電子署名鍵バージョン (Electronic signature key version)	電子署名の鍵バージョンが表示されます。
関連パートナー (Associated partner(s))	「すべてを表示」リンクをクリックすると、関連パートナーの情報が表形式で表示されます。パートナー名、アップロード・メールボックス・パス、およびダウンロード・メールボックス・パスが表示されます。
銀行関連パートナー (Associated partner(s) with Banks)	「すべてを表示」リンクをクリックすると、銀行に関連付けられたパートナー、パートナー名、銀行 ID およびステータスが表示されます。EBICS Client ユーザーが、初期化済み、または作動可能状態の場合、INI または HIA レターも生成できます。EBICS Client ユーザーに SPR オーダー・タイプの送信許可がある場合は、SPR オーダー・タイプの送信のためのアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、現在のユーザーが銀行で使用停止にされます。

表 7. EBICS Client Super Admin、EBICS Client Admin、または EBICS Client Operator

ユーザー設定	説明
ユーザー ID	ユーザー ID が表示されます。

表 7. EBICS Client Super Admin、EBICS Client Admin、または EBICS Client Operator (続き)

ユーザー設定	説明
ユーザー名 (User name)	ユーザー名が表示されます。
ユーザー・タイプ	ユーザー・タイプが表示されます。
時間帯	ユーザーの時間帯が表示されます。

## EBICS Client リソースのインポートおよびエクスポート

Sterling B2B Integrator を使用して、EBICS Client に関連するリソースのインポート、およびそのリソースの構成データのエクスポートが可能です。

例えば、銀行プロファイル、ユーザー・プロファイル、ファイル形式、オファーおよびユーザー許可の構成データを XML 形式でエクスポートし、システムに保管することができます。XML 形式の銀行プロファイル、ユーザー・プロファイル、ファイル形式、オファーおよびユーザー許可の構成データをインポートできます。リソースの管理について詳しくは、Sterling B2B Integrator インフォメーション・センターの『リソース管理 (Resource Management)』を参照してください。

ユーザー許可またはオファーのエクスポートを選択した場合、すべての従属リソース・タイプ (銀行およびユーザー・プロファイルなど) もエクスポートされます。インポート時には、別のページに表示されている、各従属リソース・タイプを必ず選択してください。例えば、ユーザー許可のインポートを選択した場合、関連したユーザー・プロファイルを必ず選択してください。

注: デフォルト URL を持つ銀行プロファイルのエクスポートし、その銀行プロファイルがターゲット・システムに存在するが、異なるデフォルト URL と関連付けられている場合、インポート後に銀行プロファイルは複数のデフォルト URL を保有します。単一のデフォルト URL を保持するには、EBICS Client アプリケーション・ダッシュボードにログインし、銀行構成設定を編集します。そうでない場合は、EBICS Client ランタイムは、データベースから取り出された 1 番目のデフォルト URL を使用して、トランザクションを実行します。

注: EBICS Client では、銀行はオファーを 1 つのみ保有できます。ターゲット・システムに、エクスポート XML にある 1 次キーと同じ 1 次キーを持つオファーがある場合、および「更新するリソース (Resources to be updated)」オプションが「はい」に設定されている場合、ターゲット・システム内のオファーは、エクスポート XML 内のオファーに関連付けられたオーダー・タイプで更新されます。ただし、ターゲット・システム内のオファーの 1 次キーがエクスポート XML 内の 1 次キーと異なる場合は、ターゲット・システム内のオファーおよび関連したオーダー・タイプは、エクスポート XML 内のオファーおよび関連したオーダー・タイプに置き換えられます。

## EBICS Client リソースのエクスポート

Sterling B2B Integrator のリソース・マネージャーを使用して EBICS Client リソースをエクスポートできます。

## このタスクについて

EBICS Client リソースをエクスポートするには、以下のようにします。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「展開」 > 「リソース・マネージャー」 > 「インポート/エクスポート」を選択します。
3. 「リソースのエクスポート」の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
4. 「出力フォーマット・タイプ」ページで、以下を行います。
  - a. データをエクスポートするフォーマット・タイプを選択します。
    - XML ドキュメント (.xml)
    - インストール・バンドル (.jar)
  - b. 「次へ (Next)」をクリックします。
5. 「リソース・グループ」ページで、タグ名に基づきリソースをエクスポートするかどうかを選択します。
  - タグ名に基づいたリソースのエクスポートを行わない場合は、「いいえ」を選択します。
  - タグ名に基づいてリソース・グループ全体をエクスポートする場合は、「はい」を選択します。ドロップダウン・リストからタグ名を選択します。「次へ」をクリックします。
6. 「エクスポート・タイプ」ページで、「標準 - デフォルト・バージョンをエクスポートします」を選択し、「次へ」をクリックします。
7. 「リソースの選択」ページで「EBICS Client リソース」を選択し、「次へ」をクリックします。
8. 「EBICS Client リソースの選択 (Select EBICS Client Resource(s))」ページで、エクスポートするリソースを選択します。

オプション	説明
ファイル形式 (File Format)	ファイル形式に関する情報です。
銀行オファー (Bank Offer)	銀行プロファイルの詳細およびオファーに関連付けられたファイル形式など、オファーに関する情報。
ユーザー許可	ユーザー、取引パートナー (ID レコード)、銀行プロファイルの詳細、オファー、オーダー・タイプ、およびオファーに関連付けられたファイル形式に関する情報。
銀行プロファイル	銀行および銀行に関連付けられた信頼された証明書に関する情報。
ユーザー・プロファイル	ユーザー、パートナー、関連データ (メールボックスの許可、ID レコード、信頼された証明書およびシステム証明書など) に関する情報。

「次へ (Next)」をクリックします。

9. 選択した各リソース・タイプのページで、エクスポートする項目を「選択可能」リストから「エクスポート対象」リストに移動します。
  - a. オプション。「データのフィルタリング」を使用してデータをフィルタリングします。
  - b. Sterling B2B Integrator で EBICS Client 用に構成された情報をエクスポートするには、「従属レコードのエクスポート」フィールドで「はい」を選択します。例えば、メールボックス構成、デジタル証明書、ID レコードなどの詳細です。そうでない場合は、「いいえ」を選択します。
  - c. 「次へ (Next)」をクリックします。
 必要に応じて、各追加リソース・タイプ・ページを繰り返します。
10. 「セキュリティ」ページで、システム・パスフレーズを入力して確認後、「次へ」をクリックします。
11. 「確認」ページで、エクスポートするリソースの情報を確認して、「終了」をクリックします。エクスポート・ファイルが作成されます。
12. 「終了」ページで、以下のいずれかを選択します。
  - 「エクスポート・レポートの表示」の横のアイコンをクリックして、エクスポート・レポートを確認します。
  - 「エクスポート・データ (.xml)」または「エクスポート・データ (.jar)」の横の「ダウンロード」アイコンをクリックしてエクスポート・ファイルをダウンロードし、ハード・ディスクに保存します。
13. 「戻る」をクリックします。

## EBICS Client リソースのインポート

Sterling B2B Integrator でリソース・マネージャーを使用して、EBICS Client リソースをインポートできます。

### このタスクについて

EBICS Client リソースをインポートするには、以下のようになります。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「展開」 > 「リソース・マネージャー」 > 「インポート/エクスポート」を選択します。
3. 「リソースのインポート」の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
4. 「ファイルのインポート (Import File)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
ファイル名	必須。「参照」をクリックして、インポートするファイルを見つけて選択します。ファイルは、XML ドキュメント (.xml) またはインストール・バンドル (.jar) でなければなりません。

フィールド	説明
パスフレーズ	オプション。プロンプトが出された場合のファイルのパスフレーズを指定します。
バックアップ生成のスキップ	オプション。更新されたエンティティのバックアップの生成を必要としない場合、「チューニング・オプション」の下にある、チェック・ボックスを選択します。
すべてのリソースのインポート	オプション。すべてのリソースをインポートする場合、「チューニング・オプション」の下にある、チェック・ボックスを選択します。例えば、メールボックスに関連付けられた許可、ID レコード、秘密鍵証明書が自動的にインポートされます。このオプションを選択しない場合、各リソース・タイプについて、インポートする項目の選択を要求するプロンプトが表示されます。

5. 「リソース・タグの作成」 ページで、以下を行います。
  - a. このステップはオプションです。インポートされたデータをリソース・グループに関連付ける場合、「タグ名」および「タグの説明」を入力します。
  - b. 「次へ (Next)」 をクリックします。
6. 「オブジェクトの更新」 ページで、以下を行います。
  - 「はい」 を選択すると、システムに存在するオブジェクトは更新されます。
  - 「いいえ」 を選択すると、システムに存在しないオブジェクトがインポートされます。

「次へ (Next)」 をクリックします。
7. このステップは、すべてのインポートに当てはまるわけではありません。選択されたそれぞれのリソース・タイプについて、インポートする項目を「選択可能」 リストから「インポートする」 リストに移動します。「次へ (Next)」 をクリックします。
8. 「確認」 ページで、インポートするリソースの情報を確認して、「終了」 をクリックします。データがインポートされます。
9. 「終了」 ページでは、以下のアクションを実行できます。
  - インポート・レポートを確認するには、「インポート・レポートの表示」 をクリックします。
  - パフォーマンス・レポートのサマリー・データを確認するには、「パフォーマンス・レポートの表示」 をクリックします。
  - 「インポート前の **Sterling B2B Integrator** 内のデータ (xml)」 の横の「ダウンロード」 をクリックして、データのバックアップ・コピーを取得します。

注: 「バックアップ生成のスキップ」 オプションを選択している場合、「ダウンロード」 リンクは表示されません。
10. 「戻る」 をクリックします。



## EBICS Client ユーザー・インターフェースへのアクセスの許可

Sterling B2B Integrator EBICS Client グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) およびその機能にアクセスするには、以下の許可グループのいずれかが割り当てられている必要があります。

- EBICSClient Admin
- EBICSClient Operator
- EBICSClient Users

次の表は、Sterling B2B Integrator EBICS Client メニュー項目と、各グループに関連付けられたページへのアクセスに必要な許可のリストです。

注:

メニュー項目への許可があれば、関連するページの全機能に加えて、管理者許可があるユーザーに制限されている削除機能にアクセスすることができます。

表 8. Sterling B2B Integrator EBICS Client メニュー項目と許可

メニュー項目	許可	EBICSClient		
		Admin	Operator	Users
「プロフィール管理 (Profile management)」 > 「ユーザー」	CREATE	可	不可	不可
	EDIT	可	不可	不可
	VIEW	可	可	不可
	DELETE	可	不可	不可
「プロフィール管理 (Profile management)」 > 「銀行 (Bank)」 > 「プロフィール」	CREATE	可	不可	不可
	EDIT	可	不可	不可
	VIEW	可	可	不可
	DELETE	可	不可	不可
「プロフィール管理 (Profile management)」 > 「銀行 (Bank)」 > 「オファー構成 (Offer configurations)」	CREATE	可	不可	不可
	EDIT	可	不可	不可
	VIEW	可	可	不可
	DELETE	可	不可	不可
「プロフィール管理 (Profile management)」 > 「銀行 (Bank)」 > 「銀行鍵の検証 (Bank key validations)」	VALIDATE	可	不可	不可
「プロフィール管理 (Profile management)」 > 「ファイル形式 (File formats)」	CREATE	可	不可	不可
	EDIT	可	不可	不可
	VIEW	可	可	不可
	DELETE	可	不可	不可

表 8. Sterling B2B Integrator EBICS Client メニュー項目と許可 (続き)

メニュー項目	許可	EBICSClient		
		Admin	Operator	Users
プロファイル管理 (Profile management)」 > 「キー」	CREATE	可	不可	不可
	EDIT	可	不可	不可
	VIEW	可	可	不可
	DELETE	可	不可	不可
「許可 (Permissions)」 > 「ユーザー許可 (User permissions)」	CREATE	可	不可	不可
	EDIT	可	不可	不可
	VIEW	可	可	不可
	DELETE	可	不可	不可
「オーダー送信 (Order submission)」	SUBMISSION	不可	不可	可
「ビューアー」 > 「イベント・ビューアー」	SEARCH	可	可	可
「ビューアー」 > 「オーダー検索 (Order search)」	SEARCH	可	可	可
「ビューアー」 > 「保留中タスク (Pending tasks)」	VIEW	不可	不可	可
	SIGN	不可	不可	可
「ビューアー」 > 「保留中 VEU タスク (Pending VEU tasks)」	VIEW	不可	不可	可
	SIGN	不可	不可	可
	SUBMIT	不可	不可	可
注: 「保留中 VEU タスク (Pending VEU tasks)」 ページは、「オーダー送信 (Order submission)」メニューから HVU および HVZ オーダー・タイプを送信した後のみに表示されます。				
「システム・プロパティ (System Property)」	VIEW	可	不可	不可
	UPDATE	可	不可	不可
「自分のプロフィール」	VIEW	可	可	可

## アップロード・トランザクションおよびダウンロード・トランザクションのリカバリー

トランザクション・データを送信または受信するときに、クライアントがダウンしていると、トランザクション・データを失うリスクがあります。トランザクション・データの損失を防ぐために、およびトランザクション・データをリストアするために、EBICS Client は、アップロード・トランザクションおよびダウンロード・トランザクションに対するトランザクション・リカバリーをサポートしています。

### アップロード・トランザクションのトランザクション・リカバリー

以下の例のシナリオは、FUL オーダー・タイプを使用したアップロード・トランザクションのトランザクション・リカバリー・メカニズムを示しています。

1. 20 のセグメントのトランザクション・データがサーバーにアップロードされません。
2. 10 のセグメントが正常にアップロードされた後、クライアント・インスタンスがダウンします。
3. クライアント・インスタンスがリストアされた後、クライアントは、ダウンしたポイントからトランザクション・データを再送信します。この例では、クライアントはトランザクション・データの 11 番目のセグメントを再送信します。

リカバリーの後にクライアントから受信したセグメントがサーバーの既存のセグメントと同期されていないと、サーバーはイベント名 `EBICS_TX_RECOVERY_SYNC` を返します。イベント名 `EBICS_TX_RECOVERY_SYNC` は、サーバーがトランザクションのセグメントをクライアントと同期していることを示します。イベント・ビューアーのタイム・スタンプ列で、トランザクションのリカバリー前後にアップロードされたセグメントのタイム・スタンプの差異を確認できます。

### セグメント数の保持

EBICS Client の「管理」メニューから「パーシスタンス・セグメント・カウント」システム・プロパティ値を更新することで、クライアント・データベースにトランザクション・データ・ポイントを保持できます。例えば、「パーシスタンス・セグメント・カウント」を 5 に設定すると、10 個のセグメントがサーバーにアップロードされた後、2 つのトランザクション・データ・ポイント (5 番目と 10 番目) がクライアント・データベースに保持されます。

12 番目のセグメントがサーバーにアップロードされた後、クライアント・インスタンスがダウンすると、クライアントはトランザクション・データの 10 番目のセグメントを再送信します。サーバーがトランザクション・データの 12 個のセグメントを既に受信している場合、サーバーはクライアントに 13 番目のセグメントから再送信するよう通知します。

### ダウンロード・トランザクションのトランザクション・リカバリー

以下の例のシナリオでは、FDL オーダー・タイプを使用したダウンロード・トランザクションのトランザクション・リカバリーについて説明します。

1. トランザクション・データの 10 のセグメントがサーバーからダウンロードされません。

2. 6 番目のセグメントがダウンロードされ、データベースに保持された後、クライアント・インスタンスがダウンします。
3. クライアント・インスタンスがリストアされた後、クライアントは、7 番目のセグメントに関する要求をサーバーに送信します。

以下の例のシナリオでは、セグメントのダウンロード中にクライアント・インスタンスがダウンした場合の、FDL オーダー・タイプを使用したダウンロード・トランザクションの トランザクション・リカバリー について説明します。

1. トランザクション・データの 10 のセグメントがサーバーからダウンロードされます。
2. 6 番目のセグメントをサーバーからダウンロードする処理でクライアント・インスタンスがダウンします。
3. クライアント・インスタンスがリストアされた後、クライアントは、6 番目のセグメントに関する要求をサーバーに再送信します。

---

## FUL オーダー・タイプの送信および署名

次の例のシナリオは、送信者と署名者が 2 つの別個のエンティティである場合の FUL オーダー・タイプの送信および署名または拒否を示しています。電子署名 (ES) の値が 1 に設定されている場合、オーダーの処理には、E または A の権限レベルの単一署名で十分です。

### 始める前に

この例のシナリオでは、以下のエンティティが使用されます。

- 送信者である EBICS ユーザー USERSUBMIT
- 署名者である EBICS ユーザー USERSIGN
- 銀行名 BANK
- オファー名 OFFER
- パートナー名 PARTNER

**重要:** FUL オーダー・タイプを使用して多数のラージ・ペイロード (例えば、200 MB) のデータを EBICS Server にアップロードする場合は、EBICS Client システム・プロパティの「各要求について新規 HTTP セッションを初期化」パラメーターを true に設定します。システム・プロパティを変更するには、82 ページの『システム・プロパティ値の更新』を参照してください。

### このタスクについて

ES=1 の場合に FUL オーダー・タイプを送信するには、Sterling B2B Integrator EBICS Client ユーザー・インターフェースを使用して以下のステップを実行します。

### 手順

1. EBICS Client ユーザーとして USERSUBMIT および USERSIGN を構成します。既存のユーザーを EBICS Client ユーザーとして構成する方法については、「既存ユーザーの EBICS Client ユーザーとしての構成」を参照してください。

2. BANK の銀行プロファイルを構成します。銀行プロファイルの構成について詳しくは、「銀行プロファイルの作成」を参照してください。
3. OFFER のオファーを構成します。オファーの構成について詳しくは、「オファーの作成」を参照してください。
4. OFFER のユーザー許可を構成します。ユーザー許可について詳しくは、「ユーザー許可の作成」を参照してください。
5. 管理者として Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
6. 「許可」メニューから「ユーザー許可」を選択します。
7. 「ユーザー許可構成」ページで、「オファー名」フィールドの「検索」に、ユーザー許可を構成するオファー名 OFFER を入力します。
8. 「実行」をクリックします。
9. 編集するユーザー許可の横にある更新アイコンをクリックします。ユーザー許可のオファー名は OFFER で、関連する銀行 ID は BANK です。
10. 「更新：許可情報」ページで、FUL ファイル・フォーマット (例えば、pain.001.001.02.ict) の横の更新アイコンをクリックします。
11. 「許可の追加」ページで、「必要な署名数」フィールドに 1 を指定します。
12. 「署名者の追加」をクリックします。
13. 「署名者の追加」ページで、「ユーザー ID」ドロップダウン・リストから USERSIGN を選択します。「許可タイプ」として「署名者」を選択します。
14. 「保存 (Save)」をクリックします。
15. Sterling B2B Integrator EBICS Client に USERSUBMIT としてログインします。
16. EBICS Client ダッシュボード・ユーザー・インターフェースを使用して INI レターおよび HIA レターを生成するか、H3K オーダー・タイプを使用します。INI と HIA、または H3K を使用した銀行への公開鍵の送信について詳しくは、『ユーザーの初期化』を参照してください。
17. INI レターおよび HIA レターに手動で署名し、BANK にメールで送信します。H3K は適用外です。
18. 以下のいずれかの方法を使用してユーザーを初期化します。
  - H3K オーダーを送信する。
  - INI と HIA を一緒に使用する。
    - INI オーダーと HIA オーダーを送信します。
    - INI および HIA の初期化レターを生成し、それらのレターに署名します。署名済みレターを銀行にメールで送信します。詳しくは、52 ページの『ユーザーの初期化』を参照してください。
19. 検証が正常に完了すると、BANK はユーザー USERSUBMIT のステータスを「新規」から「有効」に変更して、USERSUBMIT が銀行と取引できるようになったことを示します。
20. HPB オーダー・タイプを使用して、BANK のパブリック証明書をダウンロードします。
21. USERSIGN に対してステップ 15 から 19 を繰り返します。
22. 管理者として Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。

23. 銀行から受信した証明書のハッシュ値を検証します。銀行証明書の検証について詳しくは、「銀行鍵の検証」を参照してください。銀行鍵の検証が正常に完了すると、銀行のステータスが、アクティブに変更されます。
24. Sterling B2B Integrator EBICS Client に USERSUBMIT としてログインします。
25. 「ユーザー」メニューから、「オーダー送信 (Order submission)」を選択します。
26. 「オーダー情報」ページで、以下の値を指定し、「次へ」をクリックします。
  - 「パートナー ID」として PARTNER を選択します。
  - 「銀行 ID (ホスト ID)」として BANK を選択します。
  - 「オーダー・タイプ」フィルターとして銀行特有オーダーを選択します。
  - 「オーダー・タイプ」として FUL を選択します。
27. 次の表の説明に従いフィールドの値を指定し、「送信」をクリックします。

フィールド	説明
オーダー ID 接頭部 (Order ID prefix)	オプション。ドロップダウン・リストから、オーダー ID プレフィックス (例えば、F) を選択します。EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダー・タイプに基づいて固有オーダー ID を各オーダーに割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。
セキュリティー・メディア (Security medium)	必須。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。例: 0200。
自動送信 (Autosubmit)	<p>オプション。FUL オーダー・タイプにのみ適用されます。チェック・ボックスを選択します。</p> <p>自動送信オプションが選択されていると、必要な数の署名が収集された後にオーダーが自動的に送信されます。</p> <p>自動送信オプションが選択されていない場合、EBICS Client ユーザーは EBICS Client ダッシュボード・インターフェースにログインして、保留中タスクの画面にナビゲートし、必要な数の署名の取得後にオーダーを送信する必要があります。</p>
メールボックスのファイルを読み取る (Read file from mailbox)	メールボックスからペイロード・ファイルをアップロードするには、「はい」を選択します。ペイロード・ファイルをファイル・ロケーションからアップロードするには、「いいえ」を選択します。

フィールド	説明
ファイルのアップロード	「ファイルのアップロード」の横の「参照」をクリックし、ファイルの場所に移動して、EBICS サーバーにアップロードするファイルを選択します。
ファイル形式	ドロップダウン・リストから pain.001.001.02.ict を選択します。

オーダー送信の確認メッセージが表示されます。

28. オーダーに署名するために、USERSIGN として Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
29. 「ビューアー」メニュー から、「保留中タスク (**Pending tasks**)」を選択します。USERSUBMIT により送信された FUL オーダーが保留中のタスクとしてリストされます。保留中のタスクについて詳しくは、「保留中タスク」を参照してください。オーダーにカスタム属性が含まれている場合、この画面に表示されます。カスタム属性については、『特有ユーザーとしてオーダーを送信』を参照してください。
30. 「署名」をクリックして保留中の FUL オーダーに署名するか、「拒否」をクリックしてオーダーを拒否します。必要な数の署名者を満たす前に署名者がオーダーを拒否した場合、そのオーダーは署名者に対して保留タスクとしてリストされなくなり、さらに処理することはできません。
31. 自動送信オプションを有効にしていない場合、FUL オーダーを送信するときは、EBICS Client に USERSUBMIT としてログインし、「保留タスク」画面に移動して、USERSIGN が署名した FUL オーダーを送信します。

## 次のタスク

EBICS Client ユーザー・インターフェースで、送信されたオーダーのステータス（「成功」、「失敗」、「進行中」、または「クライアントで保留」）を表示するには、「ビューアー」メニューから「オーダー検索」を選択し、適切な検索条件を指定してオーダーを検索します。

---

## オーダー・タイプ

以下のオーダー・タイプについて、オーダー・タイプの簡単な説明、オーダー・タイプに対し定義されているパラメーターの定義、およびサンプル XML スキーマを示します。

### FUL オーダー・タイプ

FUL は、ファイルを銀行に送信するための標準オーダー・タイプです。このオーダー・タイプを使用すると、任意のフォーマットのファイルをトランスペアレントに転送できます。

#### アクセス

メールボックス

## 説明

ユーザーは、アップロード (FUL) オーダー要求を送信することによって、銀行とのアップロード・トランザクションを開始します。FUL オーダー・タイプは、銀行特有のダウンロード・オーダー・タイプです。

重要: FUL オーダー・タイプを使用して多数のラージ・ペイロード (例えば、200 MB) のデータを EBICS Server にアップロードする場合は、EBICS Client システム・プロパティの「各要求について新規 HTTP セッションを初期化」パラメーターを true に設定します。システム・プロパティを変更するには、82 ページの『システム・プロパティ値の更新』を参照してください。

## パラメーター

表 9. FUL パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは EBICS 仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、FUL がオーダー・タイプです。



表 9. FUL パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
FileFormat	オーダー・タイプに関連付けられているファイル・フォーマット。1 つのオーダーのタイプに複数のファイル形式を指定することもできますが、ファイル形式を指定しなくてもかまいません。FUL および FDL オーダー・タイプのファイル形式は、SWIFTNet 要求タイプをベースとします。
autoSubmit	このパラメーターは FUL オーダー・タイプにのみ適用可能です。このパラメーターを true に設定すると、必要な数の署名が取得された後、オーダーが自動的に送信されます。このパラメーターを false に設定すると、EBICS Client ユーザーは EBICS Client ダッシュボード・インターフェースにログインして、保留中タスクの画面にナビゲートし、必要な数の署名の取得後にオーダーを送信する必要があります。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>SUBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>SUBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>SUPKID</PartnerID>
  <UserID>SUUSER1</UserID>
  <SystemID>TECHUSER</SystemID>
  <orderIdPrefix>L</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>FUL</OrderType>
  <FileFormat>pain.xxx.cfonb160.dtg</FileFormat>
  <autoSubmit>true</autoSubmit>
</orderMetaData>
```

## パラメーター・リスト

「EBICS - 実装ガイド (フランス語版)」では、実際のファイルを銀行に転送する前に、ファイル転送をテストすることを勧めています。したがって、顧客ワークステーションには、実稼働環境に加えてテスト環境でファイルを転送するためのセットアップが必要です。テスト・ファイルと実動ファイルを区別するために、パラメーター名 TEST を FUL および FDL のオーダー・タイプの OrderParams タグに含めます。OrderParams タグは orderMetaData XML で設定できます。同様に、銀行および EBICS クライアントは、契約上の合意で定義されているパラメーターの相互理解に基づき、パラメーターと対応する値のリストを共有できます。

以下の例は、テスト・ファイルを転送するシナリオを示しています。このため、TEST の値は TRUE に設定されています。

```
<OrderParams>
  <ParameterList>
    <Parameter>
      <Name>TEST</Name>
      <Value>TRUE</Value>
```

```

    </Parameter>
    <Parameter>
    <Name>param2</Name>
    <Value>value2</Value>
    </Parameter>
    <Parameter>
    <Name>param3</Name>
    <Value>value3</Value>
    </Parameter>
  </ParameterList>
</OrderParams>

```

## FDL オーダー・タイプ

FDL は、ファイル・ダウンロードのための標準オーダー・タイプです。このオーダー・タイプを使用すると、任意のフォーマットのファイルをトランスペアレントに転送できます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

FDL オーダー・タイプは、銀行特有のダウンロード・オーダー・タイプです。ユーザーは、ダウンロード (FDL) オーダー要求を送信することによって、銀行とのダウンロード・トランザクションを開始します。

### パラメーター

表 10. FDL パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。

表 10. FDL パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、FDL がオーダー・タイプです。
FileFormat	オーダー・タイプに関連付けられているファイル・フォーマット。1 つのオーダーのタイプに複数のファイル形式を指定することもできますが、ファイル形式を指定しなくてもかまいません。FUL および FDL オーダー・タイプのファイル形式は、SWIFTNet 要求タイプをベースとします。
DownloadDateRangeStart	オーダー・データのダウンロードの開始日。このパラメーターは、FDL オーダー・タイプにのみ適用されます。
DownloadDateRangeEnd	オーダー・データのダウンロードの終了日。このパラメーターは、FDL オーダー・タイプにのみ適用されます。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>USERPK12</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>U</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0000</SecurityMedium>
  <OrderType>FDL</OrderType>
  <FileFormat>pain.002.001.02.ack</FileFormat>
  <DownloadDateRangeStart></DownloadDateRangeStart>
  <DownloadDateRangeEnd></DownloadDateRangeEnd>
</orderMetaData>
```

## パラメーター・リスト

「EBICS - 実装ガイド (フランス語版)」では、実際のファイルを銀行に転送する前に、ファイル転送をテストすることを勧めています。したがって、顧客ワークステ

ーションには、実稼働環境に加えてテスト環境でファイルを転送するためのセットアップが必要です。テスト・ファイルと実動ファイルを区別するために、パラメーター名 TEST を FUL および FDL のオーダー・タイプの OrderParams タグに含めます。OrderParams タグは orderMetaData XML で設定できます。同様に、銀行および EBICS クライアントは、契約上の合意で定義されているパラメーターの相互理解に基づき、パラメーターと対応する値のリストを共有できます。

以下の例は、テスト・ファイルを転送するシナリオを示しています。このため、TEST の値は TRUE に設定されています。

```
<OrderParams>
<ParameterList>
<Parameter>
  <Name>TEST</Name>
  <Value>TRUE</Value>
</Parameter>
<Parameter>
  <Name>param2</Name>
  <Value>value2</Value>
</Parameter>
<Parameter>
  <Name>param3</Name>
  <Value>value3</Value>
</Parameter>
</ParameterList>
</OrderParams>
```

## INI オーダー・タイプ

EBICS Client ユーザーは、INI (初期化) オーダー・タイプを使用して、電子署名のための公開鍵を銀行と共有します。

### アクセス

メールボックス

### 説明

INI はアップロード鍵管理オーダー・タイプです。INI は、サブスクライバーの初期化で使用されます。INI を使用して、顧客の銀行特有パブリック証明書を銀行に送信します。オーダー・データは圧縮され、Base64 でエンコードされます。

自己署名証明書は、電子署名に使用できないため、ユーザー初期化 (INI オーダー・タイプ) には使用できません。識別と認証、および暗号化に自己署名証明書を使用している EBICS Client ユーザーは、電子署名には CA 証明書を使用する必要があります。

### パラメーター

表 11. INI パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。

表 11. INI パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。INI オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は systemID の値と同じです。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、INI がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>SUBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>SUBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>SUPKID</PartnerID>
  <UserID>TECHUSER</UserID>
  <SystemID>TECHUSER</SystemID>
  <orderIdPrefix>S</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>INI</OrderType>
</orderMetaData>
```

## HIA オーダー・タイプ

EBICS Client ユーザーは、HIA オーダー・タイプを通じて、識別、認証、および暗号化用の公開鍵を銀行と共有します。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HIA はアップロード鍵管理オーダー・タイプです。HIA は、識別、認証、および暗号化用のユーザー・パブリック証明書を送信して、ユーザーが銀行とトランザクションを開始できるようにするために使用されます。オーダー・データは圧縮され、Base64 でエンコードされます。

### パラメーター

表 12. HIA パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。HIA オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は systemID の値と同じです。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。

表 12. HIA パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
SecurityMedium	0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HIA がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>SUBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>SUBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>SUPKID</PartnerID>
  <UserID>TECHUSER</UserID>
  <SystemID>TECHUSER</SystemID>
  <orderIdPrefix>W</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0000</SecurityMedium>
  <OrderType>HIA</OrderType>
</orderMetaData>
```

## H3K オーダー・タイプ

H3K オーダー・タイプを使用して、電子署名、識別と認証、および暗号化のためのパブリック証明書を銀行と共有することができます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

H3K は、アップロード鍵管理オーダー・タイプです。H3K は、電子署名、識別と認証、および暗号化のためのユーザー・パブリック証明書を送信して、ユーザーが銀行との取引を開始できるようにするために使用されます。

### パラメーター

表 13. H3K のパラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。

表 13. H3K のパラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。H3K オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行者である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は SystemID の値と同じです。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、H3K がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:ns2="partnerInfo">
  <HostID>SUBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>SUBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>SUPKID</PartnerID>
  <UserID>TECHUSER</UserID>
  <SystemID>TECHUSER</SystemID>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>H3K</OrderType>
</orderMetaData>
```

## HPB オーダー・タイプ

EBICS Client ユーザーは、HPB オーダー・タイプを使用して、銀行のパブリック証明書をダウンロードします。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HPB はダウンロード鍵管理オーダー・タイプです。ユーザーは HPB オーダー要求を送信して、銀行のパブリック証明書をダウンロードします。ユーザーの認証鍵と識別鍵の検証が正常に完了したら、銀行は HPB 応答を送信します。HPB 応答には、公開銀行鍵が含まれます。ユーザーは、内部生成されたハッシュ値と照合して、銀行鍵を検証します。検証が正常に完了すると、銀行の状況は「アクティブ」に変わり、パートナーとそのパートナーに関連付けられているユーザーが銀行と取引を行えるようになります。

オーダー・データは圧縮および暗号化され、Base64 でエンコードされます。応答メッセージおよびオーダー・データは署名されません。



## パラメーター

表 14. HPB パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。サブスクライバーの銀行特有鍵のセキュリティー手段は 0000 に設定されます。これは、HPB オーダーで電子署名が不要であるため、または銀行特有サブスクライバー・キーを送信しないためです。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HPB がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIASES</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
```

```

<UserID>UH2LCMC1</UserID>
<SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
<orderIdPrefix>C</orderIdPrefix>
<SecurityMedium>0000</SecurityMedium>
<OrderType>HPB</OrderType>
</orderMetaData>

```

## HKD オーダー・タイプ

ユーザーは、HKD オーダー・タイプを使用して、顧客データおよびサブスクライバー・データをダウンロードできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HKD はダウンロード鍵管理オーダー・タイプです。HKD オーダー・タイプを使用して、銀行が保管するパートナーおよび関連サブスクライバーに関する情報 (所属会社についての情報を含む) をダウンロードします。オーダー・データは圧縮され、Base64 でエンコードされます。

### パラメーター

表 15. HKD パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。

表 15. HKD パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HKD がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>USERPK12</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>H</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>HKD</OrderType>
</orderMetaData>
```

## HTD オーダー・タイプ

ユーザーは、HTD オーダー・タイプを使用して、顧客データおよびサブスクライバー・データをダウンロードできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HTD はダウンロード鍵管理オーダー・タイプです。サブスクライバーは、HTD を使用して、銀行が保管した、サブスクライバーの会社またはサブスクライバー自体に関する情報を取得できます。ただし、HKD と異なり、サブスクライバーは会社の他のサブスクライバーに関する情報は取得できません。オーダー・データは圧縮され、Base64 でエンコードされます。

## パラメーター

表 16. HTD パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HTD がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>USERPK12</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>Z</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0000</SecurityMedium>
  <OrderType>HTD</OrderType>
</orderMetaData>
```

## HEV オーダー・タイプ

ユーザーは、HEV オーダー・タイプを使用して、銀行でサポートされている EBICS バージョンをダウンロードできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HEV はダウンロード鍵管理オーダー・タイプです。ユーザーは、HEV 要求を送信して、銀行がサポートする EBICS バージョンのリストを提供するよう銀行に要求します。銀行は、サポートする EBICS バージョンと関連スキーマのバージョンのリストを含む応答を提供します。

### パラメーター

表 17. HEV パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HEV がオーダー・タイプです。

### XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>USERPK12</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <OrderType>HEV</OrderType>
</orderMetaData>
```

## PUB オーダー・タイプ

PUB オーダー・タイプを使用して、署名検査用の公開鍵を送信します。

### アクセス

メールボックス

### 説明

PUB は、顧客の証明書を更新するため、および銀行特有パブリック証明書を銀行に送信するために使用されるアップロード鍵管理オーダー・タイプです。オーダー・データは署名、圧縮、および暗号化され、Base64 でエンコードされます。

### パラメーター

表 18. PUB パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。PUB オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は systemID の値と同じです。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。

表 18. PUB パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。サブスクライバーの銀行特有鍵のセキュリティ手段は 0000 に設定されます。これは、HPB オーダーで電子署名が不要であるため、または銀行特有サブスクライバー・キーを送信しないためです。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、PUB がオーダー・タイプです。
UserSignNewPubKeyAlias	ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) 証明書の公開鍵の別名。
UserSignNewPubKeyID	ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) パブリック証明書の ID。
UserSignNewPriKeyAlias	ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) 証明書の秘密鍵の別名。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合、このパラメーターを設定します。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。
UserSignNewPriKeyID	ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) プライベート証明書の ID。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合、このパラメーターを設定します。
UserNewSignatureVersion	ユーザー用に更新する新しい電子署名の鍵バージョン。有効な値は A005 または A006 です。電子署名にハードウェア鍵ストアを使用している場合は、鍵バージョンが A005 に設定され、変更はできません。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUr1Alias>BNKLCMC1_URL_ALIASE</HostUr1Alias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>UH2LCMC1</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>G</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>PUB</OrderType>
  <UserSignNewPubKeyAlias>CAEBSignBSaiPub</UserSignNewPubKeyAlias>
  <UserSignNewPubKeyID>b1rgis1n32:node1:12e961909b2:10417097</UserSignNewPubKeyID>
  <UserSignNewPriKeyAlias>CAEBSignBSaiPri</UserSignNewPriKeyAlias>
  <UserSignNewPriKeyID>b1rgis1n32:node1:12e961909b2:10415111</UserSignNewPriKeyID>
  <UserNewSignatureVersion>A005</UserNewSignatureVersion>
</orderMetaData>
```

## HCS オーダー・タイプ

HCS オーダー・タイプを使用して、電子署名、識別と認証、および暗号化のためのサブスクライバー・キーを修正します。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HCS はアップロード鍵管理オーダー・タイプです。HCS は、単一のトランザクションで 3 つすべての鍵を修正できるようにするために導入されました。3 つの鍵には、銀行特有電子署名 (PUB)、識別と認証署名、および暗号化 (HCA) が含まれます。したがって、オーダー・タイプ HCS は PUB および HCA により構成されます。HCS の代わりにオーダー・タイプ PUB および HCA を使用できます。

### パラメーター

表 19. HCS パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。HCS オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は systemID の値と同じです。



表 19. HCS パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	<p>EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。</p> <p>このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。</p>
SecurityMedium	<p>0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。サブスクライバーの銀行特有鍵のセキュリティー手段は 0000 に設定されます。これは、HPB オーダーで電子署名が不要であるため、または銀行特有サブスクライバー・キーを送信しないためです。</p>
OrderType	<p>送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HCS がオーダー・タイプです。</p>
UserSignNewPubKeyAlias	<p>ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) 証明書の公開鍵の別名。</p>
UserSignNewPubKeyID	<p>ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) パブリック証明書の ID。</p>
UserSignNewPriKeyAlias	<p>ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) 証明書の秘密鍵の別名。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合、このパラメーターを設定します。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。</p>
UserSignNewPriKeyID	<p>ユーザー用に更新する新しい電子署名 (ES) プライベート証明書の ID。電子署名にハードウェア鍵を使用しない場合、このパラメーターを設定します。</p>
UserAuthNewPubKeyAlias	<p>ユーザー用に更新する新しい認証パブリック証明書の別名。EBICS Client からの要求でユーザーの許可を検証するためにユーザーが銀行に提供する公開鍵。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。</p>
UserAuthNewPubKeyID	<p>ユーザー用に更新する新しい認証パブリック証明書の ID。</p>

表 19. HCS パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
UserAuthNewPriKeyAlias	ユーザー用に更新する新しい認証プライベート証明書の別名。銀行に送信される要求でユーザーのデジタル署名を作成するために EBICS Client が使用する秘密鍵。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。
UserAuthNewPriKeyID	ユーザー用に更新する新しい認証プライベート証明書の ID。
UserEncrNewPubKeyAlias	ユーザー用に更新する新しい暗号化パブリック証明書の別名。暗号化プライベート証明書として選択されたシステム証明書のパブリック部分。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。
UserEncrNewPubKeyID	ユーザー用に更新する新しい暗号化パブリック証明書の ID。
UserEncrNewPriKeyAlias	ユーザー用に更新する新しい暗号化プライベート証明書の別名。EBICS Client が銀行から受信した応答を暗号化解除するために使用する秘密鍵。
UserEncrNewPriKeyID	ユーザー用に更新する新しい暗号化プライベート証明書の ID。
UserNewSignatureVersion	ユーザー用に更新する新しい電子署名の鍵バージョン。有効な値は A005 または A006 です。電子署名にハードウェア鍵ストアを使用している場合は、鍵バージョンが A005 に設定され、変更はできません。
UserNewAuthVersion	認証証明書の鍵バージョンは X002 です。
UserNewEncVersion	暗号化証明書の鍵バージョンは E002 です。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUr1Alias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUr1Alias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>UH2LCMC1</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>J</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>HCS</OrderType>
  <UserSignNewPubKeyAlias>CAEBSignASaiPub</UserSignNewPubKeyAlias>
  <UserSignNewPubKeyID>b1rgisl32:node1:12e961909b2:10416964</UserSignNewPubKeyID>
  <UserSignNewPriKeyAlias>CAEBSignASaiPriv</UserSignNewPriKeyAlias>
  <UserSignNewPriKeyID>b1rgisl32:node1:12e961909b2:10414702</UserSignNewPriKeyID>
  <UserAuthNewPubKeyAlias>CAEBAAuthSaiPub</UserAuthNewPubKeyAlias>
  <UserAuthNewPubKeyID>b1rgisl32:node1:12e961909b2:10416444</UserAuthNewPubKeyID>
  <UserAuthNewPriKeyAlias>CAEBAAuthSaiPriv</UserAuthNewPriKeyAlias>
  <UserAuthNewPriKeyID>b1rgisl32:node1:12e961909b2:10413399</UserAuthNewPriKeyID>
  <UserEncrNewPubKeyAlias>CAEBEncrSaiPub</UserEncrNewPubKeyAlias>
  <UserEncrNewPubKeyID>b1rgisl32:node1:12e961909b2:10416577</UserEncrNewPubKeyID>
```

```

<UserEncrNewPriKeyAlias>CAEBEncrSaiPriv</UserEncrNewPriKeyAlias>
<UserEncrNewPriKeyID>blrgislin32:node1:12e961909b2:10414316</UserEncrNewPriKeyID>
<UserNewSignatureVersion>A005</UserNewSignatureVersion>
<UserNewAuthVersion>X002</UserNewAuthVersion>
<UserNewEncVersion>E002</UserNewEncVersion>
</orderMetaData>

```

## HCA オーダー・タイプ

HCA オーダー・タイプを使用して、識別、認証、および暗号化のためのサブスクライバー・キーの修正を送信します。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HCA は、識別、認証、および暗号化のための顧客の証明書を更新するために使用されるアップロード鍵管理オーダー・タイプです。オーダー・データは署名、圧縮、および暗号化され、Base64 でエンコードされます。

### パラメーター

表 20. HCA パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。HCA オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は systemID の値と同じです。

表 20. HCA パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	<p>EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。</p> <p>このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。</p>
SecurityMedium	<p>0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。INI、HIA、および HPB オーダー・タイプの場合、値を変更できません。サブスクライバーの銀行特有鍵のセキュリティ手段は 0000 に設定されます。これは、HPB オーダーで電子署名が不要であるため、または銀行特有サブスクライバー・キーを送信しないためです。</p>
OrderType	<p>送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HCA がオーダー・タイプです。</p>
UserAuthNewPubKeyAlias	<p>ユーザー用に更新する新しい認証パブリック証明書の別名。EBICS Client からの要求でユーザーの許可を検証するためにユーザーが銀行に提供する公開鍵。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。</p>
UserAuthNewPubKeyID	<p>ユーザー用に更新する新しい認証パブリック証明書の ID。</p>
UserAuthNewPriKeyAlias	<p>ユーザー用に更新する新しい認証プライベート証明書の別名。銀行に送信される要求でユーザーのデジタル署名を作成するために EBICS Client が使用する秘密鍵。銀行が権限を検証するには、キーの公開部分を所有している必要があります。</p>
UserAuthNewPriKeyID	<p>ユーザー用に更新する新しい認証プライベート証明書の ID。</p>
UserEncrNewPubKeyAlias	<p>ユーザー用に更新する新しい暗号化パブリック証明書の別名。暗号化プライベート証明書として選択されたシステム証明書のパブリック部分。取引パートナーおよびユーザーは、銀行と鍵を共有します。</p>
UserEncrNewPubKeyID	<p>ユーザー用に更新する新しい暗号化パブリック証明書の ID。</p>

表 20. HCA パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
UserEncrNewPriKeyAlias	ユーザー用に更新する新しい暗号化プライベート証明書の別名。EBICS Client が銀行から受信した応答を暗号化解除するために使用する秘密鍵。
UserEncrNewPriKeyID	ユーザー用に更新する新しい暗号化プライベート証明書の ID。
UserNewAuthVersion	認証証明書の鍵バージョンは X002 です。
UserNewEncVersion	暗号化証明書の鍵バージョンは E002 です。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCCM1</HostID>
  <HostUr1Alias>BNKLCCM1_URL_ALIASE</HostUr1Alias>
  <PartnerID>PH2LCCM1</PartnerID>
  <UserID>UH2LCCM1</UserID>
  <SystemID>UH2LCCM1</SystemID>
  <orderIdPrefix>E</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>HCA</OrderType>
  <UserAuthNewPubKeyAlias>CAEBAuthLMPub</UserAuthNewPubKeyAlias>
  <UserAuthNewPubKeyID>270:3290569:130ae100679:goldie:node1</UserAuthNewPubKeyID>
  <UserAuthNewPriKeyAlias>CAEBAuthLMPriv</UserAuthNewPriKeyAlias>
  <UserAuthNewPriKeyID>041:3289243:130ae100679:goldie:node1</UserAuthNewPriKeyID>
  <UserEncrNewPubKeyAlias>CAEBAEncrLMPub</UserEncrNewPubKeyAlias>
  <UserEncrNewPubKeyID>694:3292683:130ae100679:goldie:node1</UserEncrNewPubKeyID>
  <UserEncrNewPriKeyAlias>CAEBAEncrLMPriv</UserEncrNewPriKeyAlias>
  <UserEncrNewPriKeyID>167:3288453:130ae100679:goldie:node1</UserEncrNewPriKeyID>
  <UserNewAuthVersion>X002</UserNewAuthVersion>
  <UserNewEncVersion>E002</UserNewEncVersion>
</orderMetaData>
```

## HPD オーダー・タイプ

ユーザーは、HPD オーダー・タイプを使用して、銀行パラメーターをダウンロードできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HPD はダウンロード鍵管理オーダー・タイプです。サブスライバーは、銀行の特定アクセス (例えば、銀行の URL または IP アドレス、および銀行の指定) およびプロトコル・パラメーター (例えば、EBICS プロトコル・バージョン、リカバリー、事前検証、X.509 などのサポート) に関する情報を受け取ることができます。オーダー・データは署名、圧縮、および暗号化され、Base64 でエンコードされます。

## パラメーター

表 21. HPD パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。特有ユーザーは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行です。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HPD がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>USERPK12</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>J</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0000</SecurityMedium>
  <OrderType>HPD</OrderType>
</orderMetaData>
```

## SPR オーダー・タイプ

SPR オーダー・タイプを使用して、ユーザーのアクセス許可を使用停止にします。

### アクセス

メールボックス

### 説明

SPR はアップロード鍵管理オーダー・タイプです。複数の理由により、サブスクライバーと銀行の今後の取引を中断できます。ユーザーを使用停止にする主な理由の 1 つは、サブスクライバー・キーの漏えいです。サブスクライバー・キーが漏えいしている疑いがある場合、サブスクライバーは、ただちにこのキーを使用するすべての銀行システムへのアクセス許可を中断する必要があります。

SPR オーダー・タイプでは、追加のオーダー・データが危険にさらされることはないため、オーダー・ファイルはありません。中断状態にする EBICS Client ユーザーの電子署名が銀行に送信されます。オーダー・データはブランク文字です。署名は、標準アップロード・トランザクションと同様に、圧縮および暗号化され、Base64 でエンコードされます。

サブスクライバーと銀行の取引が中断状態になった後、サブスクライバーは INI オーダー・タイプと HIA オーダー・タイプの新しいセットを銀行に送信する必要があります。銀行により使用停止にされている場合、サブスクライバーは INI および HIA を使用して初期化を行うことはできません。使用停止を取り消すことができるのは銀行だけです。

### パラメーター

表 22. SPR パラメーター

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
SystemID	特有ユーザーのユーザー ID。SPR オーダー・タイプは、非特有ユーザーまたはヒューマン・ユーザーの代行である特有ユーザーが送信できます。したがって、UserID の値は systemID の値と同じです。

表 22. SPR パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、SPR がオーダー・タイプです。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <HostID>BNKLCMC1</HostID>
  <HostUrlAlias>BNKLCMC1_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <PartnerID>PH2LCMC1</PartnerID>
  <UserID>UH2LCMC1</UserID>
  <SystemID>UH2LCMC1</SystemID>
  <orderIdPrefix>K</orderIdPrefix>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <OrderType>SPR</OrderType>
</orderMetaData>
```

## HVD オーダー・タイプ

ユーザーは、HVD オーダー・タイプを使用して、VEU オーダーの状態を取得できます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HVD は、分散署名用のダウンロード・オーダー・タイプです。HVD オーダー・タイプを使用して、VEU 処理に現在あり、サブスクライバーが署名者として許可されているオーダーの状態を取得します。HVD では、オーダーのハッシュ値が取得されます。



## パラメーター

表 23. HVD パラメーター

パラメーター	説明と値
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HVD がオーダー・タイプです。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。
VEUOrderSeqID	HVD 詳細を取得するトランザクションのシーケンス ID。EBICS Client はトランザクションにシーケンス ID を割り当てます。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <OrderType>HVD</OrderType>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <VEUOrderSeqID>39132G7e0939003jffj34535536657</VEUOrderSeqID>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
</orderMetaData>
```

## HVE オーダー・タイプ

ユーザーは、HVE オーダー・タイプを使用して、VEU 署名を追加できます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HVE は、分散署名用のアップロード・オーダー・タイプです。HVE オーダー・タイプを使用して、許可用の銀行特有署名を VEU 処理用のオーダーに追加します。署名データは圧縮および暗号化され、Base64 でエンコードされます。

## パラメーター

表 24. HVE パラメーター

パラメーター	説明と値
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。

表 24. HVE パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HVE がオーダー・タイプです。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
Product	EBICS Client アプリケーションの商品。
productLang	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と指定します。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
OrigPartnerID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーに関連付けられたパートナー ID。
OrigOrderID	署名が適用されるオーダーのオーダー ID。
OrigOrderType	署名が適用されるオーダーのオーダー・タイプ。
VeumessageDigest	オーダー・データのハッシュ値を送信するためのメッセージ・ダイジェストを指定します。ハッシュ値は、銀行に電話またはメールで要求できます。銀行は、代替通信モード (例えば、E メール) で、オーダー・データのハッシュ値を送信します。

表 24. HVE パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
PAYLOADMSGID	メールボックスから完全なペイロードを送信するためのペイロード・メッセージの ID を指定します。ペイロードは、銀行に電話またはメールで要求できます。銀行は、EBICS Client メールボックスにペイロードを送信します。
VEUOrderSeqID	HVE を使用して署名を適用するトランザクションのシーケンス ID。EBICS Client はトランザクションにシーケンス ID を割り当てます。

## XML スキーマ

以下の XML スキーマは、VEU メッセージ・ダイジェストを使用した HVE の使用を示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <PartnerID>PARTNERPK55</PartnerID>
  <HostID>HOSTBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>HOSTBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <OrderType>HVE</OrderType>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <Product>IBM EBICS Client</Product>
  <productLang>EN</productLang>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <UserID>USERPK55</UserID>
  <OrigPartnerID>PARTNERPK56</OrigPartnerID>
  <OrigOrderID>V234</OrigOrderID>
  <OrigOrderType>C2X</OrigOrderType>
  <VeuMessageDigest>uU0nuZNNPgilLlLX2n2r+sSE7+N6U4DukIj3r0Lvzek=</VeuMessageDigest>
</orderMetaData>
```

以下の XML スキーマは、ペイロード全体がメールボックスで使用できる場合の、ペイロード・メッセージ ID を使用した HVE の使用を示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <PartnerID>PARTNERPK55</PartnerID>
  <HostID>HOSTBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>HOSTBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <OrderType>HVE</OrderType>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <Product>IBM EBICS Client</Product>
  <productLang>EN</productLang>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <UserID>USERPK55</UserID>
  <PAYLOADMSGID>71</PAYLOADMSGID>
  <OrigPartnerID>PARTNERPK56</OrigPartnerID>
  <OrigOrderID>V568</OrigOrderID>
  <OrigOrderType>C2S</OrigOrderType>
</orderMetaData>
```

以下の XML スキーマは、VEU オーダー・シーケンス ID を使用した HVE の使用を示しています。HVE の適用前に、VEU ダウンロード・オーダー・タイプを使用して銀行からオーダー詳細が取得されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <OrderType>HVE</OrderType>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <VEUOrderSeqID>39132G7e0939003jffj34535536657</VEUOrderSeqID>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
</orderMetaData>
```

## HVS オーダー・タイプ

ユーザーは、HVS オーダー・タイプを使用して、VEU 処理から既存のオーダーを完全にキャンセルできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HVS は、分散署名用のアップロード・オーダー・タイプです。VEU 処理から既存のオーダーを永久にキャンセルするには、HVS オーダー・タイプを使用します。サブスクライバーは HVS 要求を送信してオーダーをキャンセルし、オーダー・データのハッシュ値を使用してキャンセルに必要な銀行特有署名を送信します。HVS 応答には VEU 固有のデータは含まれません。

### パラメーター

表 25. HVS パラメーター

パラメーター	説明と値
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HVS がオーダー・タイプです。

表 25. HVS パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	<p>EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。</p> <p>このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。</p>
Product	EBICS Client アプリケーションの商品。
productLang	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と指定します。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
OrigPartnerID	アップロードされたオーダー・タイプを送信したユーザーに関連付けられたパートナー ID。
OrigOrderID	署名が適用されるオーダーのオーダー ID。
OrigOrderType	署名が適用されるオーダーのオーダー・タイプ。
VeumessageDigest	オーダー・データのハッシュ値を送信するためのメッセージ・ダイジェストを指定します。ハッシュ値は、銀行に電話またはメールで要求できます。銀行は、代替通信モード (例えば、E メール) で、オーダー・データのハッシュ値を送信します。
PAYLOADMSGID	メールボックスから完全なペイロードを送信するためのペイロード・メッセージの ID を指定します。ペイロードは、銀行に電話またはメールで要求できます。銀行は、EBICS Client メールボックスにペイロードを送信します。
VEUOrderSeqID	HVS を使用して署名を適用する、クライアントが割り当てたトランザクションのシーケンス ID。

## XML スキーマ

以下の XML スキーマは、VEU メッセージ・ダイジェストを使用した HVS の使用を示しています。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <PartnerID>PARTNERPK55</PartnerID>
  <HostID>HOSTBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>HOSTBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <OrderType>HVS</OrderType>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <Product>IBM EBICS Client</Product>
  <productLang>EN</productLang>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <UserID>USERPK55</UserID>
  <OrigPartnerID>PARTNERPK56</OrigPartnerID>
  <OrigOrderID>V234</OrigOrderID>
  <OrigOrderType>C2X</OrigOrderType>
  <VeuMessageDigest>uU0nuZNNPgillLX2n2r+sSE7+N6U4DukIj3r0Lvzek=</VeuMessageDigest>
</orderMetaData>

```

以下の XML スキーマは、ペイロード全体がメールボックスで使用できる場合の、ペイロード・メッセージ ID を使用した HVS の使用を示しています。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <PartnerID>PARTNERPK55</PartnerID>
  <HostID>HOSTBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>HOSTBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <OrderType>HVS</OrderType>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <Product>IBM EBICS Client</Product>
  <productLang>EN</productLang>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <UserID>USERPK55</UserID>
  <PAYLOADMSGID>71</PAYLOADMSGID>
  <OrigPartnerID>PARTNERPK56</OrigPartnerID>
  <OrigOrderID>V568</OrigOrderID>
  <OrigOrderType>C2S</OrigOrderType>
</orderMetaData>

```

以下の XML スキーマは、VEU オーダー・シーケンス ID を使用した HVS の使用を示しています。HVS の適用前に、VEU ダウンロード・オーダー・タイプを使用して銀行からオーダー詳細が取得されます。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <OrderType>HVS</OrderType>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <VEUOrderSeqID>39132G7e0939003jffj34535536657</VEUOrderSeqID>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
</orderMetaData>

```

## HVT オーダー・タイプ

ユーザーは、HVT オーダー・タイプを使用して、ユーザーが署名者として許可されているオーダーに関する詳細情報を VEU 処理から取得できます。

### アクセス

メールボックス

## 説明

HVT は、分散署名用のダウンロード・オーダー・タイプです。HVT オーダー・タイプを使用して、VEU 処理からオーダーに関するトランザクション詳細を取得します。

## パラメーター

表 26. HVT パラメーター

パラメーター	説明と値
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HVT がオーダー・タイプです。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号。
VEUOrderSeqID	HVT を使用してトランザクション詳細をダウンロードするトランザクションのシーケンス ID。EBICS Client はトランザクションにシーケンス ID を割り当てます。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
completeOrderData	completeOrderData 属性が true に設定されている場合、ユーザーは完全なオーダー・ファイルを受信するための要求を送信します。completeOrderData 属性が false に設定されている場合、ユーザーは特定の詳細 (口座詳細、実装期限、金額、その他の説明など) を受信するための要求を送信します。
fetchLimit	completeOrderData 属性が false に設定されている場合に、送信されるオーダー詳細の最大数。デフォルト値は 100 です。有効な値は、任意の負ではない整数です。取り出す詳細の数を無制限にするには、0 を指定します。一度に 100 件を超える詳細を取得することはできませんが、これは理想的ではありません。

表 26. HVT パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
fetchOffset	送信するトランザクション詳細の開始ポイントを示す、元のオーダー・ファイル内のオフセット位置。completeOrderData 属性が false に設定されている場合、このオフセット位置は、特定の順序の連続番号に適用されます。デフォルト値は 0 です。有効な値は、任意の負ではない整数です。100 件を超えるレコードを取得するには、最初の 100 件のレコードを取得するために「オフセットの取り出し」を 0 に設定してから、次の 100 件のレコードを取得するために「オフセットの取り出し」を 101 に設定します。必要に応じて続行します。

## XML スキーマ

以下のサンプル XML は、completeOrderData 属性が true に設定されている場合の HVT オーダー・タイプの使用法を示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <OrderType>HVT</OrderType>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <VEUOrderSeqID>39132G7e0939003jffj34535536657</VEUOrderSeqID>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <completeOrderData>true</completeOrderData>
</orderMetaData>
```

以下のサンプル XML は、completeOrderData 属性が false に設定されている場合の HVT オーダー・タイプの使用法を示しています。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData>
  <OrderType>HVT</OrderType>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <VEUOrderSeqID>39132G7e0939003jffj34535536657</VEUOrderSeqID>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <completeOrderData>false</completeOrderData>
  <fetchLimit>5</fetchLimit>
  <fetchOffset>2</fetchOffset>
</orderMetaData>
```

## HVU オーダー・タイプ

ユーザーは、HVU オーダー・タイプを使用して、ユーザーが署名者として許可されているオーダーをリストできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HVU は、分散署名用のダウンロード・オーダー・タイプです。HVU オーダー・タイプを使用して VEU の概要をダウンロードします。HVU 要求では、サブスクラ



イバーは、サブスクライバーが署名者として許可されているオーダー・タイプのリストをオプションで送信します。

## パラメーター

表 27. HVU パラメーター

パラメーター	説明と値
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HVU がオーダー・タイプです。
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
Product	EBICS Client アプリケーションの商品。
productLang	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と指定します。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
VEUOrderTypes	HVU データを取得する XML リストの形式のオーダー・タイプ。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <PartnerID>PARTNERPK55</PartnerID>
  <HostID>HOSTBNKPK12</HostID>
```

```

<HostUrlAlias>HOSTBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
<OrderType>HVU</OrderType>
<orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
<Product>IBM EBICS Client</Product>
<productLang>EN</productLang>
<SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
<UserID>USERPK55</UserID>
<VEUOrderTypes>C2C C2S</VEUOrderTypes>
</orderMetaData>

```

## HVZ オーダー・タイプ

ユーザーは、HVZ オーダー・タイプを使用して、VEU の概要および追加情報をダウンロードできます。

### アクセス

メールボックス

### 説明

HVZ は、分散署名用のダウンロード・オーダー・タイプです。HVZ オーダー・タイプを使用して、VEU の概要および追加情報をダウンロードします。HVZ 要求では、サブスクライバーは、サブスクライバーが署名者として許可されているオーダー・タイプのリストをオプションで送信します。HVZ 応答オーダー・データには、表示ファイル要素を除く、HVU 応答オーダー・データおよび HVD 応答オーダー・データの全情報が含まれます。

### パラメーター

表 28. HVZ パラメーター

パラメーター	説明と値
PartnerID	ユーザー ID と関連したパートナー ID。
HostID	EBICS Client ユーザーがオーダーを送信した銀行の銀行 ID またはホスト ID。これは銀行のシステムにおける銀行の固有 ID です。
HostUrlAlias	銀行プロファイルを構成するときに、複数のホスト URL を指定し、そのうち 1 つのホスト URL をデフォルトとして設定できます。要求をデフォルト URL ではないホスト URL に送信する場合、このパラメーターの値を指定します。
OrderType	送信するオーダーのオーダー・タイプ。この場合、HVZ がオーダー・タイプです。

表 28. HVZ パラメーター (続き)

パラメーター	説明と値
orderIdPrefix	EBICS Client は、銀行、ユーザー ID、およびオーダーのタイプに基づいて各オーダーに固有のオーダー ID を割り振ります。クライアントは、EBICS の仕様に従ってオーダー ID を生成します。オーダー ID は、4 桁の英数字 ID です。オーダー ID の先頭文字は指定できます。オーダー ID の 2、3 および 4 番目の文字は、昇順の英数字 (A から Z、または 0 から 9) です。  このパラメーターは EBICS プロトコル・バージョン H003 のみで使用されます。
Product	EBICS Client アプリケーションの商品。
productLang	使用する EBICS Client アプリケーションの言語設定。例えば、言語を英語に設定する場合、EN と指定します。
SecurityMedium	0000 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティ番号。
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
VEUOrderTypes	HVZ データを取得する XML リストの形式のオーダー・タイプ。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<orderMetaData xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:noNamespaceSchemaLocation="new_omd.xsd">
  <PartnerID>PARTNERPK55</PartnerID>
  <HostID>HOSTBNKPK12</HostID>
  <HostUrlAlias>HOSTBNKPK12_URL_ALIAS</HostUrlAlias>
  <OrderType>HVZ</OrderType>
  <orderIdPrefix>V</orderIdPrefix>
  <Product>IBM EBICS Client</Product>
  <productLang>EN</productLang>
  <SecurityMedium>0200</SecurityMedium>
  <UserID>USERPK55</UserID>
  <VEUOrderTypes>C2X TST-Upload</VEUOrderTypes>
</orderMetaData>
```

## 保留タスク・アクション

taskMetaData XML を使用して、保留中のオーダーの署名または送信を行います。

### アクセス

メールボックス

## 説明

オフラーに定義されている構成設定によっては、オーダー・データを処理するために、複数の署名者がオーダーに署名する必要がある場合があります。必要な署名を取得せずにオーダーを処理のために送信した場合、EBICS Client ではそのオーダーは処理されません。署名者であるユーザー、またはオーダーの送信を許可されているユーザーは、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用して、保留中タスクのリストで特定オーダーを表示できます。

署名者であるユーザーは保留中のオーダーに署名する必要があります。必要な署名をすべて取得した後、送信者であるユーザーはオーダーを送信します。

## パラメーター

表 29. EBICSPendingTaskAction パラメーター

パラメーター	説明と値
UserID	銀行のシステムのユーザーの固有 ID。これは、EBICS Client ダッシュボードで作成されたユーザーに対応します。
OrderSeqId	オーダーの署名または送信が保留中のトランザクションのシーケンス ID。EBICS Client はトランザクションにシーケンス ID を割り当てます。
action	保留中のオーダーの署名や送信を実行できます。保留中のオーダーを送信する場合、パラメーターを submit に設定します。保留中のオーダーに署名する場合、パラメーターを sign に設定します。
isHSM	action パラメーターを sign に設定した場合に有効です。ユーザーは、オーダーに署名するために、適切なハードウェア・セキュリティー・キー情報を入力する必要があります。現在、EBICS Client では、3SKey を使用するハードウェア署名モジュール (HSM) のみがサポートされています。オーダーの署名のために API を使用して HSM を送信する場合、CEB_ORD_TASK_PEND 表は必ずその署名を使用して更新してください。

## XML スキーマ

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<taskMetaData>
  <UserID>userID</UserID>
  <OrderSeqId>orderSeqId</OrderSeqId>
  <action>submit</action>
  <isHSM>>false</isHSM>
</taskMetaData>
```

## HAC 処理

EBICS 顧客確認応答 (オーダー・タイプ HAC) が Sterling B2B Integrator でダウンロードされると、ステータスおよび理由コード情報を含むデータが EBICS 仕様 2.5 の定義に従い作成されます。

HAC オーダー・タイプは、送信済みオーダーの処理ステータスおよび詳細を提供する、クライアントへの特有確認応答です。これには、ファイルのアップロード、ダウンロード、または署名中に発生したすべてのアクションおよび結果が含まれ、ファイルの内容に関する情報が含まれる場合があります。

ユーザーが HAC 要求を直接開始することはありません。代わりに、HAC 要求は、HAC スケジューラーを使用してセットアップされた定義済みスケジュールに従い、Sterling B2B Integrator EBICS Client によって自動的に実行されます。各 HAC 応答により、前回の HAC 要求以後の、EBICS アクションおよびステータス情報の全履歴が提供されます。Sterling B2B Integrator により各 HAC 応答のデータが保管されます。

HAC データを表示するには、Sterling B2B Integrator で EBICS Client 「オーダー検索」ビューアーを使用するか、Sterling File Gateway で「EBICS 検索」を使用します。

検索結果には、以下の表に記載されている HAC アクションと理由コードが含まれている可能性があります。

表 30. HAC アクションおよび理由コード

HAC アクション	アクションのタイプ	理由コード	HAC 結果
ファイルを銀行に送信しました	FILE_UPLOAD	DS0C	ユーザーがロックされました/証明書が取り消されました
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		TA01	アップロードを中止しました
		TS01	正常にアップロードされました
ファイルを銀行からダウンロードしました	FILE_DOWNLOAD	DS0C	ユーザーがロックされました/証明書が取り消されました
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		TA01	ダウンロードを中止しました
		TD01	ダウンロードできるデータがありません
電子署名を銀行に送信しました	ES_UPLOAD	ID01	元のオーダー・フォルダーが以前に送信されていません (Original order folder has not been sent before)
		DS0C	ユーザーがロックされました/証明書が取り消されました
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		TA01	ES のアップロードが中止されました (Upload of ES aborted)
TS01	ES のアップロードが成功しました (Upload of ES successful)		

表 30. HAC アクションおよび理由コード (続き)

HAC アクション	アクションのタイプ	理由コード	HAC 結果
署名検査	ES_VERIFICATION	AM21	金額が制限を超えています
		DS01	正しい ES です
		DS0A	ES の数が不足しています
		DS0B	ES が誤っています
		DS0C	証明書が取り消されました/ユーザーがロックされました
		DS0D	証明書が無効です/公開鍵が非アクティブです
		DS0E	証明書がありません/公開鍵がありません
		DS0F	証明書の CA が不明です
		DS0G	署名者はこの操作に署名することを許可されていません
		DS0H	署名者はこのアカウントに署名することを許可されていません
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		DS10	最初の署名者の証明書が取り消されました
		DS11	最初の署名者の証明書が無効です
		DS12	最初の署名者の証明書がありません
		DS13	最初の署名者に対し CA が不明です
		DS14	ユーザー (署名者) がサーバーで不明です
		DS15	同じ ES が既に銀行に送信されています
		DS16	公開鍵のバージョンが誤っています
		DS17	オーダー・データと ES が一致しません
		DS18	オーダーの反復 (ファイルをテストできません)
		DS19	署名者の ES 権限が不十分です
		DS20	2 番目の署名者の証明書が取り消されました
		DS21	2 番目の署名者の証明書が無効です
		DS22	2 番目の署名者の証明書がありません
		DS23	2 番目の署名者に対し CA が不明です
		DS24	待ち時間が満了し、ファイルが銀行により削除されました
		DS25	ファイルが銀行により削除されました (複数の理由)
		DS26	同じユーザーが複数回署名しました
		DS27	ユーザー (署名者) がアクティブ化されていません
TD02	ファイルを読み取れません		
TD03	ファイル・フォーマットが無効です		
TS04	属性 "DZHNN" のファイル (ES 署名なし)		
VEU への転送	VEU_FORWARDING	DS06	オーダーが VEU に転送されました

表 30. HAC アクションおよび理由コード (続き)

HAC アクション	アクションのタイプ	理由コード	HAC 結果
VEU 署名検査	VEU_VERIFICATION	AM21	金額が制限を超えています
		DS01	正しい ES です
		DS0B	ES が誤っています
		DS0C	証明書が取り消されました/ユーザーがロックされました
		DS0D	証明書が無効です/公開鍵が非アクティブです
		DS0E	証明書がありません/公開鍵がありません
		DS0F	証明書の CA が不明です
		DS0G	署名者はこの操作に署名することを許可されていません
		DS0H	署名者はこのアカウントに署名することを許可されていません
		DS10	最初の署名者の証明書が取り消されました
		DS11	最初の署名者の証明書が無効です
		DS12	最初の署名者の証明書がありません
		DS13	最初の署名者に対し CA が不明です
		DS14	ユーザー (署名者) がサーバーで不明です
		DS15	同じ ES が既に銀行に送信されています
		DS16	公開鍵のバージョンが誤っています
		DS17	オーダー・データと ES が一致しません
		DS18	オーダーの反復 (ファイルをテストできません)
		DS19	署名者の ES 権限が不十分です
		DS20	2 番目の署名者の証明書が取り消されました
		DS21	2 番目の署名者の証明書が無効です
		DS22	2 番目の署名者の証明書がありません
		DS23	2 番目の署名者に対し CA が不明です
		DS24	待ち時間が満了し、ファイルが銀行により削除されました
		DS25	ファイルが銀行により削除されました (複数の理由)
		DS26	同じユーザーが複数回署名しました
		DS27	ユーザー (署名者) がアクティブ化されていません
TD02	ファイルを読み取れません		
TD03	ファイル・フォーマットが無効です		
VEU 署名検査の終わり	VEU_VERIFICATION_END	DS05	オーダーは正しく、後処理のために転送されました
VEU オーダーの取り消し	VEU_CANCEL_ORDER	DS02	オーダーは取り消されました
		DS03	オーダーは取り消されていません
HAC オーダーの終了 (肯定)	ORDER_HAC_FINAL_POS	未指定	オーダーが正常に処理されたことを示す最終指示。
HAC オーダーの終了 (否定)	ORDER_HAC_FINAL_NEG	未指定	オーダーの処理が失敗したことを示す最終指示。

## HAC スケジューリング

ユーザーが HAC 要求を直接開始することはありません。代わりに、HAC 要求は、EBICS Client 管理メニューの HAC スケジューリングを使用して定義されたスケジュールに従い、Sterling B2B Integrator EBICS Client によって自動的に実行されます。

HAC スケジューリングは、管理許可を持つ Sterling B2B Integrator ユーザー (管理者またはスーパー管理者) のみ使用可能です。

各 HAC スケジュールは、特定のユーザー ID を使用して、指定されたパートナー ID の HAC 要求を、指定された銀行 ID に送信します。HAC スケジュールには、HAC 要求の処理頻度、および収集されたデータをいつパージするかも定義されています。

HAC スケジュールを作成するには、パートナー IDごとに、「有効」状態で、タイプ HAC のオーダーの送信許可を持っているユーザー ID が少なくとも 1 つある必要があります。

スケジュールに入れられた HAC 要求が処理されると、EBICS オーダーの履歴データが収集され、HAC 応答で受信されます。各 HAC 応答により、前回の HAC 要求以後の、EBICS アクションおよびステータス情報の全履歴が提供されます。Sterling B2B Integrator により各 HAC 応答のデータが保管されます。

## HAC スケジュールの作成

Sterling B2B Integrator で HAC スケジュールを作成するには、EBICS Client 管理メニューの「HAC スケジューリング」を使用します。

### このタスクについて

制約事項: 管理許可を持つ Sterling B2B Integrator ユーザーのみが HAC スケジュールを作成できます。HAC スケジュールを作成するには、パートナー IDごとに、「有効」状態で、タイプ HAC のオーダーの送信許可を持っているユーザー ID が少なくとも 1 つある必要があります。

HAC スケジュールを作成するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニューから「**HAC** スケジューリング」を選択します。
3. 「HAC スケジュールの構成」ページで、「スケジュールの新規作成」の横の「実行」をクリックします。
4. 「作成: HAC スケジュール情報」ページで、以下の表の指示に従ってフィールドの値を指定します。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID)	ドロップダウン・リストから銀行 ID を選択します。
パートナー ID	ドロップダウン・リストから、銀行に関連付けられたパートナー ID を選択します。
ユーザー ID	ドロップダウン・リストから、ユーザーの ID を選択します。 制約事項: パートナー IDごとに、「有効」状態で、タイプ HAC のオーダーの送信許可を持つユーザー ID が少なくとも 1 つある必要があります。



フィールド	説明
セキュリティ・メディア (Security medium)	セキュリティ手段を入力します。
要求間隔	<p>ドロップダウン・リストから、以下の HAC 要求の送信間隔を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用不可</li> <li>• 5 分間隔</li> <li>• 15 分間隔</li> <li>• 30 分間隔</li> <li>• 1 時間間隔</li> <li>• 3 時間間隔</li> <li>• 6 時間間隔</li> <li>• 12 時間間隔</li> <li>• 毎日</li> <li>• 2 日間隔</li> </ul> <p>これにより、このユーザー ID を使用して、パートナー名の新規 HAC オークターが銀行 ID に送信されて、オークター処理の履歴データが収集される頻度が決定されます。</p> <p>各 HAC レポートには、最後の HAC 要求結果の発行以降のすべての新規オークター・アクティビティが含まれます。</p>

フィールド	説明
ページ有効期限	<p>ドロップダウン・リストから、収集された HAC レポート・データの有効期限を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし</li> <li>• 1 日後</li> <li>• 2 日後</li> <li>• 1 週間後</li> <li>• 2 週間後</li> <li>• 1 カ月後</li> </ul> <p>有効期限の切れた HAC データ・レコードは、次回自動ページ・プロセスを実行した時に、自動的にデータベースからページされます。自動ページの実行頻度は、EBICS Client システム・プロパティの「<b>HAC</b> パージ間隔 (分)」の設定によって制御されます。システム・プロパティについて詳しくは、82 ページの『システム・プロパティ値の更新』を参照してください。</p> <p><b>重要:</b> 「なし」を選択すると、その HAC データ・レコードは決して有効期限切れにならないため、データベースから自動的にページされません。必要なくなった時に手動でデータベース表から削除しない限り、それらのレコードは永久にデータベースに累積します。</p> <p>この選択は、将来収集される HAC データにのみ適用されます。この値が後で変更された場合、既にデータベース内にある HAC データは、それが収集され、データベースに保管された時に割り当てられた値を保持します。</p>

5. 「終了」をクリックします。

## HAC スケジュールの検索

Sterling B2B Integrator で HAC スケジュールを検索するには、EBICS Client 管理メニューの「HAC スケジューリング」を使用します。

### このタスクについて

HAC スケジュールを検索するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニューから「**HAC** スケジューリング」を選択します。
3. 「HAC スケジュールの構成」ページで、以下のいずれかを実行します。

- 「検索」の下の「銀行 (ホスト ID)」フィールドまたは「パートナー ID」フィールドに、銀行 ID またはパートナー ID の一部またはすべてを入力します。
  - 「リスト」の下の「アルファベット順」ドロップダウン・リストから、銀行 ID の先頭の文字または数字を選択します。すべての HAC スケジュールをリストするには、「すべて」を選択します。
4. 「実行」をクリックします。

## HAC スケジュールの表示

Sterling B2B Integrator で HAC スケジュールを表示するには、EBICS Client 管理メニューの「HAC スケジューリング」を使用します。

### このタスクについて

HAC スケジュールの設定を表示するには、以下の手順を実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニューから「**HAC** スケジューリング」を選択します。
3. 「HAC スケジュールの構成」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、編集する HAC スケジュールを見つけて選択し、「実行」をクリックします。
4. 表示する HAC スケジュールのパートナー名のリンクをクリックします。  
HAC スケジュールの設定が表示されます。

## HAC スケジュールの編集

Sterling B2B Integrator で HAC スケジュールを編集するには、EBICS Client 管理メニューの「HAC スケジューリング」を使用します。

### このタスクについて

制約事項: 管理許可を持つ Sterling B2B Integrator ユーザーのみが HAC スケジュールを編集できます。

HAC スケジュールを編集するには、以下の手順を実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニューから「**HAC** スケジューリング」を選択します。
3. 「HAC スケジュールの構成」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、編集する HAC スケジュールを見つけて選択し、「実行」をクリックします。
4. 編集する HAC スケジュールの横の「更新」アイコンをクリックします。
5. 「更新: HAC スケジュール情報」ページで、以下の表の指示に従ってフィールドの値を指定します。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID)	銀行 ID を表示します。編集できません。
パートナー ID	パートナー ID を表示します。編集できません。
ユーザー ID	ドロップダウン・リストから、ユーザーの ID を選択します。 制約事項: パートナー IDごとに、「有効」状態で、タイプ HAC のオーダーの送信許可を持つユーザー ID が少なくとも 1 つある必要があります。
セキュリティー・メディア (Security medium)	セキュリティー手段を入力します。
要求間隔	ドロップダウン・リストから、以下の HAC 要求の送信間隔を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用不可</li> <li>• 5 分間隔</li> <li>• 15 分間隔</li> <li>• 30 分間隔</li> <li>• 1 時間間隔</li> <li>• 3 時間間隔</li> <li>• 6 時間間隔</li> <li>• 12 時間間隔</li> <li>• 毎日</li> <li>• 2 日間隔</li> </ul> <p>これにより、このユーザー ID を使用して、パートナー名の新規 HAC オーダーが銀行 ID に送信されて、オーダー処理の履歴データが収集される頻度が決定されます。</p> <p>各 HAC レポートには、最後の HAC 要求結果の発行以降のすべての新規オーダー・アクティビティーが含まれます。</p>

フィールド	説明
ページ有効期限	<p>ドロップダウン・リストから、収集された HAC レポート・データの有効期限を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• なし</li> <li>• 1 日後</li> <li>• 2 日後</li> <li>• 1 週間後</li> <li>• 2 週間後</li> <li>• 1 カ月後</li> </ul> <p>有効期限の切れた HAC データ・レコードは、次回自動ページ・プロセスを実行した時に、自動的にデータベースからページされます。自動ページの実行頻度は、EBICS Client システム・プロパティの「<b>HAC</b> パージ間隔 (分)」の設定によって制御されます。システム・プロパティについて詳しくは、82 ページの『システム・プロパティ値の更新』を参照してください。</p> <p><b>重要:</b> 「なし」を選択すると、その HAC データ・レコードは決して有効期限切れにならないため、データベースから自動的にページされません。必要なくなった時に手動でデータベース表から削除しない限り、それらのレコードは永久にデータベースに累積します。</p> <p>この選択は、将来収集される HAC データにのみ適用されます。この値を変更しても、既にデータベース内に保管されている HAC データ・レコードには影響ありません。この変更は、新規値の割り当て後に収集され、保管されたデータにのみ影響します。既存のデータ・レコードは、それらが収集され、データベースに保管された時に割り当てられた値を保持します。</p>

6. 「終了」をクリックします。

## HAC スケジュールの削除

Sterling B2B Integrator で HAC スケジュールを削除するには、EBICS Client 管理メニューの「HAC スケジューリング」を使用します。

### このタスクについて

HAC スケジュールを削除するには、以下の手順を実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator EBICS Client にログインします。
2. 「管理」メニューから「**HAC** スケジューリング」を選択します。
3. 「HAC スケジュールの構成」ページで、「検索」または「リスト」を使用して、削除する HAC スケジュールを見つけ、選択します。
4. 「実行」をクリックします。
5. 削除する HAC スケジュールの横の「削除」アイコンをクリックします。

## タスクの結果

HAC スケジュールが削除されます。

HAC スケジュールを削除しても、データベース内の、既にダウンロード済みの HAC ステータス・データには影響はありません。これらのレコードは、HAC 要求が送信された時に HAC スケジュールに設定された個々のパージ有効期限日付になるまで表内に残ります。

---

## 戻りコード

EBICS Client を使用すると、戻りコードとイベント・メッセージを受け取る場合があります。

### イベントの戻りコード

次の表に、戻りコード、対応するイベント・メッセージ、および戻りコードの簡単な説明を示します。

表 31. イベントの戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2302	オーダー・データが圧縮されました	トランザクションのオーダー・データが圧縮されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2303	オーダー・データが暗号化されました	トランザクションのオーダー・データが暗号化されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2304	オーダー・データがエンコードされました	トランザクションのオーダー・データがエンコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2305	オーダー・データが署名されました	トランザクションのオーダー・データが署名されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2306	オーダー・データが圧縮解除されました	トランザクションのオーダー・データが圧縮解除されていることを示します。アクションは不要です。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2307	オーダー・データが暗号化解除されました	トランザクションのオーダー・データが暗号化解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2308	オーダー・データがデコードされました	トランザクションのオーダー・データがデコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2309	署名データが圧縮されました	トランザクションの署名データが圧縮されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2310	署名データが暗号化されました	トランザクションの署名データが暗号化されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2311	署名データがエンコードされました	トランザクションの署名データがエンコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2312	署名データが圧縮解除されました	トランザクションの署名データが圧縮解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2313	署名データが暗号化解除されました	トランザクションの署名データが暗号化解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2314	署名データがデコードされました	トランザクションの署名データがデコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2300	EBICS のパッケージ化に成功しました	オーダー・データのパッケージ化が成功したことを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2301	EBICS のパッケージ化に失敗しました	オーダー・データのパッケージ化が失敗したことを示します。パッケージ化が失敗する原因は、オーダー・データの圧縮の失敗、オーダー・データの暗号化の失敗、署名または暗号化で使用される誤った鍵などです。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースからイベント・ビューアーを使用してイベントのリストを確認してください。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2500	EBICS のアンパックに成功しました	オーダー・データのアンパックが成功したことを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2501	EBICS のアンパックに失敗しました	オーダー・データのアンパックが失敗したことを示します。アンパックの失敗の原因としては、オーダー・データの圧縮解除の失敗、オーダー・データの暗号化解除の失敗、署名検証で使用される誤った鍵が考えられます。 EBICS Client ダッシュボード・インターフェースからイベント・ビューアーを使用してイベントのリストを確認してください。
EBICSCL2318	有効な応答を受け取りました	オーダー・タイプ送信時にサーバーから有効な応答を受信したことを示します。
EBICSCL2319	無効な応答を受け取りました	サーバーが特定のオーダー要求に対して無効な応答を返したことを示します。応答について詳しくは、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースのイベント・ビューアーを使用してイベントのリストを表示し、特有戻りコードおよびビジネス戻りコードを確認してください。
EBICSCL2320	EBICS の初期化要求に成功しました	要求が初期化されたことを示します。
EBICSCL2321	EBICS のデータ転送要求に成功しました	データの転送要求を銀行が受け入れたことを示します。
EBICSCL2322	送信者権限がありません	オーダーを送信するユーザー許可がないことを示します。許可レベルを「T」に設定し、許可タイプを「送信者」に設定して、役割のユーザー許可を構成してください。
EBICSCL2323	アンパックされたデータのメールボックスへの書き込みに成功しました	データがアンパックされ、ユーザー・メールボックスに保管されたことを示します。



表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2324	アンパックされたデータのメールボックスへの書き込みに失敗しました	メールボックスへのアンパックされたデータの書き込みに失敗する原因としては、メールボックスにアクセスする許可が不適切であることが考えられます。詳細については、 <code>ebicsClient.log</code> ファイルを参照してください。
EBICSCL2325	許可者の保留タスクが作成されました	ユーザーに対して保留中のタスクが作成されたことを示します。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用して、署名する保留中タスクのリストを表示してください。
EBICSCL2326	送信者の保留タスクが作成されました	オーダーの送信を許可されているユーザーに対して、保留中のタスクが作成されたことを示します。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用して、送信する保留中タスクのリストを表示してください。
EBICSCL2327	許可者の署名生成に成功しました	署名待ちのために保留中のオーダーに署名者が署名し、その署名生成が成功したことを示します。
EBICSCL2328	許可者の署名生成に失敗しました	署名待ちのために保留中のオーダーに署名者が署名しましたが、その署名生成が失敗したことを示します。
EBICSCL2329	オーダー・タイプが無効です	指定されているオーダー・タイプが無効であることを示します。有効なオーダー・タイプを指定してください。
EBICSCL2330	ホスト ID が無効です	指定されているホスト ID または銀行 ID が無効であることを示します。有効なホスト ID を指定してください。
EBICSCL2331	パートナー ID とユーザー ID の組み合わせが無効です	ユーザー ID と関連するパートナー ID の組み合わせが無効であることを示します。ユーザー ID と関連するパートナー ID の有効な組み合わせを指定してください。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2332	システム ID が無効です	指定されているシステム ID が無効であることを示します。有効なシステム ID を指定してください。
EBICSCL2333	オーダー・メタデータで必須パラメーターが欠落しています	オーダー・メタデータの必須パラメーターが含まれていないことを示します。 ordermetadata.xml で欠落しているパラメーターを確認し、そのパラメーターの有効な値を指定してください。
EBICSCL2334	セキュリティー手段が無効です	セキュリティー手段に対して指定されている値が無効であることを示します。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。
EBICSCL2335	ワークフローで 1 次ドキュメントを解析できません	構成を再確認し、トランザクションを開始してください。
EBICSCL2336	銀行の暗号化公開鍵が見つかりません	有効な暗号鍵をアップロードしてください。
EBICSCL2337	使用する鍵を取得できませんでした	オーダー・データの署名または暗号化時に、別名に対する鍵を取得できませんでした。
EBICSCL2338	セグメントをホストにアップロードしました	オーダー・データのセグメントがサーバーに正常にアップロードされました。
EBICSCL2339	セグメントをホストからダウンロードしました	オーダー・データのセグメントがサーバーから正常にダウンロードされました。
EBICSCL2340	アップロードするセグメントの総数を計算しました	EBICS Client が、アップロードするオーダー・データのセグメントの総数を計算しました。
EBICSCL2341	ダウンロードするセグメントの総数を取得しました	EBICS Client が、ダウンロードするオーダー・データのセグメントの総数を受信しました。
EBICSCL2342	自動送信の値が無効です	自動送信に対して定義されている値が無効であり、オーダーを自動的に送信できないことを示します。autosubmit パラメーターに有効な値を入力してください。有効な値は true および false です。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2343	国別コードの値が無効です	国を示す略語が無効であることを示します。有効なフォーマットの国の略語を指定してください。
EBICSCL2344	ホストがまだアクティブではありません	銀行のサーバーがまだアクティブでないことを示します。 HPB オーダー・タイプを使用して銀行鍵をダウンロードし、その銀行鍵を検証してください。
EBICSCL2345	ユーザーがまだ有効ではありません	ユーザーに対するサブスクライバーの初期化がまだ完了していないことを示します。パートナーに関連するユーザーの INI レターおよび HIA レターを生成し、それらを検証のために銀行に送信してください。
EBICSCL2346	応答データのメールボックスへの書き込みに成功しました	銀行から受信した応答がメールボックスに正常に保管されたことを示します。
EBICSCL2347	応答データのメールボックスへの書き込みに失敗しました	メールボックスへの応答データの書き込みが失敗する原因としては、メールボックスにアクセスする許可が不適切であることが考えられます。詳細については、 ebicsClient.log ファイルを参照してください。
EBICSCL2348	メッセージのメールボックスへの配置でエラーが発生しました	メッセージをメールボックスにアップロードできなかったことを示します。
EBICSCL2349	サーバーから応答がありません	サーバーへの要求の送信時にサーバーが応答しなかったことを示します。
EBICSCL2350	サーバーからの応答が無効です	サーバーへの要求の送信時にサーバーが無効な応答を返したことを示します。
EBICSCL2392	HttpClient の必須パラメーターが欠落しています	構成済みの HTTP クライアント・アダプターの名前が NULL であるか、アダプター・プロパティが欠落しているか、ホストまたはポートが適切に構成されていないことを示します。SSL が有効の場合、CA 証明書は構成されません。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2393	HttpClient インスタンスが見つかりません	HTTP クライアント・アダプター・インスタンスが欠落していることを示します。
EBICSCL2394	サーバーとの HTTP セッションの終了でエラーが発生しました	サーバーとの HTTP セッションの終了時にエラーが発生したことを示します。このエラーの原因としては、有効なセッションが見つからなかったことが考えられます。
EBICSCL2395	ホストが見つかりません	ホストまたはポートが適切に構成されていないことを示します。
EBICSCL2396	ハンドシェイクが失敗しました	SSL を使用してサーバーに接続するときに、無効な証明書などが原因でその接続が失敗した可能性があります。
EBICSCL2398	指定されたホストへの接続を実行できませんでした	セッションは正常に開始されたにもかかわらず、クライアントがホストに接続できなかったことを示します。
EBICSCL2351	署名の鍵の長が無効です	署名で使用する銀行特有鍵の長が無効であることを示します。鍵の長さが 1536 ビット以上、4096 ビット以下であることを確認してください。  電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.5 を参照してください。
EBICSCL2352	認証の鍵の長が無効です	識別および認証で使用する銀行特有鍵の長が無効であることを示します。鍵の長さが 1024 ビット以上、16384 ビット以下であることを確認してください。  電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.5 を参照してください。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2353	暗号化の鍵の長さが無効です	暗号化で使用する銀行特有鍵の長さが無効であることを示します。鍵の長さが 1024 ビット以上、16384 ビット以下であることを確認してください。  電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.5 を参照してください。
EBICSCL2354	サーバーとの HTTP セッションの開始でエラーが発生しました	サーバーとの HTTP セッションの開始時にエラーが発生したことを示します。
EBICSCL2355	メッセージ ID が であるオーダー・メタデータ・ドキュメントの解析でエラーが発生しました	XML のフォーマットが正しいかどうか確認してください。
EBICSCL2356	指定されたユーザーの代行者となる許可が特有サブスクライバーにありません	特有ユーザーを構成し、その特有ユーザーを既存のユーザーに関連付けてください。
EBICSCL2357	メールボックスからメッセージを取得しようとしてエラーが発生しました	メールボックスからのメッセージの取得時にエラーが発生したことを示します。
EBICSCL2358	オーダー・メタデータ・ドキュメントの解析でエラーが発生しました	XML のフォーマットが正しいかどうか確認してください。
EBICSCL2359	署名申し込みが拒否されました	オーダーに対する署名要求が既に満たされているため、署名申し込みが拒否されたことを示します。
EBICSCL2360	送信申し込みが拒否されました	オーダーが銀行に既に送信されているため、送信申し込みが拒否されました。
EBICSCL2361	オーダー・メタデータ・ファイルが ZIP ファイルでないか、ZIP の中にファイルが存在しません	オーダー・メタデータ・ファイルが圧縮フォーマットであること、およびその zip ファイルの内容が有効であることを確認してください。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2362	オーダー・メタデータ ZIP の中に不正な数のファイルがあります	ordermetadata.zip ファイル内にあるファイルの数が正しくないことを示しています。例えば、バックエンドから FUL オーダー・タイプを送信するときに、zip ファイルにペイロード・データ、ordermetadata.xml、またはその両方が含まれていない場合などです。
EBICSCL2363	オーダー・メタデータ ZIP の中に ordermetadata.xml という名前のファイルがありません	zip ファイルに、ordermetadata.xml という名前のファイルが含まれていることを確認してください。
EBICSCL2364	オーダー・タイプが FUL であるオーダー・メタデータ ZIP の中にペイロード・ファイルがありません	zip ファイルにオーダー・タイプ FUL のペイロード・オーダー・データが含まれていることを確認してください。
EBICSCL2365	トランスポート URL などの必須トランスポート・パラメーターを取得しようとしてエラーが発生しました	ホスト URL の形式が誤っていること、またはクライアントがデータベースから HTTP 構成詳細を取得できないことを示しています。
EBICSCL2366	データの暗号化解除中にエラーが発生しました	データの暗号化解除時にエラーが発生しました。これには多くの原因が考えられます。例えば、誤った証明書で暗号化されたデータや、不完全な暗号化データなどが、このエラーを起こす可能性があります。
EBICSCL2367	データの暗号化中にエラーが発生しました	データの暗号化中にエラーが発生しました。これには多くの原因が考えられます。例えば、無効なキーや欠落しているキーがこのエラーを起こす可能性があります。
EBICSCL2368	XML 認証作成中にエラーが発生しました	このエラーの原因として考えられるのは、例えば、証明書が構成されていないことや、証明書を取得できないことなどです。
EBICSCL2369	XML 認証検証中にエラーが発生しました	このエラーの原因として考えられるのは、例えば、証明書が構成されていないことや、証明書を取得できないことなどです。

表 31. イベントの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2370	予期しない戻りコードがサーバーから返されました	サーバーがクライアント・データベースで定義されていないエラーを返しました。
EBICSCL2371	EBICS Client 内部エラー	EBICS 要求の処理時に内部エラーが発生しました。
EBICSCL2403	NIST 準拠エラーが発生しました	NIST 準拠エラーが発生しました。使用されているアルゴリズム/鍵の強さが、現在構成されている NIST 準拠モードにおいて、NIST に準拠しているかどうか確認してください。
EBICSCL2404	署名証明書が CA から発行されません	署名証明書が認証局 (CA) から発行されません。 IssuerDN: \${0}.
EBICSCL2405	EBICS プロトコル・バージョンが一致しません。サーバーは、オーダー・タイプが提示されたの異なるバージョンで応答します	EBICS プロトコル・バージョンが一致しません。オーダー・タイプ INI は H003 で提示されましたが、EBICS サーバーはプロトコル・バージョン H004 で応答を送信しました。

## HPB の戻りコード

表 32. HPB の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL1701	EBICS の HPB 要求作成に失敗しました	HPB 要求の作成時にエラーが発生しました。
EBICSCL1702	EBICS の HPB 要求作成に成功しました	HPB オーダー要求が正常に作成されました。
EBICSCL1703	EBICS の HPB 応答解析に失敗しました	HPB 応答の解析中にエラーが発生しました。
EBICSCL1704	EBICS の HPB 応答解析に成功しました	HPB 応答の解析が成功しました。
EBICSCL1705	EBICS の HPB 応答アンパックに成功しました	HPB 応答のアンパックが成功しました。
EBICSCL1706	EBICS の HPB 応答アンパックに失敗しました	HPB 応答のアンパック時にエラーが発生しました。
EBICSCL1707	EBICS の HPB 銀行証明書の保存に失敗しました	銀行鍵の保存時にエラーが発生しました。
EBICSCL1708	EBICS の HPB 銀行証明書の保存に成功しました	HPB 銀行鍵の保存が成功しました。

## 鍵の戻りコード

表 33. 鍵の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2372 から EBICSCL2381	使用する秘密鍵を取得できませんでした	<p>以下は、秘密鍵を取得できない原因として考えられるもののリストです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データベースでシステム証明書が見つからない。</li> <li>• 証明書が有効期限切れ。</li> <li>• 証明書が有効になっていない。</li> <li>• 証明書が保留中。</li> <li>• 証明書が取り消し済み。</li> <li>• チェーン内の証明書の発行者署名が無効。</li> <li>• CertPathValidation に失敗した。</li> <li>• 証明書でエラーが発生した。</li> <li>• 証明書の取り出しでエラーが発生した。</li> <li>• RSA 鍵ストアからの鍵の取り出しでエラーが発生した。</li> </ul>
EBICSCL2382 から EBICSCL2391	使用する公開鍵を取得できませんでした	<p>以下は、公開鍵を取得できない原因として考えられるもののリストです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• データベースで鍵が見つからない。</li> <li>• 証明書が有効期限切れ。</li> <li>• 証明書が有効になっていない。</li> <li>• 証明書が保留中。</li> <li>• 証明書が取り消し済み。</li> <li>• チェーン内の証明書の発行者署名が無効。</li> <li>• CertPathValidation に失敗した。</li> <li>• 証明書でエラーが発生した。</li> <li>• 証明書の取り出しでエラーが発生した。</li> <li>• RSA 鍵ストアからの鍵の取り出しでエラーが発生した。</li> </ul>



## オーダー ID の生成に関する戻りコード

表 34. オーダー ID の生成に関する戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL2399	オーダー ID の生成が再度初期化されました	オーダー ID の末尾の 3 つの英数字値 (000 から zzz の範囲) が 000 に再初期化されたことを示します。
EBICSCL2400	EBICS Client システムでオーダーのロギングに失敗しました	パートナー ID に対してオーダー ID がシステムに既に存在します。管理者に連絡して、必要な処置を確認してください。
EBICSCL2401	オーダー ID の生成に失敗しました	マルチノード・シナリオで、いずれかのノードがオーダー ID キャッシュを更新できず、その結果、特定オーダーに対してオーダー ID を生成できなかったことを示します。
EBICSCL2402	オーダー ID キャッシュの構成エラーが発生しました	システム・プロパティーでオーダー ID キャッシュの構成を確認してください。

## 特有戻りコード

表 35. 特有戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVT011000	[t011000] EBICS_DOWNLOAD_POSTPROCESS_DONE	サーバーからクライアントに送信される EBICS 応答の肯定応答。
ESRVT011001	[t011001] EBICS_DOWNLOAD_POSTPROCESS_SKIPPED	サーバーからクライアントに送信される EBICS 応答の否定応答。
ESRVT011101	[t011101] EBICS_TX_SEGMENT_NUMBER_UNDERRUN	クライアントが、アップロード・トランザクションで、(初期フェーズで指定されていた数に比べて) サーバーに送信するセグメントの数を非常に大きい数に設定していた場合、サーバーはそのトランザクションを強制終了します。
ESRVT031001	[t031001] EBICS_ORDER_PARAMS_IGNORED	指定された、銀行がサポートしていないオーダー・パラメーターが無視されました。
ESRVT061001	[t061001] EBICS_AUTHENTICATION_FAILED	銀行が EBICS 要求の識別および認証署名を検証できません。
ESRVT061002	[t061002] EBICS_INVALID_REQUEST	受信した EBICS XML メッセージが EBICS 仕様に準拠していません。

表 35. 特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVT061099	[t061099] EBICS_INTERNAL_ERROR	EBICS 要求の処理時に内部エラーが発生しました。
ESRVT061101	[t061101] EBICS_TX_RECOVERY_ 同期	銀行がトランザクション・リカバリーをサポートしている場合、銀行はアップロード・トランザクションをリカバリーできるかどうか検証します。トランザクションをリカバリーするために、サーバーとクライアントが同期されます。
ESRVT091002	[t091002] EBICS_INVALID_USER_ _OR_USER_STATE	ユーザー ID の無効な組み合わせ、または無効なサブスクライバー状態が原因でエラーが発生しました。
ESRVT091003	[t091003] EBICS_USER_ UNKNOWN	特有ユーザーの識別および認証署名は正常に検証されましたが、非特有サブスクライバーが銀行に認識されていません。
ESRVT091004	[t091004] EBICS_INVALID_ USER_STATE	特有ユーザーの識別および認証署名が正常に検証され、非特有サブスクライバーが銀行に認識されましたが、ユーザーが「有効」状態ではありません。
ESRVT091005	[t091005] EBICS_INVALID_ ORDER_TYPE	検証時に、指定のオーダー・タイプが無効であることを銀行が検出しました。
ESRVT091006	[t091006] EBICS_UNSUPPORTED_ ORDER_TYPE	検証時に、銀行が、指定のオーダー・タイプが有効である一方で、銀行でサポートされていないことを検出しました。
ESRVT091007	(H003 プロトコル) [t091007] EBICS_USER_ AUTHENTICATION_ _REQUIRED  (H004 プロトコル) [t091007] EBICS_DISTRIBUTED_ SIGNATURE_AUTHORISATION_ _FAILED	VEU 管理において、参照されているオーダーに対する署名権限がサブスクライバーにありません。
ESRVT091008	[t091008] EBICS_BANK_PUBKEY_ UPDATE_REQUIRED	銀行は、ユーザーが送信したハッシュ値を検証します。ハッシュ値が現在の公開鍵に一致しない場合、銀行はトランザクションの初期化を強制終了します。
ESRVT091009	[t091009] EBICS_SEGMENT_ SIZE_EXCEEDED	送信されたオーダー・データ・セグメントのサイズが 1 MB を超える場合、トランザクションは強制終了します。

表 35. 特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVT091010	[t091010] EBICS_INVALID_XML	XML スキーマが EBICS 仕様に準拠していません。
ESRVT091011	[t091011] EBICS_INVALID_HOST_ID	送信されたホスト ID を銀行が認識していません。
ESRVT091101	[t091101] EBICS_TX_UNKNOWN_TXID	指定されたトランザクション ID が無効です。
ESRVT091102	[t091102] EBICS_TX_ABORT	銀行がトランザクション・リカバリーをサポートしている場合、銀行はアップロード・トランザクションをリカバリーできるかどうか検証します。トランザクションをリカバリーできない場合、銀行はトランザクションを強制終了します。
ESRVT091103	[t091103] EBICS_TX_MESSAGE_REPLAY	リプレイを回避するために、銀行は、受信した nonce と、以前受信してローカルに保管している nonce 値のリストを比較します。受信した nonce が、銀行が指定する許容期間よりも大きい場合、応答 EBICS_TX_MESSAGE_REPLAY が返されます。
ESRVT091104	[t091104] EBICS_TX_SEGMENT_NUMBER_EXCEEDED	送信するオーダー・データ・セグメントのシリアル番号は、送信するデータ・セグメントの総数以下でなければなりません。送信するオーダー・データ・セグメントの番号がデータ・セグメントの総数を超える場合、トランザクションは強制終了します。
ESRVT091112	[t091112] EBICS_INVALID_ORDER_PARAMS	HVT 要求で、サブスクライバーは、VEU トランザクション詳細を取得するオーダーを指定します。HVT 要求は、送信するトランザクション詳細の開始ポイントを示す、元のオーダー・ファイル内のオフセット位置も指定します。指定されたオフセット位置の後のオーダー詳細が返されます。オフセットに指定されている値がオーダー詳細の総数より大きい場合、エラー EBICS_INVALID_ORDER_PARAMS が返されます。

表 35. 特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVT091113	[t091113] EBICS_INVALID_REQUEST_ CONTENT	EBICS 要求が、個別要求に対し指定されている XML スキーマ定義に準拠していません。
ESRVT091117	[t091117] EBICS_MAX_ORDER_DATA_ SIZE_EXCEEDED	銀行は要求されたオーダー・サイズをサポートしていません。
ESRVT091118	[t091118] EBICS_MAX_SEGMENTS_ EXCEEDED	非常に多くのセグメント数がアップロードのために送信されました。
ESRVT091119	[t091119] EBICS_MAX_ TRANSACTIONS _EXCEEDED	顧客あたりの並列トランザクションの最大数を超過しています。
ESRVT091120	[t091120] EBICS_PARTNER_ID_ MISMATCH	電子署名ファイルのパートナー ID が送信者のパートナー ID と異なります。
ESRVT091121	[t091121] EBICS_INCOMPATIBLE_ ORDER_ATTRIBUTE	指定されたオーダー属性は銀行システム内のオーダーと互換性がありません。銀行で、属性 DZHNN を含むファイル、または (例えば、属性 UZHNN を含む) 他の電子署名ファイルが同じオーダーに対してある場合、オーダー属性 DZHNN の使用は許可されません。また、銀行に同じオーダーが既にあり、オーダー属性 DZHNN を含むオーダーが送信された場合、オーダー属性 DZHNN の使用は再び許可されません。
(H004 プロトコル) ESRVT091219	[t091219] EBICS_CERTIFICATES_ _VALIDATION_ERROR	サーバーは、証明書を前に宣言された情報と自動的に適合させられません。

## 銀行特有戻りコード

表 36. 銀行特有戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVB011301	[b011301] EBICS_NO_ONLINE_ CHECKS	銀行は、オーダーの予備検証を原則的にサポートしませんが、EBICS 要求にはオーダーの予備検証用のデータが含まれます。

表 36. 銀行特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVB091001	[b091001] EBICS_DOWNLOAD_SIGNED_ONLY	銀行システムは、オーダー要求に対して銀行特有署名されたダウンロード・オーダー・データのみをサポートします。サブスクライバーがオーダー属性を DZHNN に設定し、銀行の電子署名なしのダウンロード・データを要求すると、トランザクションの初期化は強制終了します。
ESRVB091002	[b091002] EBICS_DOWNLOAD_UNSIGNED_ONLY	銀行システムは、オーダー要求の未署名のダウンロード・オーダー・データのみサポートしています。サブスクライバーが銀行の電子署名なしのオーダー・データのみをダウンロードできることについて合意が得られている場合、サブスクライバーがオーダー属性を OZHNN に設定し、銀行の電子署名付きのダウンロード・データを要求すると、トランザクションの初期化は強制終了します。
ESRVB090003	[b090003] EBICS_AUTHORISATION_ORDER_TYPE_FAILED	選択されたオーダー・タイプのオーダーを送信する資格がサブスクライバーにありません。サブスクライバーがオーダーに署名するための銀行特有許可を持っているかどうかを銀行が検査するとき、許可が欠落していると、トランザクションはキャンセルされます。
ESRVB090004	[b090004] EBICS_INVALID_ORDER_DATA_FORMAT	オーダー・データが指定のフォーマットに対応していません。
ESRVB090005	[b090005] EBICS_NO_DOWNLOAD_DATA_AVAILABLE	要求されたダウンロード・データが使用不可の場合、EBICS トランザクションは強制終了します。
ESRVB090006	[b090006] EBICS_UNSUPPORTED_REQUEST_FOR_ORDER_INSTANCE	一部のビジネス・トランザクションでは、オーダー・データの詳細情報を取得できません。
ESRVB091105	[b091105] EBICS_RECOVERY_NOT_SUPPORTED	銀行がトランザクション・リカバリーをサポートしていない場合、アップロード・トランザクションは強制終了します。
ESRVB091111	[b091111] EBICS_INVALID_SIGNATURE_FILE_FORMAT	送信された電子署名ファイルが定義されているフォーマットに準拠していません。

表 36. 銀行特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVB091114	[b091114] EBICS_ORDERID_UNKNOWN	検証で、オーダーが VEU 処理システムにないことを銀行が検出しました。
ESRVB091115	[b091115] EBICS_ORDERID_ALREADY_EXISTS	送信されたオーダー番号は既に存在しています。
ESRVB091116	[b091116] EBICS_PROCESSING_ERROR	EBICS 要求の処理時に、他のビジネス関連のエラーが発生しました。
ESRVB091201	[b091201] EBICS_KEYMGMT_UNSUPPORTED_VERSION_SIGNATURE	INI 要求の処理時に、オーダー・データに銀行特有署名プロセスの無効バージョンが含まれていました。
ESRVB091202	[b091202] EBICS_KEYMGMT_UNSUPPORTED_VERSION_AUTHENTICATION	HIA 要求の処理時に、オーダー・データに識別および認証署名プロセスの無効バージョンが含まれていました。
ESRVB091203	[b091203] EBICS_KEYMGMT_UNSUPPORTED_VERSION_ENCRYPTION	HIA 要求の処理時に、オーダー・データに暗号化プロセスの無効バージョンが含まれていました。
ESRVB091204	[b091204] EBICS_KEYMGMT_KEYLENGTH_ERROR_SIGNATURE	INI 要求の処理時に、オーダー・データに無効な長さの銀行特有鍵が含まれていました。
ESRVB091205	[b091205] EBICS_KEYMGMT_KEYLENGTH_ERROR_AUTHENTICATION	HIA 要求の処理時に、オーダー・データに無効な長さの識別および認証鍵が含まれていました。
ESRVB091206	[b091206] EBICS_KEYMGMT_KEYLENGTH_ERROR_ENCRYPTION	HIA 要求の処理時に、オーダー・データに無効な長さの暗号鍵が含まれていました。
ESRVB091207	[b091207] EBICS_KEYMGMT_NO_X509_SUPPORT	タイプ X509 の公開鍵が銀行に送信されましたが、銀行は公開鍵値タイプのみサポートしています。
ESRVB091208	[b091208] EBICS_X509_CERTIFICATE_EXPIRED	証明書が期限切れのため無効です。
ESRVB091209	[b091209] EBICS_X509_CERTIFICATE_NOT_VALID_YET	証明書がまだ有効化されていないため無効です。
ESRVB091210	[b091210] EBICS_X509_WRONG_KEY_USAGE	証明書鍵使用の検証時に、証明書が現在の用途のためには発行されていないことを銀行が検出しました。

表 36. 銀行特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
ESRVB091211	[b091211] EBICS_X509_WRONG_ ALGORITHM	証明書アルゴリズムの検証時に、証明書が現在の用途のためには発行されていないことを銀行が検出しました。
ESRVB091212	[b091212] EBICS_X509_INVALID_ THUMBPRINT	サムプリントが証明書と対応していません。
ESRVB091213	[b091213] EBICS_X509_CTL_INVALID	証明書の検証時に、証明書信頼リスト (CTL) が無効であることを銀行が検出しました。
ESRVB091214	[b091214] EBICS_X509_UNKNOWN_ CERTIFICATE_AUTHORITY	不明な認証局 (CA) が原因で、チェーンを検証できません。
ESRVB091215	[b091215] EBICS_X509_INVALID_ POLICY	証明書の検証を確定しようとしたましたが、証明書に無効なポリシーが指定されています。
ESRVB091216	[b091216] EBICS_X509_INVALID_ BASIC_CONSTRAINTS	証明書の検証を確定しようとしたましたが、基本制約が無効です。
ESRVB091217	[b091217] EBICS_ONLY_X509_ SUPPORT	銀行は X.509 データの評価のみサポートしています。
ESRVB091218	[b091218] EBICS_KEYMGMT_ DUPLICATE_KEY	認証または暗号化のために送信された鍵が署名鍵と同じです。
ESRVB091301	[b091301] EBICS_SIGNATURE_ VERIFICATION_FAILED	電子署名の検証が失敗しました。
ESRVB091302	[b091302] EBICS_ACCOUNT_ AUTHORISATION_FAILED	口座許可の予備検査が失敗しました。
ESRVB091303	[b091303] EBICS_AMOUNT_CHECK_ FAILED	口座金額限度の予備検査が失敗しました。
ESRVB091304	[b091304] EBICS_SIGNER_UNKNOWN	オーダーの署名者が有効なサブスクライバーではありません。
ESRVB091305	[b091305] EBICS_INVALID_ SIGNER_STATE	署名者の状態が無効です。
ESRVB091306	[b091306] EBICS_DUPLICATE_ SIGNATURE	署名者はオーダーに既に署名済みです。

## VEU の戻りコード

表 37. VEU の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL1050	応答オーダー・データの整列解除とデータベースへの保管の際にエラーが発生しました	応答オーダー・データのフォーマットが適切ではないことを示します。

## コンソール・イベントの戻りコード

表 38. コンソール・イベントの戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9000	ユーザーが正常に作成されました	ユーザー・プロファイルが正常に作成されました。
EBICSCL9001	ユーザーが正常に更新されました	ユーザー・プロファイルが正常に更新されました。
EBICSCL9002	ユーザーが正常に削除されました	ユーザー・プロファイルが正常に削除されました。
EBICSCL9003	ユーザーの作成に失敗しました	ユーザー・プロファイルの作成が失敗しました。このエラーの原因として考えられるのは、例えば、ユーザー・プロファイルが既に存在していることや、ユーザー構成のパラメーターに無効な値があることなどです。
EBICSCL9004	ユーザーの更新に失敗しました	ユーザー構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、あるいはデータベースへの接続がダウンしていないことを確認してください。
EBICSCL9005	ユーザーの削除に失敗しました	ユーザー構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、あるいはデータベースへの接続がダウンしていないことを確認してください。

## ログインの戻りコード

表 39. ログインの戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9020	ユーザーが正常にログインしました	ユーザーが正常にシステムにログオンしました。
EBICSCL9021 および EBICSCL9022	ユーザーのログインに失敗しました	ユーザー名またはパスワードが無効であるため、あるいは権限が不十分であるため、ハブへのログオン試行が失敗しました。
EBICSCL9023	ユーザーに URI へのアクセス権限がありません	URI にアクセスするための正しい許可および役割があることを確認してください。
EBICSCL9024	次の機能は、EBICS Client としてライセンス交付を受ける必要があります	IBM サポートからライセンスを取得してください。



表 39. ログインの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9025	アカウントがロックされています	ログイン失敗の最大回数が制限を超過したため、アカウントがロックされています。

## ファイル・フォーマットの戻りコード

表 40. ファイル・フォーマットの戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9050	ファイル・フォーマットが正常に作成されました	ファイル・フォーマットが正常に作成されました。
EBICSCL9051	ファイル・フォーマットが正常に更新されました	ファイル・フォーマットが正常に更新されました。
EBICSCL9052	ファイル・フォーマットの作成に失敗しました	ファイル・フォーマット構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、あるいはデータベースへの接続がダウンしていないことを確認してください。
EBICSCL9053	ファイル・フォーマットの更新に失敗しました	ファイル・フォーマット構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、あるいはデータベースへの接続がダウンしていないことを確認してください。
EBICSCL9054	ファイル・フォーマットが正常に削除されました	ファイル・フォーマットが正常に削除されました。
EBICSCL9055	ファイル・フォーマットの削除に失敗しました	データベースへの接続が有効であること、あるいはオーダー・タイプが適切なファイル・フォーマットに関連付けられていることを確認してください。

## 銀行の戻りコード

表 41. 銀行の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9070	銀行が正常に作成されました	銀行プロファイルが正常に作成されました。
EBICSCL9071	銀行が正常に更新されました	銀行プロファイルが正常に更新されました。
EBICSCL9072	銀行の作成に失敗しました	銀行構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、あるいはデータベースへの接続がダウンしていないことを確認してください。

表 41. 銀行の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9073	銀行の更新に失敗しました	銀行構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、あるいはデータベースへの接続がダウンしていないことを確認してください。
EBICSCL9074	銀行が正常に削除されました	銀行プロファイルが正常に削除されました。
EBICSCL9075	銀行の削除に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。
EBICSCL9076	銀行鍵が正常に検証されました	銀行鍵が正常に検証されました。
EBICSCL9077	銀行鍵の検証に失敗しました	銀行から受信したハッシュ値が EBICS Client システムに保管されているハッシュ値に一致しません。

## オーダー送信の戻りコード

表 42. オーダー送信の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9090	オーダーが正常に送信されました	オーダーが正常に送信されました。
EBICSCL9095	オーダー送信に失敗しました	オーダー送信の失敗の原因としては、送信者が必要な許可を所有していないこと、証明書が無効であること、銀行鍵の検証が失敗したことなどが考えられます。

## オファーの戻りコード

表 43. オファーの戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9101	オファーが正常に作成されました	オファーが正常に作成されました。
EBICSCL9102	オファーの作成に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。
EBICSCL9103	オファーが正常に更新されました	オファーが正常に更新されました。
EBICSCL9104	オファーの更新に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。

表 43. オファーの戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9105	オファーが正常に削除されました	オファーが正常に削除されました。
EBICSCL9106	オファーの削除に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。

## ユーザー許可の戻りコード

表 44. ユーザー許可の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9120	ユーザー許可が正常に作成されました	ユーザー許可が正常に作成されました。
EBICSCL9121	ユーザー許可の作成に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。
EBICSCL9122	ユーザー許可が正常に更新されました	ユーザー許可が正常に更新されました。
EBICSCL9123	ユーザー許可の更新に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。
EBICSCL9124	ユーザー許可が正常に削除されました	ユーザー許可が正常に削除されました。
EBICSCL9125	ユーザー許可の削除に失敗しました	データベースへの接続が有効であることを確認してください。

## 保留中の署名の戻りコード

表 45. 保留中の署名の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9141	署名が送信されました	署名が正常に送信されました。
EBICSCL9142	署名の送信に失敗しました	データベースへの接続が有効であること、あるいはメッセージがメールボックスに正常に書き込まれたことを確認してください。
EBICSCL9143	署名が更新されました	署名が正常に更新されました。
EBICSCL9144	署名の更新に失敗しました	データベースへの接続が有効であること、あるいはメッセージがメールボックスに正常に書き込まれたことを確認してください。

## 保留中の VEU 署名の戻りコード

表 46. 保留中の VEU 署名の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	説明
EBICSCL9151	VEU 署名が送信されました	VEU 署名が正常に送信されました。
EBICSCL9152	VEU 署名の送信に失敗しました	データベースへの接続が有効であること、あるいはメッセージがメールボックスに正常に書き込まれたことを確認してください。

## 索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

### [ア行]

イベント検索 65  
イベントの検索 65  
イベントの要約 65  
オーダー情報の フィールド 53  
オーダー送信 53  
オーダーの 検索 68  
オーダーの検索 68  
オーダーの送信 53  
オーダーのパラメーター 54  
オーダー要約 68  
オファーの検索 44  
オファーの削除 45  
オファーの作成 43  
オファーの編集 44

### [カ行]

鍵システム証明書 25  
鍵システム証明書のチェックイン 25  
各ページへの許可 91  
既存ユーザーの EBICS Client ユーザーとしての構成 27  
既存ユーザーの構成 27  
許可 91  
銀行 2  
銀行鍵の検証 42  
銀行プロファイルの検索 39  
銀行プロファイルの削除 42  
銀行プロファイルの作成 37  
銀行プロファイルの編集 40  
更新済み、システム・プロパティ値 83

### [サ行]

自己署名証明書 21  
自己署名証明書の作成 21  
システム証明書 24  
システム・プロパティ値 83  
自分のプロファイル 85  
スケジュールの有効化 20  
絶対パス: 定義 12  
前提条件の構成 4, 26  
組織 2

### [タ行]

特有ユーザー 60  
特有ユーザーの構成 60  
トラステッド・システム証明書のチェックイン 24

### [ハ行]

パートナー 2  
ファイル形式の検索 46  
ファイル形式の削除 47  
ファイル形式の作成 45  
ファイル形式の編集 46  
ファイル・システム・アダプターの構成 9  
ファイル・システム・アダプター 9  
プロファイル 85  
保留中タスク 72

### [マ行]

メールボックスの許可 19  
メールボックスの作成および許可の割り当て 19

### [ヤ行]

ユーザー許可の検索 49  
ユーザー許可の構成 47  
ユーザー許可の削除 51  
ユーザー許可の作成 48  
ユーザー許可の編集 50  
ユーザーの許可 91  
ユーザーの初期化 52  
ユーザーまたはサブスクライバー 2  
ユーザー・アカウント 6  
ユーザー・アカウントの作成 6  
ユーザー・プロファイルの検索 32  
ユーザー・プロファイルの削除 37  
ユーザー・プロファイルの編集 32

### C

CA 証明書 22  
CA 証明書のチェックイン 22

### E

EBICS Client ダッシュボード・インターフェース 1  
EBICS Client のプロファイル 26  
EBICS Client のプロファイル管理 26  
EBICS の 概要 1  
EBICS の概要 1

### H

HAC スケジュールの検索 140  
HAC スケジュールの削除 143  
HAC スケジュールの作成 138  
HAC スケジュールの表示 141  
HAC スケジュールの編集 141

### I

ID レコード 5  
ID レコードの作成 5



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、これを入力するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing*  
*IBM Corporation*  
*North Castle Drive, MD-NC119*  
*Armonk, NY 10504-1785*  
*US*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、名前や住所が類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラット



フォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© 2015.

このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

© Copyright IBM Corp. 2015.

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、[www.ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は英国 Office of Government Commerce の一部である the Central Computer and Telecommunications Agency の登録商標です。

Intel、Intel (ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は英国 Office of Government Commerce の登録商標および共同体登録商標であって、米国特許商標庁にて登録されています。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用していません。

Linear Tape-Open、LTO、LTO (ロゴ)、Ultrium および Ultrium (ロゴ) は、米国およびその他の国における HP、IBM、および Quantum の商標です。

Connect Control Center<sup>®</sup>、Connect:Direct<sup>®</sup>、Connect:Enterprise<sup>®</sup>、Gentran<sup>®</sup>、Gentran:Basic<sup>®</sup>、Gentran:Control<sup>®</sup>、Gentran:Director<sup>®</sup>、Gentran:Plus<sup>®</sup>、Gentran:Realtime<sup>®</sup>、Gentran:Server<sup>®</sup>、Gentran:Viewpoint<sup>®</sup>、Sterling Commerce<sup>™</sup>、Sterling Information Broker<sup>®</sup>、および Sterling Integrator<sup>®</sup> は、Sterling Commerce<sup>®</sup>, Inc.、IBM Company の商標です。

---

## 製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

### 適用可能性

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

### 個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

### 商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

### 権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。





Printed in Japan

**日本アイ・ビー・エム株式会社**

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21